

「丸亀市総合計画・行政改革プラン・  
自治基本条例」に関するアンケート  
報告書

令和3年7月

丸亀市



## 目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の方法等	1
	(3) 調査の内容	1
	(4) 報告書の見方	2
2	調査の結果	3
	(1) 回収状況	3
	(2) 回答者の属性	3
	(3) 丸亀市での生活について	4
	(4) 丸亀市の現状と今後の取組について	13
	(5) 自由意見：まちづくりについて	22
	(6) 行政改革について	37
	(7) 自由意見：行政改革について	46
	(8) 自治基本条例について	58
	(9) 自由意見：自治基本条例について	73
	(10) 総評	83
3	資料編	85
	(1) 調査票	85



# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

第二次丸亀市総合計画後期基本計画への改定や第五次丸亀市行政改革プラン、また、丸亀市自治基本条例の検証にあたり、市民が日常生活の中で感じていることや、現在の取組に対する満足度と今後の重要度、また前回調査時（平成28年度）と比べた市民意識の変化などを把握し、計画の策定や条例の検証の方向性を導き出すことを目的とする。

## (2) 調査の方法等

対象	16歳以上の市民（住民基本台帳より無作為抽出）
方法	郵送配布、郵送及びWeb回収
時期	令和3年5月28日～6月14日
配布数	3,000票

## (3) 調査の内容

項目	設問内容	
回答者の属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	居住地区（コミュニティ単位）
	問4	丸亀市での居住期間
丸亀市での生活について	問5	丸亀市の魅力だと感じる点
	問6	丸亀市の魅力が乏しいと感じる点
	問7	丸亀市での定住意向
丸亀市の現状と今後の取組について	問8	現在の満足度と今後の重要度
	問9	まちづくり全般に対するご意見・ご要望
行政改革について	問10.1	行政サービス全般の水準と市民の負担について
	問10.2	福祉などソフト事業に関するサービス水準について
	問10.3	道路、公共施設などハード事業の整備水準について
	問10.4	公共施設の使用料とサービス水準について
	問11	民間の活力を活用する手法について、自分の考えに近いもの
	問12	行政サービス等のデジタル化が進むことへの期待
	問13	デジタル化が進むことについての不安
	問14	行政改革に対するご意見・ご要望
自治基本条例について	問15	「丸亀市自治基本条例」の認知度
	問16	「丸亀市自治基本条例」を知るきっかけとなった方法
	問17	まちづくり活動への参加の有無
	問18	まちづくり活動に参加するにあたっての必要事項
	問19	丸亀市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うか
	問20	マルタスに期待すること
	問21	市政に関する情報を得ている方法
	問22	丸亀市からの情報発信についての満足度
	問23	丸亀市からの情報発信について不満を感じる理由
	問24	市政への参画経験
	問25	市政に参画する場合の参画方法
	問26	自治基本条例の内容や運用に関するご意見・ご要望

#### (4) 報告書の見方

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能（複数回答）とした質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中における年齢別などの属性や、他の質問とのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (4) 図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は図中標記から省略している場合がある。
- (5) 報告書中の図表では、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (6) 居住地区別（コミュニティ単位）での分析では、丸亀市都市計画マスタープランで設定している地域区分を基本として、以下のとおり整理している。
  - ①中心市街地（城北・城西・城乾）
  - ②周辺市街地（城坤・城南・土器）
  - ③丸亀中部（飯野・川西・郡家・垂水）
  - ④島しょ部（本島、広島）
  - ⑤綾歌（栗熊・岡田・富熊）
  - ⑥飯山（飯山南・飯山北）

## 2 調査の結果

### (1) 回収状況

回収数と回収率	1,377 票 (45.9%)
うち郵送回答と回答に占める割合	1,146 票 (83.2%)
うちWeb回答と回答に占める割合	231 票 (16.8%)

### (2) 回答者の属性

●問1 性別      ●問2 年齢

区分	男性	女性	その他	回答しない	無回答	総計	(%)
1. 16～19歳	23	36	-	1	-	60	4.4
2. 20～29歳	32	53	-	-	-	85	6.2
3. 30～39歳	86	102	-	6	-	194	14.1
4. 40～49歳	88	113	-	1	-	202	14.7
5. 50～59歳	112	132	-	3	-	247	17.9
6. 60～69歳	134	156	-	1	1	292	21.2
7. 70歳以上	155	136	-	1	1	293	21.3
無回答	-	-	-	1	3	4	0.3
総計	630	728	-	14	5	1,377	100.0
(%)	45.8	52.9	-	1.0	0.4	100.0	

●問3 居住地区 (コミュニティ単位)

区分	総計	(%)
1. 城北	73	5.3
2. 城西	65	4.7
3. 城乾	48	3.5
4. 城坤	170	12.3
5. 城南	81	5.9
6. 土器	133	9.7
7. 飯野	60	4.4
8. 川西	73	5.3
9. 郡家	174	12.6
10. 垂水	68	4.9
11. 本島	3	0.2
12. 広島	2	0.1
13. 栗熊	46	3.3
14. 岡田	46	3.3
15. 富熊	54	3.9
16. 飯山南	73	5.3
17. 飯山北	132	9.6
18. 不明	65	4.7
無回答	11	0.8
総計	1,377	100.0

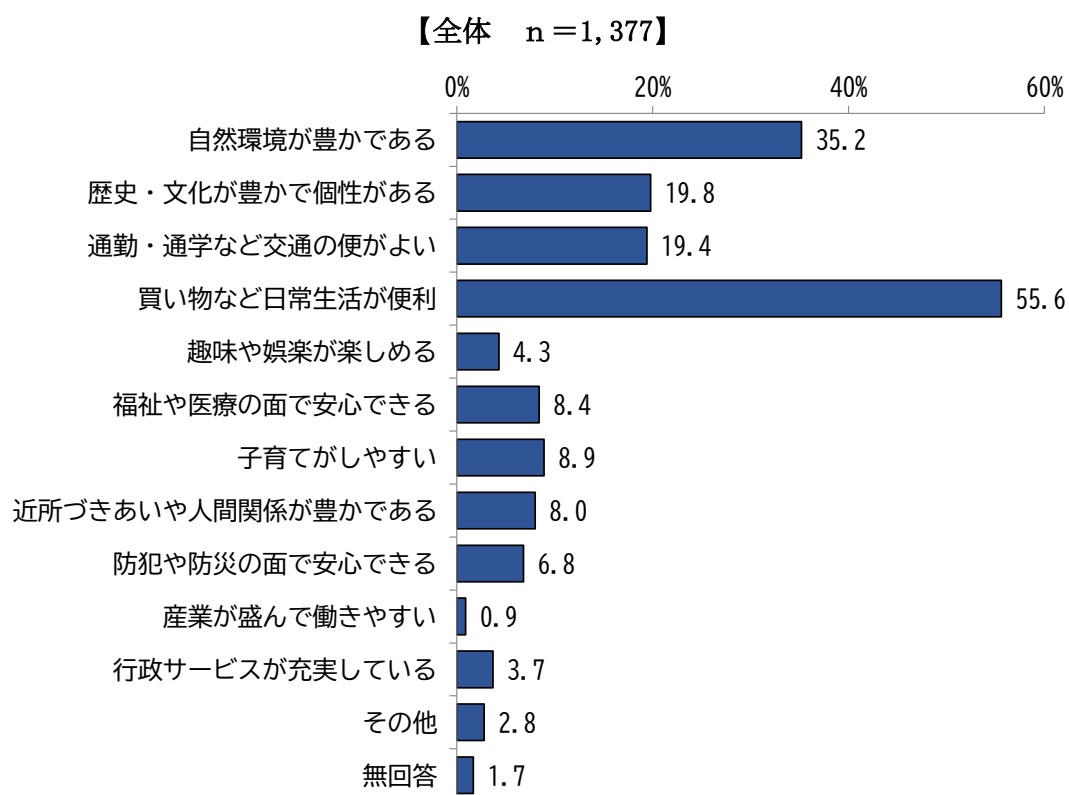
●問4 居住期間

区分	総計	(%)
1. 1年未満	29	2.1
2. 1年以上3年未満	45	3.3
3. 3年以上5年未満	43	3.1
4. 5年以上10年未満	85	6.2
5. 10年以上20年未満	238	17.3
6. 20年以上	929	67.5
無回答	8	0.6
総計	1,377	100.0

## 2 調査の結果

### (3) 丸亀市での生活について

問5 丸亀市のどのようなところに魅力を感じていますか。(2つまで○)



丸亀市の魅力については、「買い物など日常生活が便利」の割合が55.6%と最も高くなっており、次いで「自然環境が豊かである」(35.2%)、「歴史・文化が豊かで個性がある」(19.8%)の順になっている。

「その他」には、「郷土であるから」、「気候が良い」等の意見があった。



## 2 調査の結果

### 【年齢別・居住地区別】

		調査数	自然環境が豊かである	歴史・文化が豊かで個性がある	通勤・通学など交通の便がよい	買い物など日常生活が便利	趣味や娯楽が楽しめる	福祉や医療の面で安心できる
全体		1,377	35.2	19.8	19.4	55.6	4.3	8.4
年齢別	16～19歳	60	35.0	28.3	20.0	45.0	8.3	6.7
	20～29歳	85	28.2	15.3	20.0	51.8	5.9	1.2
	30～39歳	194	30.4	19.6	28.4	56.2	4.6	3.6
	40～49歳	202	27.2	16.8	27.2	61.9	3.0	6.4
	50～59歳	247	29.6	23.9	21.5	57.5	4.9	5.3
	60～69歳	292	42.1	22.6	15.1	59.2	3.8	9.9
	70歳以上	293	43.7	15.0	10.2	49.5	3.8	16.7
居住地区別	①中心市街地（城北・城西・城乾）	186	25.8	28.0	29.0	49.5	4.3	10.2
	②周辺市街地（城坤・城南・土器）	384	27.3	21.1	24.5	68.0	4.2	9.6
	③丸亀中部（飯野・川西・郡家・垂水）	375	35.2	20.3	13.3	57.3	2.9	7.2
	④島しょ部（本島、広島）	5	80.0	-	-	20.0	-	-
	⑤綾歌（栗熊・岡田・富熊）	146	61.0	14.4	15.8	37.0	3.4	3.4
	⑥飯山（飯山南・飯山北）	205	43.9	12.7	13.2	51.7	4.4	11.7

	子育てがしやすい	近所づきあいや人間関係が豊かである	防犯や防災の面で安心できる	産業が盛んで働きやすい	行政サービスが充実している	その他	無回答
	8.9	8.0	6.8	0.9	3.7	2.8	1.7
	1.7	6.7	5.0	-	3.3	1.7	1.7
	8.2	10.6	10.6	2.4	3.5	4.7	1.2
	16.5	5.7	4.1	1.0	1.5	4.6	1.0
	15.3	4.0	5.9	0.5	3.0	3.0	0.5
	12.6	3.6	2.8	2.4	3.2	4.0	0.8
	5.8	7.5	6.8	-	3.4	1.7	2.1
	1.0	15.7	11.9	0.7	6.5	1.4	3.4
	5.9	6.5	7.0	0.5	5.4	3.2	1.1
	7.8	6.3	4.4	0.5	2.3	2.9	0.5
	8.3	8.5	9.1	2.1	4.8	2.7	2.1
	-	40.0	-	-	-	-	20.0
	13.0	14.4	7.5	0.7	2.1	2.1	2.1
	12.7	8.3	7.8	0.5	4.9	1.5	2.0

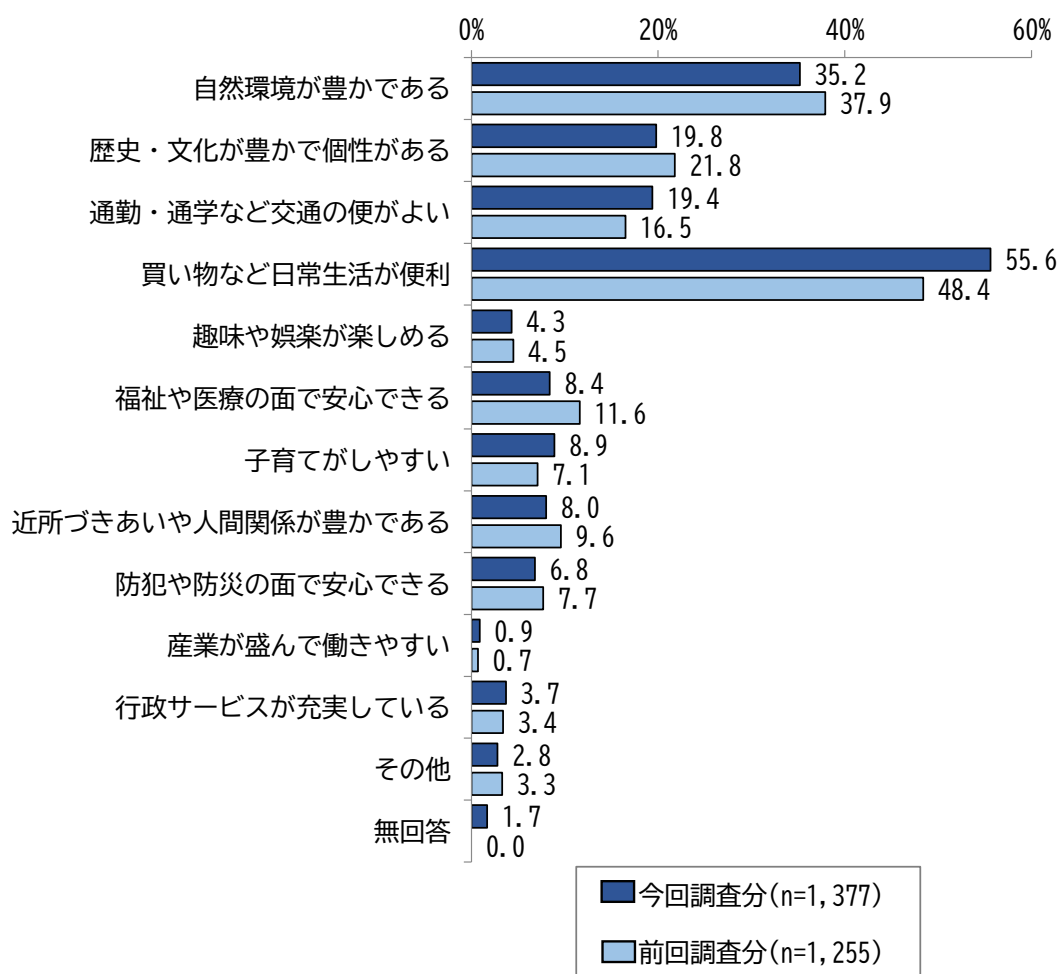
1位	2位
----	----

年齢別でも全体の傾向と同様に、いずれも「買い物など日常生活が便利」が4割を超えて最も高くなっており、次いで「自然環境が豊かである」が続いている。また、40～49歳では「通勤・通学など交通の便がよい」（27.2%）も同率が続いている。

居住地区別で見ると、「④島しょ部（本島、広島）」「⑤綾歌（栗熊・岡田・富熊）」を除く4地域で「買い物など日常生活が便利」の割合が高く、特に「周辺市街地（城坤・城南・土器）」で高くなっている。一方、「④島しょ部（本島、広島）」「⑤綾歌（栗熊・岡田・富熊）」の2地域では「自然環境が豊かである」の割合が高くなっている。

## 2 調査の結果

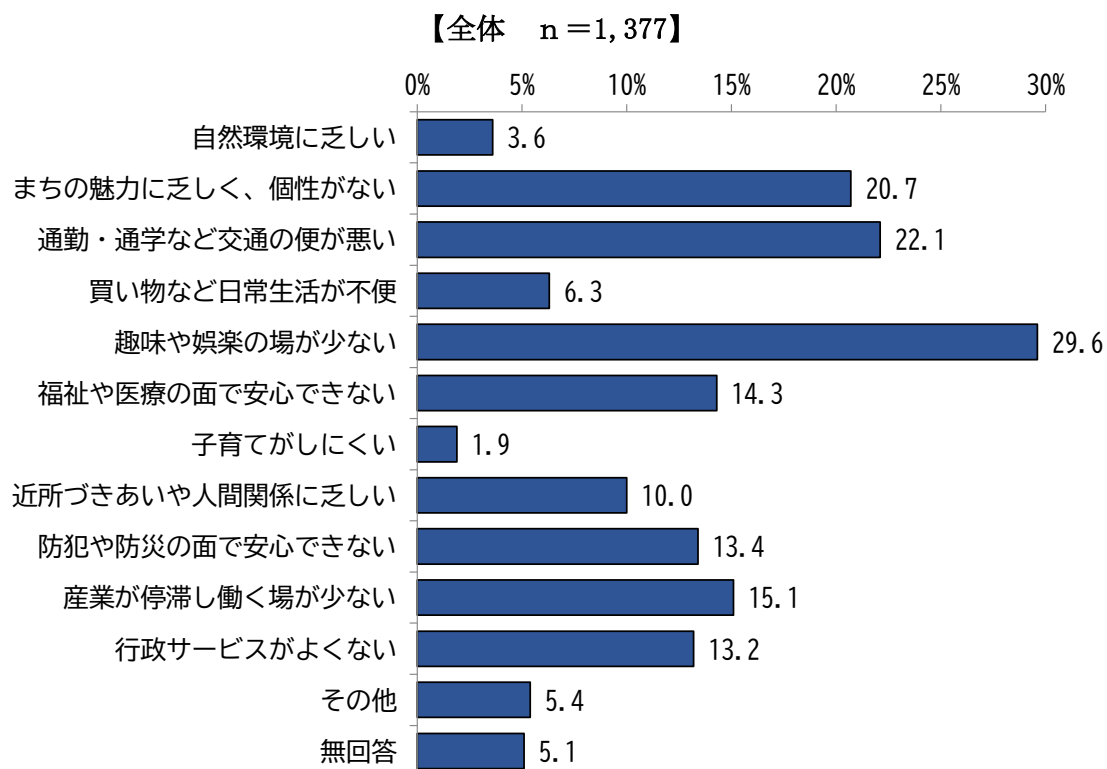
【前回調査（平成 28 年実施）との比較】



今回の調査でも前回調査と同様、「買物など日常生活が便利」が1位、「自然環境が豊かである」が2位となっている。各項目の回答割合についても、概ね前回調査と同様の結果になっているが、「買物など日常生活が便利」の割合は前回から 7.2 ポイント増加し、半数以上となっている。

## 2 調査の結果

問6 丸亀市のどのようなところが魅力に乏しい、あるいは住みにくいと感じていますか。  
(2つまで○)



丸亀市の魅力に乏しい、住みにくいと感じる点については、「趣味や娯楽の場が少ない」の割合が29.6%と最も高くなっており、次いで「通勤・通学など交通の便が悪い」(22.1%)、「まちの魅力に乏しく、個性がない」(20.7%)、「産業が停滞し働く場が少ない」(15.1%)、「福祉や医療の面で安心できない」(14.3%)の順になっている。

「その他」には、「交通マナーが悪い」、「道路が狭い、歩道が狭い」、「野焼きが多い」等の意見があった。

## 2 調査の結果

### 【年齢別・居住地区別】

		調査数	自然環境に乏しい	まちの魅力に乏しく、個性がない	通勤・通学など交通の便が悪い	買い物など日常生活が不便	趣味や娯楽の場が少ない	福祉や医療の面で安心できない
全体		1,377	3.6	20.7	22.1	6.3	29.6	14.3
年齢別	16～19歳	60	6.7	16.7	41.7	6.7	46.7	3.3
	20～29歳	85	4.7	22.4	30.6	5.9	41.2	9.4
	30～39歳	194	2.6	9.3	26.8	6.7	38.1	11.3
	40～49歳	202	3.0	19.8	23.8	4.0	34.2	12.9
	50～59歳	247	3.2	20.6	22.7	3.2	26.7	15.8
	60～69歳	292	3.1	21.2	17.5	4.5	25.0	22.3
	70歳以上	293	4.4	29.0	15.7	12.3	21.2	11.6
居住地区別	①中心市街地（城北・城西・城乾）	186	3.8	25.8	4.8	7.5	28.0	12.9
	②周辺市街地（城坤・城南・土器）	384	3.6	20.3	14.3	2.9	31.3	15.6
	③丸亀中部（飯野・川西・郡家・垂水）	375	4.8	18.7	28.3	5.1	28.5	15.5
	④島しょ部（本島、広島）	5	-	20.0	40.0	60.0	-	-
	⑤綾歌（栗熊・岡田・富熊）	146	0.7	21.2	32.2	11.0	31.5	15.1
	⑥飯山（飯山南・飯山北）	205	2.9	21.5	35.6	8.3	28.3	12.2

	子育てがしにくい	近所づきあいや人間関係に乏しい	防犯や防災の面で安心できない	産業が停滞し働く場が少ない	行政サービスがよくない	その他	無回答
	1.9	10.0	13.4	15.1	13.2	5.4	5.1
	-	6.7	11.7	1.7	8.3	1.7	1.7
	-	7.1	8.2	14.1	10.6	3.5	4.7
	6.2	8.8	16.0	12.4	13.9	6.2	3.6
	2.5	7.4	19.8	11.4	13.9	5.0	2.5
	2.8	8.1	10.5	16.2	15.8	7.3	4.5
	0.7	12.7	14.0	15.1	15.1	6.8	3.4
	-	13.3	10.9	21.8	9.2	3.8	10.6
	2.2	14.0	17.7	17.2	12.4	8.1	3.2
	2.3	11.7	15.9	11.7	15.4	6.3	6.5
	1.1	8.8	11.7	16.0	12.8	5.1	5.1
	-	-	-	-	-	-	40.0
	1.4	4.1	11.0	18.5	11.6	2.7	4.8
	2.0	7.8	8.3	19.5	13.7	4.4	2.9

1位

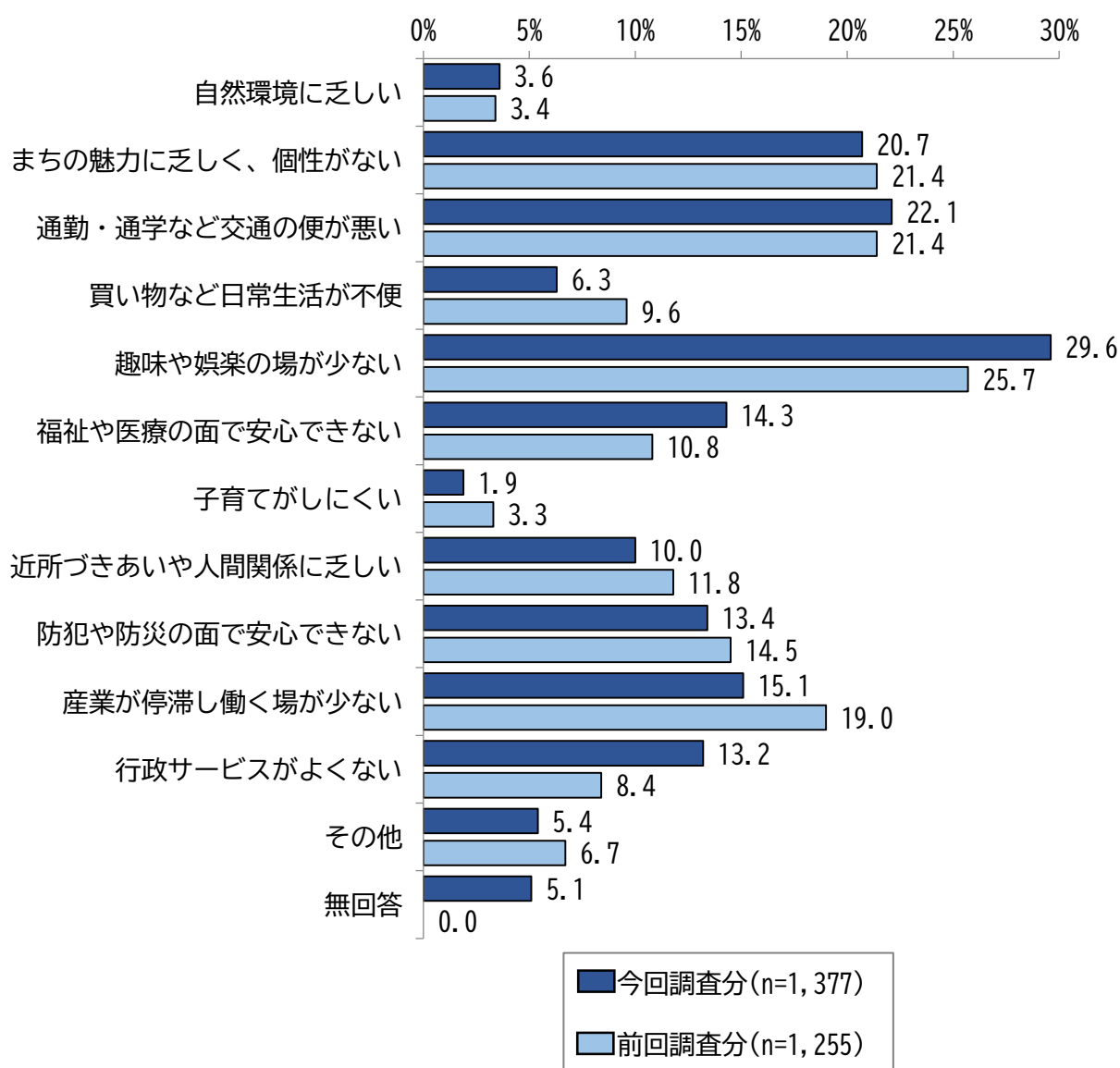
2位

年齢別でみると、年齢が低くなるほど、「趣味や娯楽の場が少ない」「通勤・通学など交通の便が悪い」の割合が高くなっている。また、60～69歳では「福祉や医療の面で安心できない」（22.3%）が、70歳以上では「まちの魅力に乏しく、個性がない」（29.0%）、「産業が停滞し働く場が少ない」（21.8%）が他の年齢別に比べて高くなっている。

居住地区別でみると、「④島しょ部（本島、広島）」を除く地区で「趣味や娯楽の場が少ない」の割合が高く、「①中心市街地（城北・城西・城乾）」「②周辺市街地（城坤・城南・土器）」以外の4地区では「通勤・通学など交通の便が悪い」も高くなっている。

## 2 調査の結果

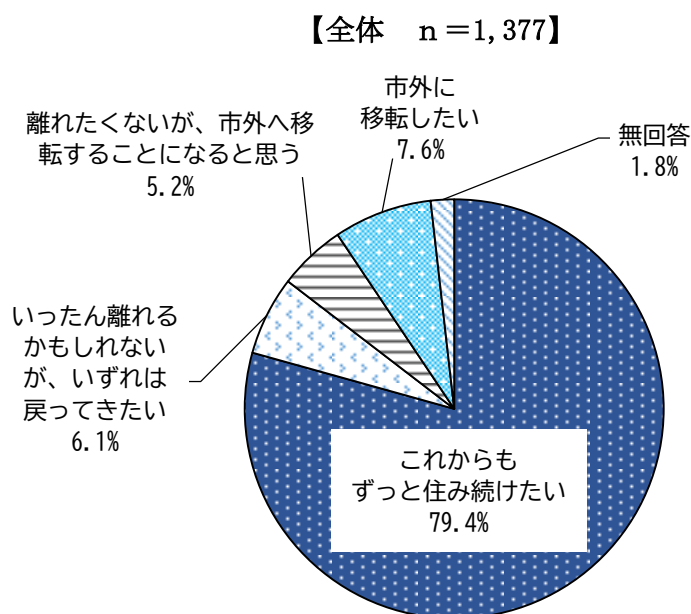
【前回調査（平成28年実施）との比較】



今回の調査では、「買い物などの日常生活が不便」、「産業が停滞し働く場が少ない」等の割合は前回よりも低くなっている。一方で、「趣味や娯楽の場が少ない」、「福祉や医療の面で安心できない」、「行政サービスがよくない」が前回よりも高くなっている。

## 2 調査の結果

問7 あなたは、これからも丸亀市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ○)



今後の丸亀市への居住継続意向については、「これからもずっと住み続けたい」の割合が79.4%と最も高くなっており、次いで「市外に移転したい」(7.6%)、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」(6.1%)、「離れたくないが、市外へ移転することになると思う」(5.2%)となっている。9割以上の方が「丸亀市に住み続けたい、離れたくない」と回答している一方、「市外に移転したい」という意見は8%程度であり、概ね好印象を持たれている。

## 2 調査の結果

### 【年齢別】

		調査数	これからもずっと住みたい	いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい	離れたくないが、市外へ移転することになると思う	市外に移転したい	無回答
全体		1,377	79.4	6.1	5.2	7.6	1.8
年齢別	16～19歳	60	25.0	41.7	15.0	16.7	1.7
	20～29歳	85	48.2	25.9	10.6	14.1	1.2
	30～39歳	194	72.7	7.7	8.8	10.3	0.5
	40～49歳	202	78.7	5.9	4.5	8.9	2.0
	50～59歳	247	83.4	1.6	4.5	8.9	1.6
	60～69歳	292	87.3	0.7	3.8	5.8	2.4
	70歳以上	293	93.2	1.0	1.7	1.7	2.4
居住期間別	1年未満	29	58.6	6.9	24.1	10.3	-
	1年以上3年未満	45	55.6	2.2	26.7	15.6	-
	3年以上5年未満	43	72.1	7.0	9.3	11.6	-
	5年以上10年未満	85	69.4	2.4	8.2	16.5	3.5
	10年以上20年未満	238	67.2	14.7	5.5	9.7	2.9
	20年以上	929	85.9	4.4	3.0	5.6	1.1

1位

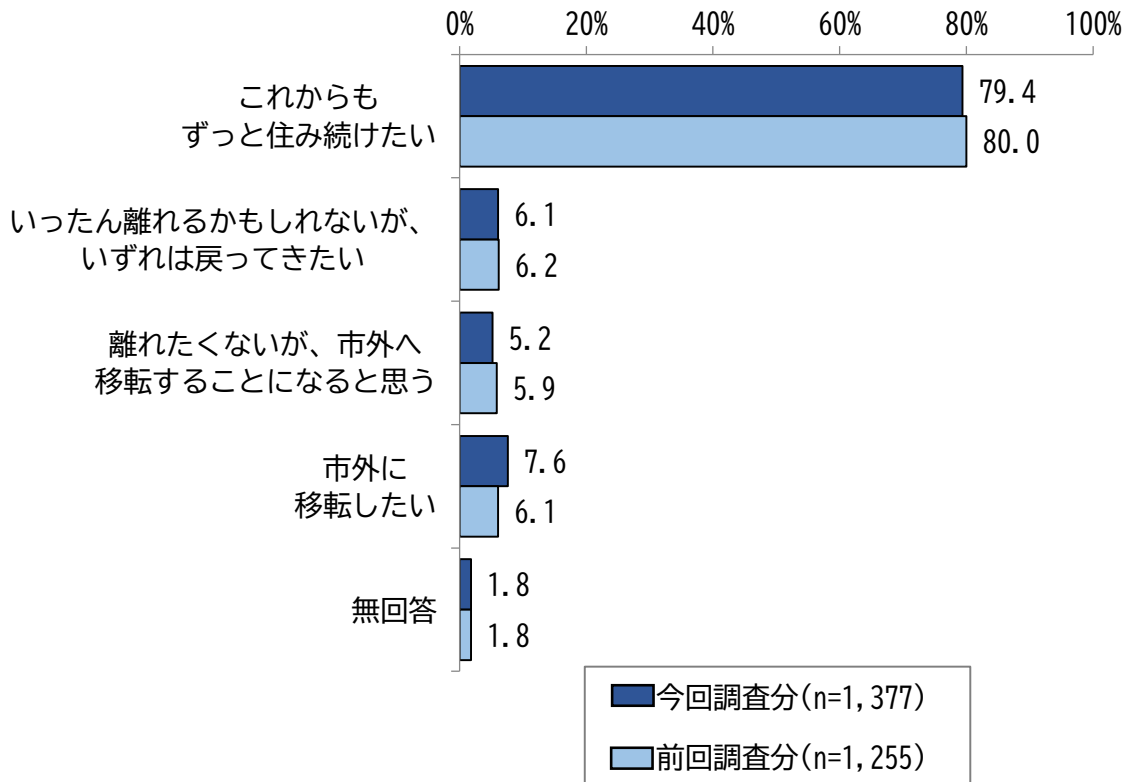
2位

年齢別で見ると、「これからもずっと住みたい」は年齢が高くなるにつれて回答率が高くなっている。また、16～29歳の若年層では他の年代に比べて「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」(41.7%、25.9%)の割合が高くなっている他、「市外に移転したい」(16.7%、14.1%)の割合も高くなっている。

居住期間別で見ると、いずれも「これからもずっと住みたい」が5割を超えて最も高くなっている。また、1年未満、1年以上3年未満は「離れたくないが、市外へ移転することになると思う」が、10年以上20年未満は「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が他の居住期間に比べて高くなっている。

## 2 調査の結果

【前回調査（平成28年実施）との比較】



今回調査、前回調査ともに「これからもずっと住みたい」が最も高く、約8割の回答となっており、丸亀市での定住意向は前回から変わらず高いことが分かる。



### (4) 丸亀市の現状と今後の取組について

問8 市では今年3月に新しい庁舎が完成し、新たな拠点でのまちづくりをスタートしています。そこで、今後さらに魅力的な丸亀市を目指していくために、市が現在進めている取組の現状の「満足度」と、今後の取組としての「重要度」をおたずねします。下記のすべての各項目について、それぞれあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

《① 現在の満足度、② 満足度の高い順》については、「15. ゴミやし尿の収集処理に関する取り組み」(80.7%)が最も高く(生活環境の整備)、次いで「16. 墓地や葬儀に関する取り組み」(76.6%) (生活環境の整備)、「2. ゴみの減量化やリサイクルに関する取り組み」(73.8%) (自然との共生)、「5. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備」(73.1%) (生活環境の整備)、「39. 行政による広報活動、情報公開、個人情報保護に関する取り組み」(71.1%) (情報)が続いている。「生活環境の整備」から上位3項目が出ており、比較的満足度が高い傾向となっている。

《③ 今後の重要度、④ 重要度の高い順》については、「20. 交通安全や防犯対策に関する取り組み」(94.3%)が最も高く(安全確保)、次いで「19. 消防や救急体制の整備、自然災害への備えに関する取り組み」(93.9%) (安全確保)、「48. 健全な財政運営に関する取り組み」(92.4%) (その他)、「7. 高齢者などが移動しやすい環境の整備(バリアフリー)」(92.3%) (生活環境の整備)、「1. 省エネルギーや再生可能エネルギー使用の推進」(91.8%) (自然との共生)が続いている。「安全確保」から上位2項目が出ており、比較的重要度が高い傾向となっている。

《⑤ 前回調査(平成28年実施)との比較》については、「21. 農林水産業の育成・支援」、「38. 介護保険制度の普及や介護サービスの充実に関する取り組み」、「22. 商業やサービス業の育成・支援」、「7. 高齢者などが移動しやすい環境の整備(バリアフリー)」は前回調査と比べて10%以上割合が増加しており、満足度が上がっている傾向となっている。「7. 高齢者などが移動しやすい環境の整備(バリアフリー)」においては、満足度順位は前回に比べて低くなっているが、(前回45位、今回47位)前回調査分の満足度(%)で見ると、11.5%割合が上昇している。

《⑥ 評価分析》については、A(重点改善分野)やB(重点維持分野)に分類されている項目が多数ある。特に、A(重点改善分野)に分類される「省エネルギー等の推進」「雇用対策」「生涯学習」「世代間交流」「財政運営」「子育て支援」等は、重点的取り組みが必要だと考えられる。

## 2 調査の結果

### 《①現在の満足度》

現在の満足度についての回答数は以下のとおりである。

区分	現在の満足度									
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	分からない	無回答	計	※評価点	※満足(%)	
自然と共生	1.省エネルギーや再生可能エネルギー使用の推進	76	309	236	96	610	50	1,377	2.5	53.7
	2.ゴミの減量化やリサイクルに関する取り組み	184	595	200	76	290	32	1,377	2.8	73.8
	3.海、河川、山林などの自然環境の保全	101	482	277	127	346	44	1,377	2.6	59.1
	4.自然に親しめるレクリエーション施設や親水護岸などの整備	75	395	357	158	350	42	1,377	2.4	47.7
生活環境の整備	5.高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	323	564	216	111	129	34	1,377	2.9	73.1
	6.市内をつなぐ一般道路の整備	286	553	279	136	88	35	1,377	2.8	66.9
	7.高齢者などが移動しやすい環境の整備（バリアフリー）	155	341	379	202	261	39	1,377	2.4	46.1
	8.鉄道・バスなど公共交通の整備	159	385	358	260	185	30	1,377	2.4	46.8
	9.無秩序な都市の拡大防止と良好な市街地の整備	97	391	336	124	381	48	1,377	2.5	51.5
	10.景観に配慮したまちづくりに関する取り組み	115	523	314	118	266	41	1,377	2.6	59.6
	11.公営住宅や宅地の整備に関する取り組み	61	316	286	105	569	40	1,377	2.4	49.1
	12.生活排水・産業排水などの処理に関する取り組み	112	407	294	153	373	38	1,377	2.5	53.7
	13.公園・緑地の充実及び維持管理に関する取り組み	177	491	299	138	230	42	1,377	2.6	60.5
	14.丸亀港における港湾やアクセス道路などの整備	154	392	201	70	519	41	1,377	2.8	66.8
	15.ゴミやし尿の収集処理に関する取り組み	333	568	176	40	224	36	1,377	3.1	80.7
	16.墓地や葬儀に関する取り組み	209	442	156	43	490	37	1,377	3.0	76.6
	17.離島航路や島内交通の整備などに関する取り組み	63	269	206	52	747	40	1,377	2.6	56.3
確保	18.消費者被害の保護に関する取り組み	57	300	255	67	651	47	1,377	2.5	52.6
	19.消防や救急体制の整備、自然災害への備えに関する取り組み	121	518	244	63	397	34	1,377	2.7	67.5
	20.交通安全や防犯対策に関する取り組み	108	484	302	128	314	41	1,377	2.6	57.9
振興	21.農林水産業の育成・支援	102	294	191	60	689	41	1,377	2.7	61.2
	22.商業やサービス業の育成・支援	100	352	250	86	551	38	1,377	2.6	57.4
	23.既存企業の支援や企業誘致など、工業の育成・支援	78	305	234	108	612	40	1,377	2.5	52.8
	24.観光地のネットワークづくりなど、観光産業の育成・支援	141	386	248	83	481	38	1,377	2.7	61.4
	25.雇用機会の創出などに関する取り組み	46	270	319	128	571	43	1,377	2.3	41.4
教育・文化の振興	26.心を豊かにし生活に役立つ生涯学習の充実に関する取り組み	65	458	252	66	483	53	1,377	2.6	62.2
	27.世代間の交流があり、地域社会で子どもを育成する取り組み	78	411	269	94	475	50	1,377	2.6	57.4
	28.学校教育の充実、教育施設の整備に関する取り組み	80	432	239	73	502	51	1,377	2.6	62.1
	29.青少年の健全育成、指導等に関する取り組み	51	317	271	79	604	55	1,377	2.5	51.3
	30.芸術や地域文化の継承や振興に関する取り組み	139	449	234	64	434	57	1,377	2.7	66.4
	31.名所や文化財の保護・活用に関する取り組み	124	465	245	67	423	53	1,377	2.7	65.4
	32.スポーツ・レクリエーションの充実に関する取り組み	163	465	213	60	422	54	1,377	2.8	69.7
健康・福祉の充実	33.身近な地域における地域福祉に関する取り組み	108	431	251	75	454	58	1,377	2.7	62.3
	34.健康づくりや身近な医療環境の充実に関する取り組み	120	491	266	65	383	52	1,377	2.7	64.9
	35.高齢者の健康づくりや福祉サービスに関する取り組み	80	415	259	71	502	50	1,377	2.6	60.0
	36.障がい者の就労支援や福祉サービスに関する取り組み	74	351	216	74	606	56	1,377	2.6	59.4
	37.保育サービスや子育て相談など子育て支援に関する取り組み	78	402	236	92	512	57	1,377	2.6	59.4
	38.介護保険制度の普及や介護サービスの充実に関する取り組み	160	387	222	91	462	55	1,377	2.7	63.6
情報	39.行政による広報活動、情報公開、個人情報保護に関する取り組み	234	417	192	72	414	48	1,377	2.9	71.1
	40.地域社会のデジタル化、先端的な情報技術を活用した生活の構築	178	285	224	115	522	53	1,377	2.7	57.7
	41.情報・通信基盤の整備に関する取り組み	32	269	260	102	655	59	1,377	2.3	45.4
市民活動	42.地域住民によるコミュニティ活動の支援に関する取り組み	87	399	238	85	516	52	1,377	2.6	60.1
	43.市民活動団体など公益的な活動の支援に関する取り組み	48	350	209	70	641	59	1,377	2.6	58.8
	44.まちづくりや行政への市民参画に関する取り組み	58	362	241	75	581	60	1,377	2.5	57.1
	45.人権教育、啓発活動など人権尊重に関する取り組み	58	365	198	75	619	62	1,377	2.6	60.8
その他	46.男女が共に活躍するための啓発や支援に関する取り組み	107	386	199	64	568	53	1,377	2.7	65.2
	47.国際交流や外国人が暮らしやすい地域づくりに関する取り組み	111	317	177	53	662	57	1,377	2.7	65.0
	48.健全な財政運営に関する取り組み	135	301	199	140	549	53	1,377	2.6	56.3
	49.行政活動の着実な進捗管理や効率的な行政運営に関する取り組み	131	317	186	84	595	64	1,377	2.7	62.4
	合計	5,932	19,574	12,109	4,638	22,908	2,312	67,473	-	-

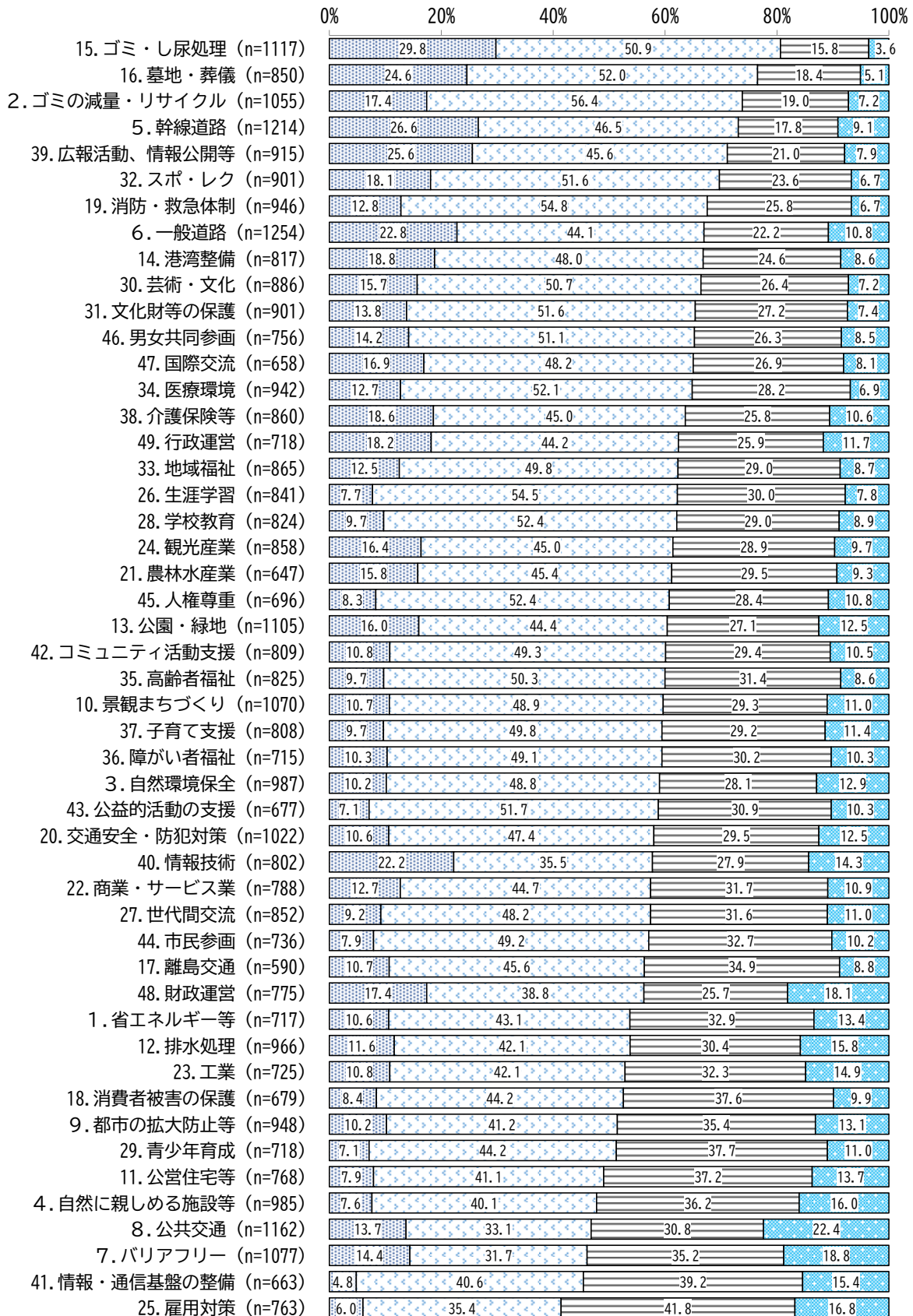
※評価点とは、「満足している」を4点、「やや満足している」を3点、「やや不満である」を2点、「不満である」を1点とした場合の平均点である。

※満足(%)とは、「分からない」、「無回答」を除いた全体に占める、「満足している」、「やや満足している」の割合である。

## 2 調査の結果

### 《②満足度の高い順》

#### 1. 現在の満足度（満足している・やや満足している）



■満足している □やや満足している □やや不満である ■不満である

※「分からない」、「無回答」を除いて集計し、グラフ化。

## 2 調査の結果

### 《③今後の重要度》

今後の重要度についての回答数は以下のとおりである。

区 分		今後の重要度								
		重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	分からない	無回答	計	※評価点	※重要 (%)
自然と共生	1.省エネルギーや再生可能エネルギー使用の推進	584	429	73	17	200	74	1,377	3.4	91.8
	2.ゴミの減量化やリサイクルに関する取り組み	567	457	90	20	179	64	1,377	3.4	90.3
	3.海、河川、山林などの自然環境の保全	511	464	123	23	188	68	1,377	3.3	87.0
	4.自然に親しめるレクリエーション施設や親水護岸などの整備	337	535	192	43	206	64	1,377	3.1	78.8
生活環境の整備	5.高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	356	508	197	65	180	71	1,377	3.0	76.7
	6.市内をつなぐ一般道路の整備	470	575	140	35	88	69	1,377	3.2	85.7
	7.高齢者などが移動しやすい環境の整備（バリアフリー）	617	503	75	18	103	61	1,377	3.4	92.3
	8.鉄道・バスなど公共交通の整備	524	529	124	24	110	66	1,377	3.3	87.7
	9.無秩序な都市の拡大防止と良好な市街地の整備	343	533	164	24	242	71	1,377	3.1	82.3
	10.景観に配慮したまちづくりに関する取り組み	269	568	223	44	207	66	1,377	3.0	75.8
	11.公営住宅や宅地の整備に関する取り組み	162	445	275	70	361	64	1,377	2.7	63.8
	12.生活排水・産業排水などの処理に関する取り組み	442	490	126	27	229	63	1,377	3.2	85.9
	13.公園・緑地の充実及び維持管理に関する取り組み	359	607	183	27	135	66	1,377	3.1	82.1
	14.丸亀港における港湾やアクセス道路などの整備	216	453	249	62	328	69	1,377	2.8	68.3
	15.ゴミやし尿の収集処理に関する取り組み	500	529	137	16	135	60	1,377	3.3	87.1
	16.墓地や葬儀に関する取り組み	178	462	249	48	372	68	1,377	2.8	68.3
	17.離島航路や島内交通の整備などに関する取り組み	147	405	220	42	500	63	1,377	2.8	67.8
確保	18.消費者被害の保護に関する取り組み	334	448	142	27	355	71	1,377	3.1	82.2
	19.消防や救急体制の整備、自然災害への備えに関する取り組み	699	416	61	11	132	58	1,377	3.5	93.9
	20.交通安全や防犯対策に関する取り組み	700	447	57	12	103	58	1,377	3.5	94.3
振興	21.農林水産業の育成・支援	350	476	108	21	353	69	1,377	3.2	86.5
	22.商業やサービス業の育成・支援	272	492	146	19	384	64	1,377	3.1	82.2
	23.既存企業の支援や企業誘致など、工業の育成・支援	293	474	140	33	373	64	1,377	3.1	81.6
	24.観光地のネットワークづくりなど、観光産業の育成・支援	281	482	184	27	338	65	1,377	3.0	78.3
	25.雇用機会の創出などに関する取り組み	482	454	94	9	272	66	1,377	3.4	90.1
教育・文化の振興	26.心を豊かにし生活に役立つ生涯学習の充実に関する取り組み	419	535	122	17	200	84	1,377	3.2	87.3
	27.世代間の交流があり、地域社会で子どもを育成する取り組み	434	521	99	22	215	86	1,377	3.3	88.8
	28.学校教育の充実、教育施設の整備に関する取り組み	477	442	97	30	246	85	1,377	3.3	87.9
	29.青少年の健全育成、指導等に関する取り組み	418	451	114	49	259	86	1,377	3.2	84.2
	30.芸術や地域文化の継承や振興に関する取り組み	246	486	195	58	302	90	1,377	2.9	74.3
	31.名所や文化財の保護・活用に関する取り組み	378	558	134	20	205	82	1,377	3.2	85.9
	32.スポーツ・レクリエーションの充実に関する取り組み	299	532	203	38	219	86	1,377	3.0	77.5
健康・福祉の充実	33.身近な地域における地域福祉に関する取り組み	429	550	90	18	197	93	1,377	3.3	90.1
	34.健康づくりや身近な医療環境の充実に関する取り組み	427	505	112	19	220	94	1,377	3.3	87.7
	35.高齢者の健康づくりや福祉サービスに関する取り組み	444	479	100	19	250	85	1,377	3.3	88.6
	36.障がい者の就労支援や福祉サービスに関する取り組み	412	455	101	22	298	89	1,377	3.3	87.6
	37.保育サービスや子育て相談など子育て支援に関する取り組み	516	448	104	14	209	86	1,377	3.4	89.1
	38.介護保険制度の普及や介護サービスの充実に関する取り組み	576	419	97	23	176	86	1,377	3.4	89.2
情報	39.行政による広報活動、情報公開、個人情報保護に関する取り組み	426	503	118	25	219	86	1,377	3.2	86.7
	40.地域社会のデジタル化、先端的な情報技術を活用した生活の構築	283	443	169	36	363	83	1,377	3.0	78.0
	41.情報・通信基盤の整備に関する取り組み	291	459	141	35	360	91	1,377	3.1	81.0
市民活動	42.地域住民によるコミュニティ活動の支援に関する取り組み	179	517	212	51	330	88	1,377	2.9	72.6
	43.市民活動団体など公益的な活動の支援に関する取り組み	135	449	223	84	388	98	1,377	2.7	65.5
	44.まちづくりや行政への市民参画に関する取り組み	163	462	201	72	388	91	1,377	2.8	69.6
その他	45.人権教育、啓発活動など人権尊重に関する取り組み	306	501	155	43	276	96	1,377	3.1	80.3
	46.男女が共に活躍するための啓発や支援に関する取り組み	309	505	165	36	272	90	1,377	3.1	80.2
	47.国際交流や外国人が暮らしやすい地域づくりに関する取り組み	245	464	197	62	319	90	1,377	2.9	73.2
	48.健全な財政運営に関する取り組み	596	389	65	16	224	87	1,377	3.5	92.4
	49.行政活動の着実な進捗管理や効率的な行政運営に関する取り組み	469	432	72	15	296	93	1,377	3.4	91.2
合計		18,870	23,686	7,058	1,588	12,504	3,767	67,473	-	-

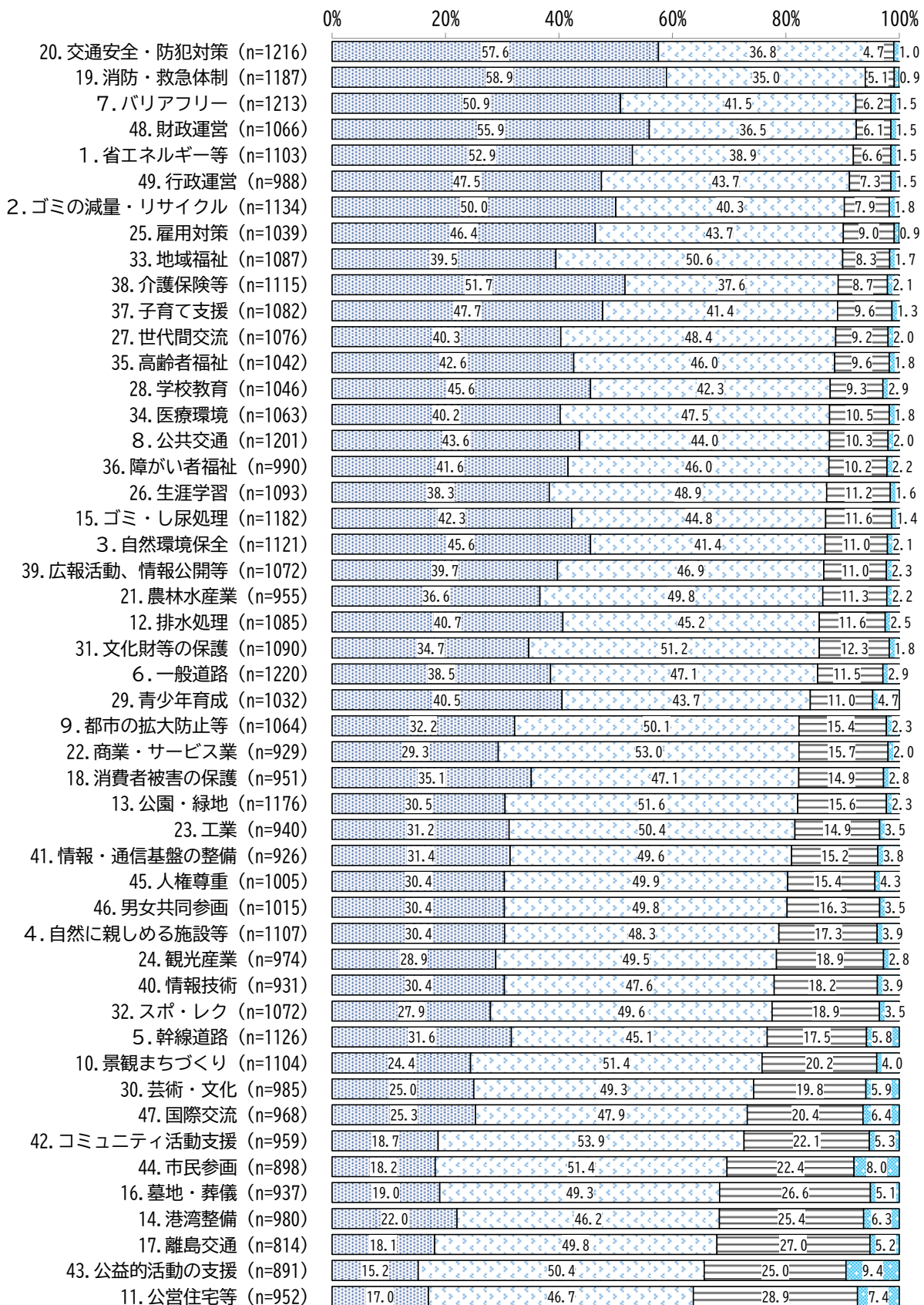
※評価点とは、「重要」を4点、「やや重要」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とした場合の平均点である。

※重要 (%) とは、「分からない」、「無回答」を除いた全体に占める、「重要」、「やや重要」の割合である。

## 2 調査の結果

### 《④重要度の高い順》

2. 今後の重要度（重要である・やや重要である）



■重要 □やや重要 □あまり重要でない ■重要でない

※「分からない」、「無回答」を除いて集計し、グラフ化。

## 2 調査の結果

### 《⑤前回調査（平成28年実施）との比較》

●問8. 前回調査に比べ、満足度が向上した取組の順

順位	取組名	今回調査分		前回調査分		差 (%) (A-B)
		満足度 (%)	満足度 順位	満足度 (%)	満足度 順位	
		A		B		
1	21. 農林水産業の育成・支援	61.2	21	42.0	43	19.2
2	38. 介護保険制度の普及や介護サービスの充実に関する取り組み	63.6	15	46.0	39	17.6
3	22. 商業やサービス業の育成・支援	57.4	34	43.7	42	13.7
4	7. 高齢者などが移動しやすい環境の整備（バリアフリー）	46.1	47	34.6	45	11.5
5	39. 行政による広報活動、情報公開、個人情報保護に関する取り組み	71.1	5	62.8	20	8.3
6	23. 既存企業の支援や企業誘致など、工業の育成・支援	52.8	40	45.3	41	7.5
7	8. 鉄道・バスなど公共交通の整備	46.8	46	39.5	44	7.3
8	25. 雇用機会の創出などに関する取り組み	41.4	49	34.2	46	7.2
9	47. 国際交流や外国人が暮らしやすい地域づくりに関する取り組み	65.0	13	57.9	29	7.1
10	24. 観光地のネットワークづくりなど、観光産業の育成・支援	61.4	20	54.6	33	6.8
11	9. 無秩序な都市の拡大防止と良好な市街地の整備	51.5	42	45.6	40	5.9
12	6. 市内をつなぐ一般道路の整備	66.9	8	61.2	24	5.7
13	1. 省エネルギーや再生可能エネルギー使用の推進	53.7	39	49.0	36	4.7
14	16. 墓地や葬儀に関する取り組み	76.6	2	72.2	6	4.4
15	14. 丸亀港における港湾やアクセス道路などの整備	66.8	9	63.2	18	3.6
16	29. 青少年の健全育成、指導等に関する取り組み	51.3	43	48.0	37	3.3
17	36. 障がい者の就労支援や福祉サービスに関する取り組み	59.4	27	56.4	31	3.0
18	30. 芸術や地域文化の継承や振興に関する取り組み	66.4	10	64.2	16	2.2
19	15. ゴミやし尿の収集処理に関する取り組み	80.7	1	78.5	2	2.2
20	20. 交通安全や防犯対策に関する取り組み	57.9	31	56.1	32	1.8
21	33. 身近な地域における地域福祉に関する取り組み	62.3	17	61.5	22	0.8
22	46. 男女が共に活躍するための啓発や支援に関する取り組み	65.2	12	64.6	14	0.6
23	5. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	73.1	4	72.5	5	0.6
24	32. スポーツ・レクリエーションの充実に関する取り組み	69.7	6	69.3	8	0.4
25	34. 健康づくりや身近な医療環境の充実に関する取り組み	64.9	14	64.5	15	0.4
26	3. 海、河川、山林などの自然環境の保全	59.1	29	59.3	27	-0.2
27	13. 公園・緑地の充実及び維持管理に関する取り組み	60.5	23	60.8	25	-0.3
28	37. 保育サービスや子育て相談など子育て支援に関する取り組み	59.4	28	59.8	26	-0.4
29	2. ゴミの減量化やリサイクルに関する取り組み	73.8	3	74.9	3	-1.1
30	35. 高齢者の健康づくりや福祉サービスに関する取り組み	60.0	25	61.2	23	-1.2
31	17. 離島航路や島内交通の整備などに関する取り組み	56.3	36	58.0	28	-1.7
32	19. 消防や救急体制の整備、自然災害への備えに関する取り組み	67.5	7	70.4	7	-2.9
33	26. 心を豊かにし生活に役立つ生涯学習の充実に関する取り組み	62.2	18	65.8	13	-3.6
34	10. 景観に配慮したまちづくりに関する取り組み	59.6	26	63.3	17	-3.7
35	11. 公営住宅や宅地の整備に関する取り組み	49.1	44	52.9	35	-3.8
36	18. 消費者被害の保護に関する取り組み	52.6	41	56.4	30	-3.8
37	4. 自然に親しめるレクリエーション施設や親水護岸などの整備	47.7	45	53.4	34	-5.7
38	44. まちづくりや行政への市民参画に関する取り組み	57.1	35	63.1	19	-6.0
39	28. 学校教育の充実、教育施設の整備に関する取り組み	62.1	19	68.4	10	-6.3
40	45. 人権教育、啓発活動など人権尊重に関する取り組み	60.8	22	68.2	11	-7.4
41	31. 名所や文化財の保護・活用に関する取り組み	65.4	11	73.1	4	-7.7
42	42. 地域住民によるコミュニティ活動の支援に関する取り組み	60.1	24	68.5	9	-8.4
43	12. 生活排水・産業排水などの処理に関する取り組み	53.7	38	67.2	12	-13.5
44	41. 情報・通信基盤の整備に関する取り組み	45.4	48	61.6	21	-16.2
-	49. 行政活動の着実な進行管理や効率的な行政運営に関する取り組み	62.4	16	-	-	62.4
-	43. 市民活動団体など公益的な活動の支援に関する取り組み	58.8	30	-	-	58.8
-	40. 地域社会のデジタル化、先端的な情報技術を活用した生活の構築	57.7	32	-	-	57.7
-	27. 世代間の交流があり、地域社会で子どもを育成する取り組み	57.4	33	-	-	57.4
-	48. 健全な財政運営に関する取り組み	56.3	37	-	-	56.3

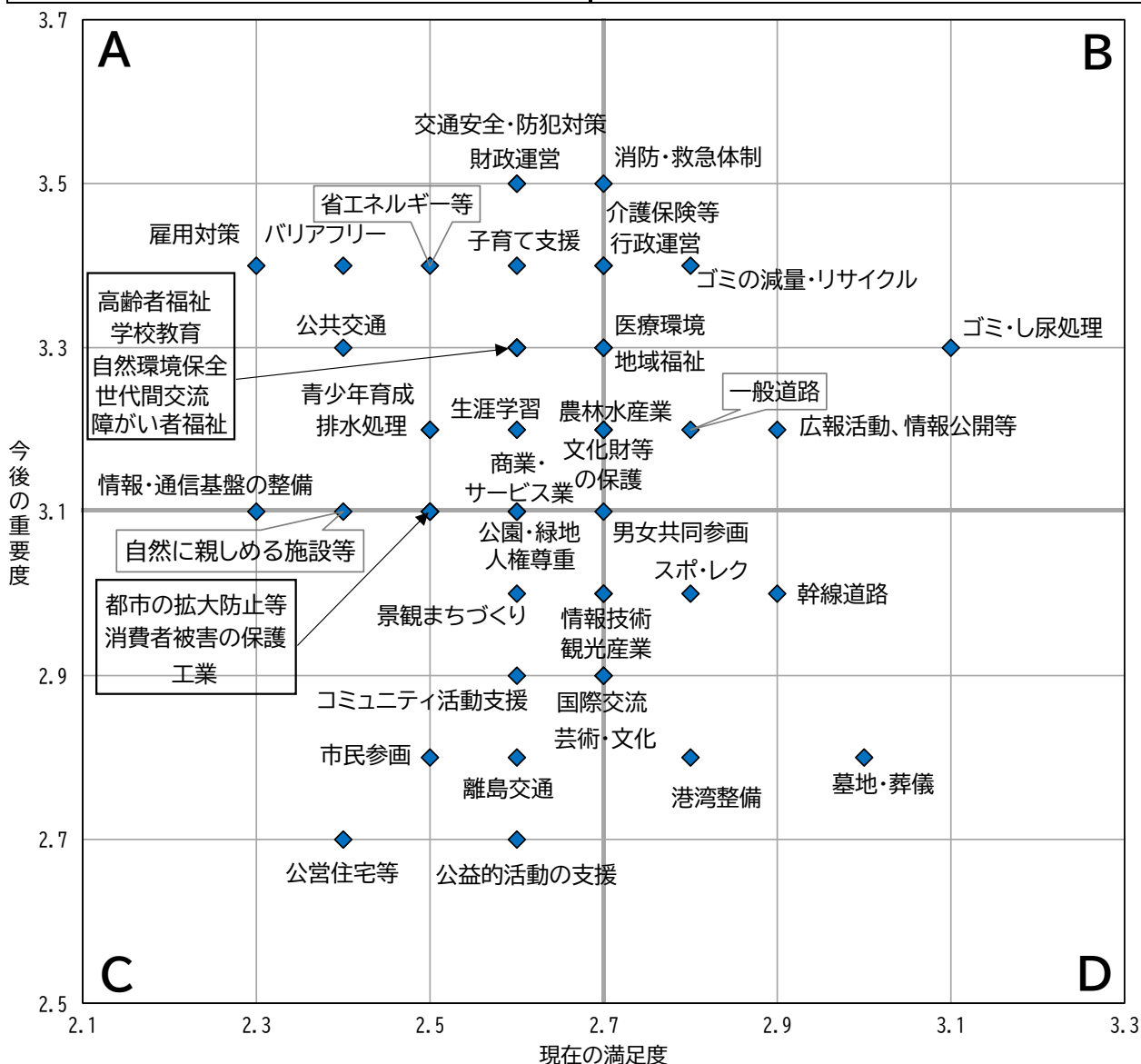
※「満足」、「やや満足」、「不満」、「やや不満」の回答率（「分からない」、「無回答」を除く）で計算

## 2 調査の結果

### 《⑥評価分析》

「現在の満足度」を横軸に、「今後の重要度」を縦軸とし、各項目を評価点により表に落とすと下図のとおりとなり、AからDの4つの分野に大別することができる。

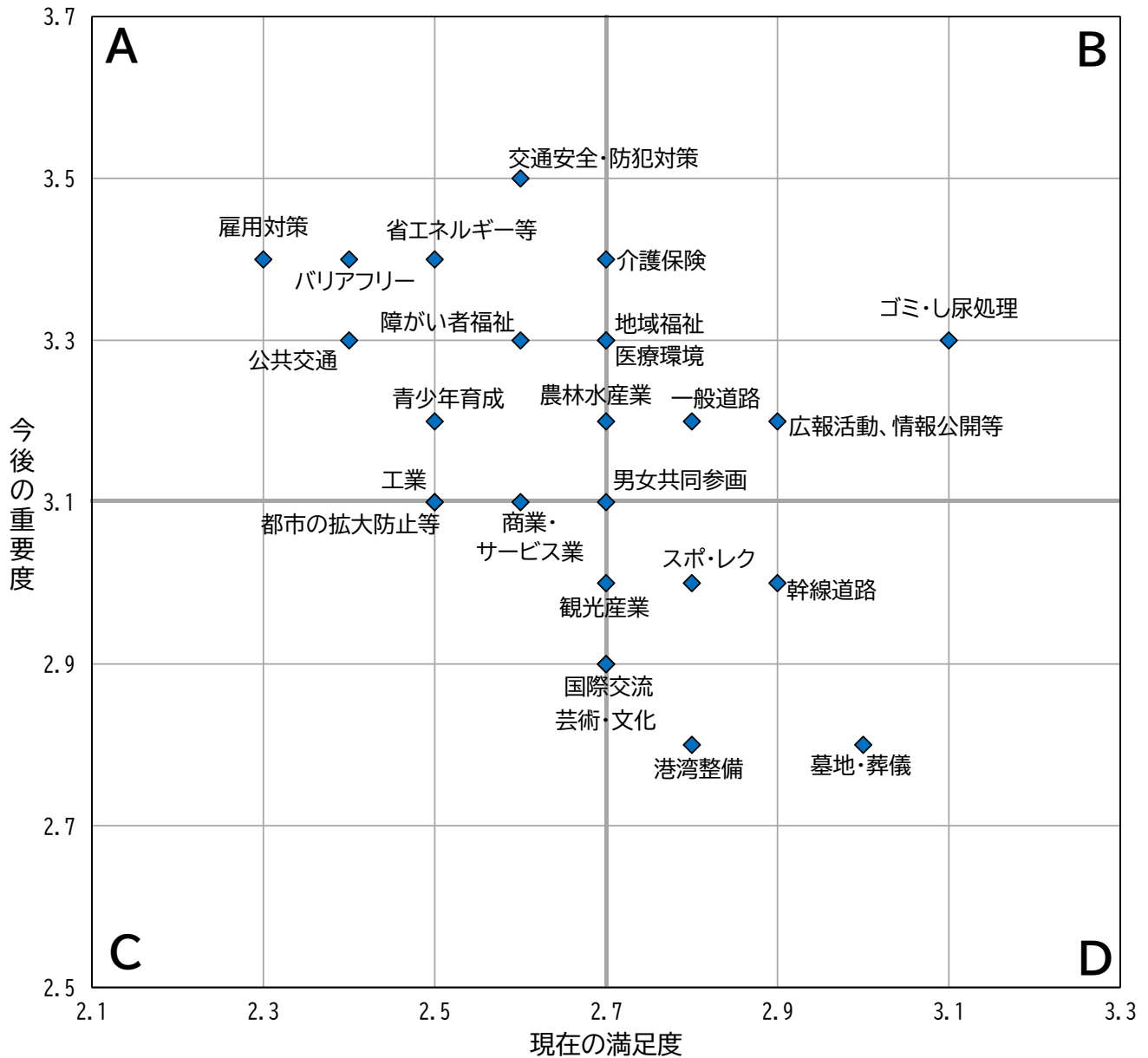
A：重点改善分野	B：重点維持分野
満足度が低く、今後の重要度は高いとする意見が多い分野である。該当する項目への重点的取り組みにより、市民の満足度を高めることが強く求められている。	満足度、重要度ともに高いとする意見が多い分野である。重点分野として、今後も現在のサービス水準を維持していくことが強く求められている。
1. 省エネルギー等 7. バリアフリー 8. 公共交通 12. 排水処理 25. 雇用対策 29. 青少年育成 等	2. ゴみの減量・リサイクル 6. 一般道路 15. ゴミ・し尿処理 19. 消防・救急体制 39. 広報活動、情報公開 等
C：改善分野	D：維持分野
満足度、重要度ともに低いとする意見が多い分野である。実施方法の改善や市民への周知などにより、できるだけ満足度を高めることが求められている。	満足度は高いが、今後の重要度は低いとする意見が多い分野である。今回の調査結果では明確に分類される項目はなかったが、できるだけサービス水準の維持に努めながらも、社会情勢や市の実情に見合った取り組みが求められている。
11. 公営住宅等 17. 離島交通 43. 公益的活動の支援 44. 市民参画 等	14. 港湾整備 16. 墓地・葬儀 30. 芸術・文化 47. 国際交流 等



## 2 調査の結果

### 《評価分析：前回調査から満足度が上がった項目のみ抜粋》

前回調査から満足度が向上したものの、今回調査においては、A（重点改善分野）やB、D（維持分野）に分類されている項目が多数あることがわかる。特に、A（重点改善分野）に分類される「雇用対策」「省エネルギー等の推進」「バリアフリー」「公共交通」等は、より一層満足度を高めていくことが求められると考えられる。

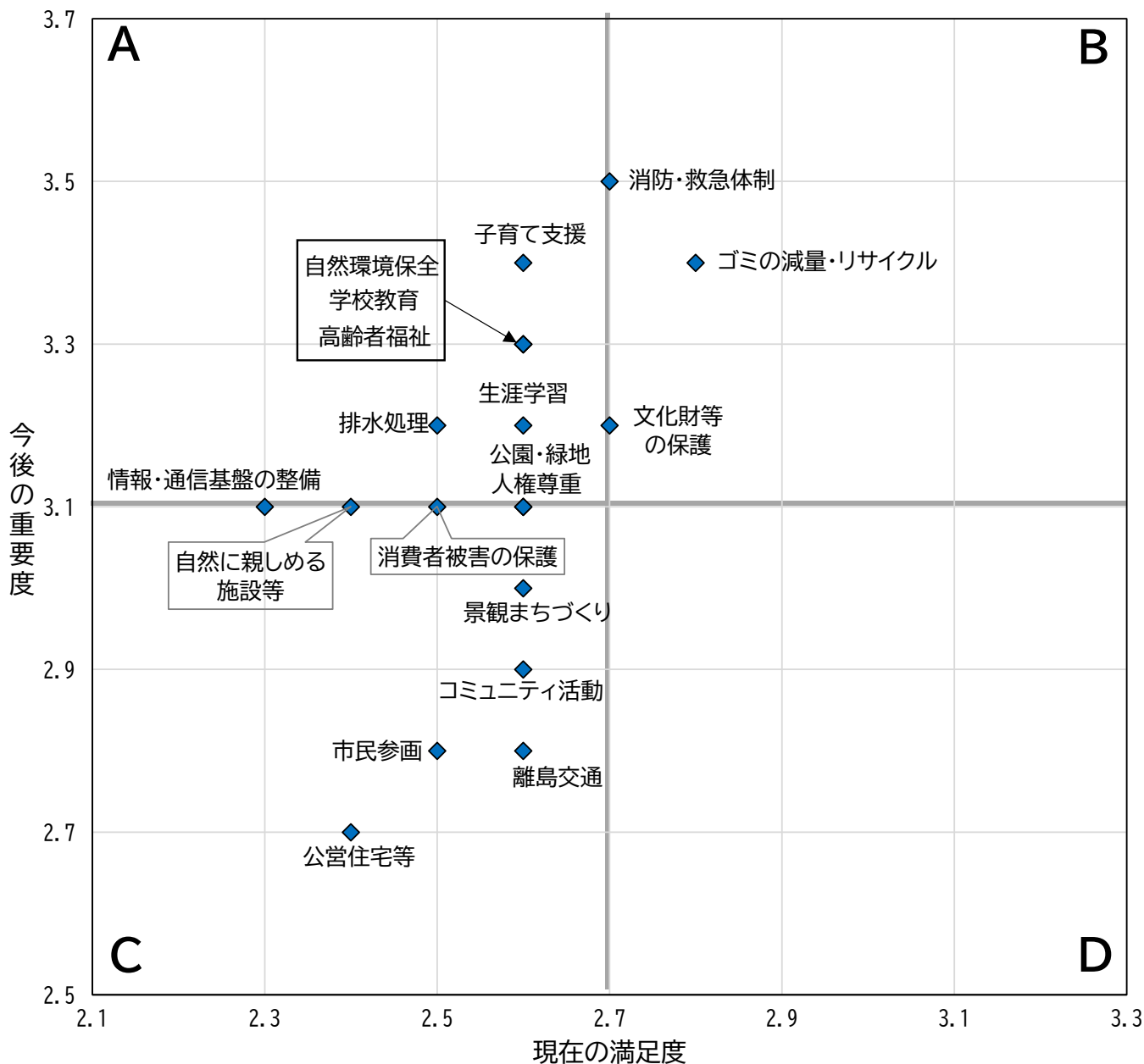




## 2 調査の結果

### 《評価分析：前回調査から満足度が下がった項目のみ抜粋》

前回調査から満足度が下降した項目の中にも、A（重点改善分野）やB（重点維持分野）に分類されている項目が多数あることがわかる。A（重点改善分野）に分類される「情報・通信基盤の整備」等の満足度改善はもちろんのこと、B（重点維持分野）に分類される「ゴミの減量・リサイクル」「消防・救急体制」等について、サービス水準を維持していくことが重要であると考えられる。



## 2 調査の結果

### (5) 自由意見：まちづくりについて

問9 まちづくり全般に対するご意見・ご要望がありましたら、下の欄にご自由にお書きください。

#### 道路環境の整備 35件

No.	意見内容
1	丸亀中心部から最寄りインターまでが遠く、双子山付近にーフインターでもできれば助かる。
2	主要道路（11号・18号・193号）線の渋滞を少しでも減らしてほしい。
3	高速道路の利用が不便。丸亀で乗り降りが出来たら良い。
4	カーブミラーをもう少したくさんつけてほしい。とても見にくい所がある。
5	歩道が無い道路が多々あり危険を感じる。また歩道があってもデコボコガタガタしており、子どもや高齢者等、ましてや車イス等は相当歩きにくいと思われる。
6	歩道が少なく、道路と歩道との段差が多い。自転車、車いすが安全に通行できない。
7	公共事業の一カ所に係る日数が長すぎると思う。道路等。
8	難しいことだとは承知で、朝、夕のバイパスの混雑が解消されて欲しい。
9	まずは防災、道路、河川、鉄道、橋の整備。東南海沖地震も想定するべき。デジタル化等は最後。人と人とのつながりを深め、市民としての帰属意識を高めること。行政として出来るのは公僕である意識を持ち市民に寄り添う事。
10	他県から移住してきたが、コンビニやスーパー、道路にポイ捨てゴミが多いと感じる。歩道が狭い、道がぼこぼこしている箇所が多くベビーカーでの移動がしにくい。
11	用水路が多いので、できるだけ蓋をしてほしい。
12	道路整備にもっと力を入れてほしい（特に橋の工事）。
13	自転車で走りやすい道を増やしてほしい。
14	ハイツ城坤の南側にある道路の端に、穴が開いているところがあつたと思うが、小学生の通学路なので気がかり（修復済みだったら申し訳ない）。
15	11号線ハローズ北から進んだ信号の右折信号が短すぎる。丸亀城から南へ行った「いりえ接骨院」、交通量が多い為信号があると良い。オレンジのミラー、冬になると凍って見えないので凍らない何かをしてほしい。電車の時間のつながりをスムーズに（待ち時間が長すぎる）。
16	XYZ、バサラ、ゆめタウン等の主要道路の交通が円滑でない為、右折車線を河川上、又は立体化する等の対策を考慮していただきたい。
17	信号が無くて、危険を感じる箇所がいくつかあるので、点滅信号でもあれば良いなと思う。事故の多い所などは右折信号などがあれば安全ではないかと思う。個人的には旧国道沿いのビバールがある角など。番丁の鳥居も点滅があれば一時停止無視が減るかなと思ったりする。
18	丸亀旧市街の見通しの悪い交差点の信号の整備（より分かりやすい）。幸町、津森町、今津町、カーブミラーの整備、見え方の確認。
19	家をたくさん増やしているのであれば一般道路もきちんとしてほしい。
20	車道と歩道の整備。
21	小学校の通学路等狭い道もあり、歩道が無いので心配である。また、小中学校の給食費の無料化をしてほしい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
22	①道路補修工事は団地内指導では、年数経過により亀裂が生じ雨水が染み込んでいる箇所が多くみられるが、市の調査は定期的には実施されないのか。②池の土木工事で完了検査が行われていると思うが、舗装工事についての完成検査は十分でない様子。雨上がりの路面でまともに歩けない工事が見受けられる。
23	丸亀駅付近から浜街道の交通をスムーズにしてほしい。
24	飯野交差点付近の信号機のタイミングは、これからも変わらないのか。交通量を分かっている。
25	事故の多い場所には信号機の設置をするべき。
26	通学路の整備を充分に行なってほしい。小学生が本当に危ない。
27	朝の渋滞がひどい。
28	幹線市道（通学、通勤）の交通量の多い所の改修をお願いしたい。
29	道が細く危ないところもあるため、歩道整備は必要かと思う。高齢者が増えるのは間違いないため、年配の方が安全に長生きすることが町として良い評価につながると思う。
30	歩道を整備している範囲を広げて欲しい。急に歩道が無くなったり狭くなったりして徒歩・自転車が通り辛い。
31	信号の長さを調整して頂きたい。渋滞ができるのは仕方ないが、信号のせいで渋滞になる箇所が多々ある。
32	国道 11 号飯野交差点の混雑解消、県道 18 号の混雑解消・歩道の整備をお願いしたい。
33	市街地の歩道の整備状況を再確認して頂けると嬉しい。
34	丸亀市は自然も多く、人の手による管理も比較的良いと思う。ただ道路環境の面では、歩行者や自転車などが危険だと思われる箇所も多々あり、学生やお年寄りには通りにくいと思う。交通事故を極力減らす為に道路環境は常に考えて頂きたい。同時に商業施設などへのアクセス、それと施設内駐車場の交通ルール等ももう少し良くなると、更に良い街になると思う。
35	狭い道を広げてほしい。

### 緑のまちづくりの推進 26 件

No.	意見内容
1	公園などに無料で使えるグラウンドを置いてほしい。
2	丸亀には砂浜がない。万象園の裏も立ち入れない。
3	公園の緑地を充実してほしい。城の周辺の駐車場を無料にしてほしい。
4	子どもの遊べる公園が少な過ぎる。体育館の使用をしたくてもいつも同じところが使用しており、予約も取りづらい。
5	もっと公園などを整備してほしい。防犯上や夜間の安全対策として街灯や歩道を整備してほしい。道路が暗く、歩行者等が見えにくい。
6	子ども達が平和に遊べる公園を増やしてほしい。土器地区には、あまり無い。
7	子どもの遊び場、遊具を綾歌にも多く設置してほしい。
8	公園が少ない。
9	公園の数が減り、子どもの遊ぶ場が道路になってしまっている。学校教員の指導により、遊べと言われて遊んでいると危険だと言われ、安全指導が入る。場所を増やして安全を確保してほしい。
10	自然豊かな公園、運動施設、健康づくりが重要。ゴミ袋を値下げしてほしい。
11	大きな公園があると良い。小学生の子どもがおおり、全ての学校のトイレを洋式にしてほしい。医療費の無料はとても助かっている。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
12	丸亀市は隣の善通寺市に比べて公園が少なく子どもから年配者までゆっくりくつろげる公園があれば良いと思う。アウトドアが出来ればもっと良いと思う。バーベキューやキャンプまで。
13	遊具やアスレチック等が多い公園を作って欲しい。また、幼児が室内でも体を動かせる設備があると嬉しい。
14	軽く運動が出来るアスレチック風な公園があったら嬉しい。
15	他市町村に比べて公園、子どもの遊び場等が少ない気がする。
16	スーパー等がたくさんあり、買い物に困ることはないが、公園等が少なく、子どもの遊ぶ場所が少ない。子育てしやすく高齢者が住みやすいまちづくりをしてほしい。
17	公園の遊具、アスレチック等を充実させてほしい。
18	市役所の新庁舎も完成し、丸亀市中心部のみが活性化しているように思う。丸亀市郊外の環境整備にも努めてほしい。自然の多い散歩道を使ってほしい。外国人にも丸亀市を紹介、説明するときに良いところがなくて困る。
19	飯野町には公園等の遊び場が少ない。
20	城坤地区に大型の公園が無く、蓮池公園等の他の公園が遠く不便。
21	子ども達が安心して遊べる公園など施設がもっと増えると嬉しい。
22	キャンプ場を増やしてほしい。PayPayでの税金支払いを可能にしてほしい。子どもの遊具がある公園を増やしてほしい。
23	子ども達の遊び場広場(お城東側の公園の様な)を増やしてほしい。子どもが親子で駆け回れる広場が少なすぎると思う。
24	丸亀の都市部に、もう少し緑が多くてもいいかと思う。街路樹だけではどこか自然が足りていない気がする。
25	公園が少ない。
26	もうすぐ2歳になる孫がいるが、近くにこの年齢の子が遊べる遊具の充実した綺麗な公園がなく、いつも宇多津方面、蓮池公園、御供所のけんこう公園まで車で行っている。近くにあるのは昔の滑り台がポツンとひとつある公園。国道11号から南方面には遊具の整った綺麗な公園が少ないと感じる。近くに公園を作ってほしい。

### 商工業の振興 19件

No.	意見内容
1	駅前のシャッター通りが醜い。
2	駅前と商店街の活性化。
3	商業施設を綾歌にも多く設置してほしい。
4	コロナ禍ではあるが、活性化としてやはり市中心部(商店街)のテコ入れが非常に大事。シャッター通りにしない。又、イベントの再開も活性化の一案と考える。
5	まちの中心部の活性化が進まない。少しずつ取り組みはしているが、もう少し進めてほしい。
6	丸亀は住みやすく、災害も少なく、温暖で人間も優しいが、若い子が少なく、元気がないように感じる。もっと誘致(店)してほしい。あと市街地は暗く、高校生が塾の帰りなど、真っ暗の中帰宅している。
7	通町や駅周辺に活気が戻ってほしい。
8	商店街をどうにかしてほしい。もったいない、あまりきれいではない。
9	子育て世代にも非常に暮らしやすい環境。コストコを誘致してほしい。
10	丸亀市の中心街で色々な事が事足りるように、充実した賑やかな街を作って頂きたい。
11	丸亀駅前の商店街の再開発。
12	商店街の風景の改善を求める。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
13	飯山町、旧コープの跡地に新しい施設を誘致してほしい。
14	娯楽施設がもっとあれば嬉しい(ショッピングモールなど)。
15	通町商店街は活気がなく寂しいので、人が集まる魅力的な商店街が欲しい。
16	商店街の活性化、有効利用に丸亀市が積極的に関与する。
17	シャッター商店街をどうにかしてほしい。
18	商店街の賑わいを取り戻してほしい。
19	商店街がもっとにぎやかで楽しい場所になれば、通いたいと思えると感じる。

### 自然環境の保全 15件

No.	意見内容
1	草木(雑草等)の剪定が不十分な箇所が多いと思う。ポイ捨てが多いと思う。
2	青の山墓地の草刈りがあまり出来ていない。墓を守れなくなった場合、共同で納骨出来る場所を作って欲しい(経費は負担する)。
3	野焼きが多い、騒音が多い、住宅地でバーベキューや花火をする人が多い。暴走族が多い。ストーキング行為が度々ある。夜間のパトロールを希望する。
4	大東川、土器川の氾濫危険性、及び大雨時に対するため池管理と、河川管理の一体化による安全なまちづくり。
5	高齢者に関する取り組みが重要であるのは理解するが、将来を見据えてより若い層への働き掛けも重要であると感じる。文化財、自然などの保護も考えていただけると良いと思う。
6	河川の整備、道路、川の土手などを時々見回りし、早めに修理をしてほしい。
7	大東川のすぐ近くに住んでいるが、いつのまにかペットボトルやビニール袋がいっぱい浮かんでいる川になっている。綺麗にしてほしい。
8	丸亀に来て自宅近くを散策して思った事は池、河川がとても汚いと思った。生活排水が垂れ流しでゴミ等が沢山あり、何故水を大切にしないのかと思った。
9	大東川の工事をもっと。まだまだ整備がされていない所が多く、汚い。あまり気にならないのかと以前から思っている。
10	土器川河川に自然発育した雑林等が、大雨の度に河川氾濫を招くのではないかとひやひやする。河川の雑林管理をしてほしい。
11	国、県の管轄の道路、河川工事の期間が長過ぎる。
12	中府町に住んでいるが、家の周りは車の通りが多くて犬が散歩しにくい。犬が散歩しやすいような静かで自然が多い場所がほしい。
13	市民農園を整備してほしい。
14	今後さらに進行すると予測される人口減少社会への対応(システム構築)と同時に、今の丸亀市の良い所を将来世代に受け継ぐための環境保護にも取り組んでいただきたい。
15	昨今の市街地や緑地の過剰剪定、除草を中止してほしい。過剰な手入れは動植物の減少、更には絶滅に繋がる。生物多様性の重要度を理解し、緑地を増やす政策に方向転換する事が必要だと思う。

### 公共交通の充実 13件

No.	意見内容
1	公共交通、バスにすると経費が掛かる為、もう少し小さめの車を使用すると良いのではないか。
2	バスなどの乗り物をもっと使いやすくしてほしい。そうすればお年寄りの運転が減ると思う。お年寄りの危険運転が多すぎる。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
3	マイカーを持っていない方が移動する為に、公共交通機関の充実を図り買い物や通院に気軽に行くことが出来るようにして頂きたい。
4	ゆめタウン前から島田まで乗り換えなしの路線を作って欲しい。
5	バスの停留所を増やしてほしい。中央図書館が遠いので近くにも欲しい。図書館を増やしてほしい。飯山図書館が厳しすぎて借りづらい。本当に困っている。
6	交通の整備をしてほしい。特にバスや電車がもっと増えてほしい。
7	まち独特のタクシーのように使用出来るバス等よりも細やかな対応が出来る乗り物があると免許証返納、学生への支援などの問題が解決していくと思われる。民間業者との連携を。
8	コミュニティバスの時間を増やしてほしい。不便で仕方ない。高齢者の人が免許を返納できない。もっと高齢化に対応してほしい。
9	バスが来るのを1時間に1本にしてほしい。不便すぎる。
10	インフラ面でいつも感じている事は通学路に歩行者用の歩道が無いこと。交通手段が無く、バリアフリーではないこと。つくづく小さな子どもや高齢者にとって辛い住環境であると思う。
11	渋滞緩和の為に通勤者(車)を公共交通に取り込めないか。高齢者の足としてボランティア輸送して頂きありがたいが、ボランティアでは担い手の確保がいずれ行き詰る。継続可能な方法を考えて欲しい。
12	飯山、綾歌地区の公共交通の充実を要望する。
13	鉄道・バス等公共交通機関の設備を整えてほしい。整備は難しいと思うが、どうしても通勤・通学での不便さを感じてしまう。

### 情報の発信と地域情報化の推進 13件

No.	意見内容
1	情報の発信にデジタル化をもっと活用してほしい。
2	情報発信は誰でも理解できる発信を。
3	近所の人々が亡くなくても分からない、災害時の連絡用の有線放送をまんのう町のように復活させてほしい。
4	コロナの情報を市から発信してほしい。入院施設の利用状況や逼迫度や重症者等細かく発表してほしい。不明であるから不安が大きい。
5	市民への周知がなく、水面下で行われていることが不満。
6	今はコロナで大変な時期だが、一人ひとりが色々な情報に振り回されず正確な判断をし、毎日生活をするのが重要と思う。
7	あまり丸亀市の広報を見ないので市が今何に取り組んでいるのか知らない。
8	市が何をしているのか、何をしていないのかさっぱり分からないし、知らない。
9	どのような取り組みが行われているのかよく分からない事が多いように感じる。もっと市民に発信してほしい。
10	これらの案件が重要であるという事は承知だが、取り組みの情報が少なく、「分からない」が多い。
11	アンケートを記入するに当たり、細かく尋ねられると自分が現在の市の事についてほとんど分からない事が分かった。どの程度自分が行政について知っておくべきなのか考えさせられた。私の様に思う市民がもっと知りたいと思えるようなPR活動等をして頂けるとありがたい。
12	あまり関心を持っていなかったこともあり、十分理解できない。情報提供の仕方が大切だと思う。
13	丸亀市のホームページでコロナ情報のデータの更新が遅いのが残念に思う。多度津町のコロナ情報は、町と県がリンクしていて見やすい為、丸亀市も見やすくしてほしい。

## 2 調査の結果

### 適正な土地利用と良好な住環境の形成 12件

No.	意見内容
1	街灯が少なく、夜の外出(散歩)が怖い。駅付近に施設が離れていて利用が不便、道中にもなにも無い。
2	無秩序に田畑を宅地にし過ぎている。空き家が増えているように感じる。
3	街灯が少ない為学校から帰宅するのが怖い事がある。
4	田んぼの宅地化が進んでいる。景観と自給率向上の為に宅地化の許可は区域を選定してほしい。周りが宅地化になると日当たりも悪いし苦情が出て困る。空き家対策、木と草が茂ってとても不用心である。
5	富熊、栗熊付近の野良犬の駆除をお願いしたい。自転車をこいだら追いかけてまわされてとても危険。
6	宅地化により農作業への苦情が発生することのないように、条件付きで宅地化するように願う。
7	犬の糞始末の注意喚起の立て看板、監視カメラのレンタル、なお、条例で飼い主を罰則等で取り締まることはできないのか。他人の犬の糞始末等でストレス増大。
8	大通りから一歩入った道に街灯が少な過ぎる。これでは一人で歩いている方はとても恐怖を感じ安全性も悪い。学生(子ども)を守るためにも街灯を増やしてほしい。
9	丸亀駅前にあるむき出し喫煙スペースを何とかしてほしい。丸亀駅を利用する私のような学生は、ほぼ毎朝副流煙を肺に巡らせてから学校に向かう。希望であるはずの若者の健康が今日も脅かされている。高い税金を払っている喫煙者のためにも、遠慮なく喫煙できるスペースを他の場所に提供してあげてほしい。
10	空き家が多いが、田を埋め立てて次々と家が建っている。
11	増え続ける空き家問題の対策(条例、法改正活用など)。
12	空き地や手入れが出来ていない田んぼの整備をきちんとしてほしい。

### 子育て支援の充実 11件

No.	意見内容
1	娘が2歳半だが保育園に入所できるかハラハラした。待機児童が少なくなる取り組みをしてほしい。
2	子ども達にかけられるお金(教育)をしっかりしてほしい。ハード面ではなく、ソフト面をもっと充実させてもらいたい。ヨーロッパの教育など色々な世界で生きていける子どもを育てる市になってほしい。
3	多胎育児に対する取り組みや支援が不十分に感じる。オムツや粉ミルクの補助券等支援があるだけでも全然違う。
4	小学校にも一時預かりを設けて欲しい。低学年では必要な時があり、あおとりでは一時預かりが出来ず困る事がある。
5	現在、子どもがいないのでよくわからないが、シングルマザーの集いなどが出来る場所があったら良いと思う。1人で悩んでいる友人がいるが、中々そういう場に行きづらいと言っていた。
6	子ども達が安心できるような町づくりを市民が1つになって出来るようにして頂きたい。コロナ禍で子ども達が精神的に穏やかにそして少しでも楽しく生活出来るような環境を考えて頂きたい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
7	この地へ来てまだ5年程で、子育てに関することくらいしか関わっていない為他の事は分からないというのが正直な所。子育ての悩みを相談出来る場があるのはとても有難いが、いざ相談したくても平日しか開いていないのでは行きづらい。「仕事よりも子育て」というのは分かるし、そう思っているが、実際の悩みは「金銭面の不安」「子育て自体の不安」「時間的余裕の無さ」が相まって生じるもの。「仕事の時間を減らさない不安が無くせない」というのは「1つくらいの不安は仕方ない」と言われているようなもの。それが出来るなら悩まない。土日等にもそういう窓口を開けてほしい。
8	公約通り給付されるのか。公約は必ず守ってほしい。子育て支援やコロナ対策、ひとり親への支援をお願いしたい。生活が苦しい。
9	子育てしやすく、女性が安心して出産、職場復帰できる支援づくりを希望する。少子高齢化であっても誰もが居心地よく住める街であってほしい。そのためには、乳幼児保育の充実、心身ともに安定した育ちのサポートが必要だと切に感じる。
10	子育て世帯にお金を配って欲しい！子どもは欲しいがお金がない！
11	子育てしやすい環境がさらに整うと、働いているのが別の市であっても、丸亀市で出産し育てよう、丸亀市に住み続けようと思うようになると思う。

### 雇用の促進 9件

No.	意見内容
1	シニアの仕事が非常に少ない。
2	若い優秀な人たちが丸亀から出ていかないように、良い企業の誘致をしてほしい。
3	上記アンケートにおいて設問に対して具体的に市が行っている事例を記載してくれているともう少しイメージしやすく誠実な解答をする事が出来たと思う。文化的観光的側面における取り組みは現状高く評価しているが、納税者である我々こそがここに住みたいかどうかは、子ども達の教育環境の善し悪しと、就労場所4箇所が確保されるかということに尽きるのではと今とにかく雇用を増やし、人を集める事、そして定住してもらうことを優先し施策を施行してほしい。
4	現在若くても、雇用が無く、苦しい思いをしている方がたくさんいる。そんな方へ雇用を与えてほしい。雇用が増えれば人が集まり、経済活動は活発になると思われる。
5	大手企業の受け入れをどんどん行ってほしい。
6	産業誘致こそ市の発展基盤。きれいごとではなく、なりふり構わず進めてほしい。
7	とにかく家賃が高い。低所得者向けの(福祉課)賃貸32,000円以下が無いと交通の便が悪いところに住むことになるので、結局雇用に繋がらない。
8	自分の子どもを丸亀で仕事をさせたいが、就けさせたい会社がない。地元企業に仕事が回ってくるような仕組みにしてほしい。
9	補助金配布も特効薬にはなるかもしれないが、長期的な支援を目的とする場合、雇用創出や情報配信は不可欠である。

### 暮らしを支える福祉の充実 8件

No.	意見内容
1	障がい者、高齢者、子ども等へのサービスを今後さらに充実してもらえると今よりもっと良い市になると思う。東京等の都市部と比べると障がい者への支援、サービスはまだまだ遅れている様に感じる。精神障がい者等目に見えない障がいの方へのサービス向上を特に期待したい。またコロナ禍で少し難しいとは思いますが、私のような若い年齢の方向けに婚活の場や出会いの場、共通の趣味活動の提供の場などがあれば若い方々が市の取り組みに目を向ける機会が増えると思う。
2	子どもや高齢者にやさしいまちづくりを期待している。



## 2 調査の結果

No.	意見内容
3	高齢化社会に向けて住、食、移動、学校への教育の開けた活動手段が大変少ない。
4	高齢化社会への丸亀市独自の施策に期待している。子どもが愛せる丸亀市を目指し、子どもが孤立化しない指導者の育成を期待している。
5	広報は読んでいるが、市の取り組みが分かりづらい。若者でも分かりやすくしてほしい。母子家庭や父子家庭への支援ばかりでなく、一般家庭への支援も考えて欲しい。子ども達の給食費を無料にするのではなく、看護、介護学生等の実習で必要なワクチン接種（B型肝炎ワクチンやMR等）の費用の無料化や補助についても考えてほしい。
6	充実した福祉サービスや身近で親切な行政サービスを希望する。
7	地域住民が公平公正にサービスを受けられるよう配慮してほしい。
8	増税や新型コロナ等の影響で手取りが減り、生活に余裕がなくなった。同じような労働者はかなりの割合で居ると思う。なので、生活にまつわる諸々の要素（金銭面や子育てに関わる物資、人員、設備など）をバックアップしていただけたらと思う。

### 廃棄物の適正処理と再資源化 8件

No.	意見内容
1	自治会未加入世帯へのごみの出し方や分別の指導をお願いしたい。
2	ゴミ収集の時間帯がまちまちでカラスに荒らされる時があり、掃除が大変。
3	家庭ごみを家で焼いたり、車を改造して騒音を出しながら走り回ったりと近所で迷惑行為をする人は必ずどこにでもいるが、直接そのような人に文句を言っても逆切れされるか迷惑行為を更にエスカレートすることになる場合も多い。こういう町全体として小さな困りごとを解決してくれるような良い方法があればと思う。
4	自宅でごみを燃やす人が多くて困っている。
5	自治会清掃時に必要なゴミ袋の数が不足しないようにしてほしい。申請しても時間が掛かりすぎる。前もって申請しているのにもかかわらず、これでは市民の期待に応えていない。
6	自治会に入会しなくてもゴミを捨てられるようにしてほしい。自治会の活動が過剰で生活しづらい。自治会にヒエラルキーがあり、精神的に苦痛。監視カメラの設置→不法投棄を防ぎ防犯に役立つ。
7	富熊の山に住む少数の方々が使用している道路にごみのポイ捨てをする外部の方が急増している。住民の方が気の毒でかわいそう。ポイ捨て禁止の看板にもっと強い強制力のある言葉を入れてほしいと思う。住んでいる人は絶対にしないと思う。自分の家や車にゴミを持ち込みたくない、自己中心的な若者が増えていると思う。罰則があっても良いのではないか。市の迷惑防止条例を強化してほしい。
8	今年の3月に多度津町から飯野町に引っ越してきた。子どもはおらず、夫婦二人の生活をしている。引っ越しの際に市役所でゴミの分別の冊子はいただいた。可燃不燃は問題なく出すことができたが、資源ゴミの回収は来ないため困っている。問い合わせしたところ可燃不燃に混ぜるか川西町にある回収センターまで持ってくるように言われた。言われた通りビンを不燃ゴミに混ぜて出したが回収してもらえなかった。現在は実家まで持っていき捨てさせてもらっている。些細なことだがとても不便を感じている。引っ越してきてまだ地域の方との交流もなく自治会があるのかなのか誰が会長なのかもわからず、コミュニティと一緒に捨てさせていただくことも確認できず引っ越してきて不安に思っている。どうすれば良いのか。

## 2 調査の結果

### 市民参画と協働の推進 8件

No.	意見内容
1	市政に参画ということで、パブリックコメント等、意見、要望を提出しても全く反映されない。すでに以前より、市の案ができており、市民から意見を聞いたというアリバイ作りになっている。
2	地域の特色を生かしたまちづくりの展開に向けて地域と行政との協力が大事だと思われる。
3	今の政治→民意気にする→50年後を見越した政策があってそこから何をやるのかの発想が大切。
4	大都市のまねをしても丸亀市は良くならない。独自の発想で計画するべき。議員×職員では良い意見が出ていない。広く意見を集めて政策を決めて欲しい。
5	若い世代中心に意見を出せる場所、活躍できる行政に変化することが急がれる。新しい発想を受け入れ、古き良き物を残す。三豊市が良い例だと思う。若い人たちが集まり、人口減にならない町づくり。スピードと新規へチャレンジする町になることを期待したい。
6	行政の取組みに、もっと市民を参加させるべきだと思う。何をしているのか具体的に分かりやすく市民に報告すべきだと思う。
7	市民でありながら、行政等への個人、団体の発言が希薄である。市議会等での議決以前の情報収集が大事だと思う。
8	市民の力を活用すべくインセンティブが働く仕組み作りが重要。

### 歴史的資源の保存と活用 8件

No.	意見内容
1	こびら丸亀街道など歴史のある物がたくさんある為、地域の歴史を活用したイベント等があれば良いと思う。
2	丸亀城のために募金をしたが、新市長が1人10万配るといってお金があるなら、市のお金で城を治せるのではという疑問。
3	丸亀城を中心としたまちづくり（倉敷美観地区参考）。特に城堀の整備、城周りの交通網の整備（一方通行を増やす）。
4	丸亀城の石垣が大変な事になっている。文化として大切にしていきたい。
5	丸亀という城下町を前に出してきた、もっと歴史を感じ、すばらしい街にしてほしいもののどっちつかずである。
6	丸亀城の石垣の完成を心待ちにしている。
7	せっかく自然豊かで歴史的なお城や寺社があるのに、まだまだ観光地として不十分でもったいないと思う。積極的に駐車場等の整備等をしていくとSNSの効果も期待でき集客アップするはず。
8	他の県・市から来てみたいと思われる町づくり、丸亀城のアピール（丸亀城の頂上に登れる工夫・桜の植替え等）、お城祭りのマンネリ化の解消（初心に帰る）。

### 文化芸術の振興 7件

No.	意見内容
1	マルタスができ、便利で居場所にもなり、とても満足している。中高生も喜んでいる。観音寺のハイスタッフなどのように（志度、ユープラザもあったかも）音楽ホールなどの練習に、学生が使えるプランがあれば良いのにとと思う。6～7年前に相談したときには無く、今あるかどうかは分からない。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
2	新しい庁舎及びマルタスは市民の居心地の良い設備になったのでそれとお城を巻き込んでみんなの劇場（新市民会館）を丸亀らしさ、文化芸術を発表出来る会館として作る事でこれからの若者が本物に触れられる。伝統を残しつつ便利で安全な地方都市丸亀をアピールしてほしい。
3	市の文化財費の活用についての取り組みが弱いと思う。全国的にも丸亀城をもっとアピールしてほしい。
4	文化財等の保護。市の施設活用。高齢者、障がい者の方の住みやすいまちづくり。子育て支援。子は宝である。
5	体育・福祉に偏りすぎている。文化・教育が遅れている。
6	丸亀現代美術館施設の市民への使用開放をもっとしてほしい。
7	他の市町に比べて、文化活動の支援が少ない。

### 財政運営の効率化 6件

No.	意見内容
1	市民から徴収した税金を円滑で効果的に使ってほしい。必要な事は税金を使って活用してほしいが、無駄は省いてほしい。まだまだ無駄があり、税金とサービスが釣り合わず税金が高いと感じる。
2	財政基盤がしっかりした普通の市。目立たないけど豊かな市。通町、富屋町については観音寺の方法が参考になるのではないかな。
3	健全な財政運営は大切であり、10万円支給は問題。支給無しで良いと思う。
4	公約の10万円をあてにしていた。有言実行してほしい。市の財政もわからず発言、当選。無責任な人がトップであると思う。
5	全県民コロナワクチン接種後の世界まで公共サービスを少しでも維持するために、税金を使っている中から、無駄な支出(月単位でなく年単位で見て)を財政にまわしてほしい。すでにされているなら、続けてほしい。
6	どこの自治体も同じだと思うが、無駄な事にお金を使わない。政治活動の際たまに横柄な態度を取る方を見かけるが議員様だと偉いのだろうか。

### 行政運営の最適化 6件

No.	意見内容
1	条例を制定の上、民間に移管出来るものは移管して行けば良いと思う。
2	市は多くの事業を外部に委託している。何かあった時に市に問い合わせをしてもたらい回しにされてしまう。市職員でさえ事業を把握出来ていない、責任を持とうとしない状況を感じる。外部に委託して終わりではなく、市民サービスとして外部団体と協力して当事者意識を持って業務に当たってほしい。
3	行政は金を出す、民間に委託する。しかし自分は動かないという基本的な考え方をやめなければ何をしてもダメではないかな。
4	現行の丸亀市の行政等について、無駄な点に経費を使っている様にとと思う。
5	行政に関して、縦割り意識が強いと思う。町全体をよくするためにどうすべきかを考えてほしい。道路横の側溝や用水路など、交通安全や高齢者のことを考えれば、利権など関係ないのではなど。
6	市長が松永さんになり不安もあるが、行政に携わる方々がしっかりバックアップして頂きたい。

## 2 調査の結果

### 地域コミュニティの活性化 6件

No.	意見内容
1	コミュニティ活動に対する行政の積極的指導と支援。丸亀市の都市計画（まちづくり）が一般市民には見えてこない。
2	人と人とのつながりを大切にする取り組みを推進。ジェンダー平等を進める。
3	働き盛りの年代の頃に丸亀に転居した。子どもも小学校、中学校は卒業しており、ここが何コミュニティかも知らず選挙に行くのも場所が分からず、マンション住まいの為町内自治会の人達にはよそ者扱いで資源ごみを捨てさせてもらえず嫌な思いをしてから疎外感をぬぐうことができない。したがってNo.26～49 までの取組み内容に関してあまり…。ひきこもり老人なのだろう私。
4	コミュニティ活動は一部の人々が参加し、他の人はないがしろにされているように思える。もっと地域住人に連絡してほしい。
5	地域を超えたコミュニティ活動の連携と、公民館（コミュニティセンター）の古い風習の見直しをして、だれでも参加、利用しやすい規定をお願いしたい。
6	行政と各市民の中の団体や地域コミュニティ等を利用して、高齢化社会に対し風通しの良い繋がりを構築する必要有り。まずは行政と市民をつなぐ簡単な声掛けから。

### 交通安全・防犯・消費者保護対策の充実 6件

No.	意見内容
1	不審者情報が多いのが気になる。子育て世代からすると不安でしかない。もっとパトロール強化等に取り組んでいただけると嬉しい。
2	車を運転している人のモラルの無さに憤慨している。
3	学校に迎えに来た家族の運転マナーが悪すぎて怒っている。
4	交通事故が多発している場所が死角になっており、再チェックして改善して欲しい。
5	運転マナーを守りやすくする道路づくり、意識改革。
6	丸亀市は全体的に治安の良いイメージがない。まずは、町ごとでも良いので治安向上を図るべきだと考える。

### 観光の振興 4件

No.	意見内容
1	市全体が活性化するようなイベントや観光に目玉が欲しい。高齢者に優しい市づくりをしてほしい。
2	丸亀城を中心とした活気のある街づくり。丸亀駅からお城までの道を見直し、観光に力を入れる。
3	観光産業促進のため電気自動車のための充電インフラ整備に力を入れるべき。
4	街を良くする。街を全国にアピールする活動を市が気軽に参加できるようなシステムになれば良いと思う。市民が丸亀市をもっと愛してもっと深く知ることができるような、楽しんで学べる楽しいイベントがたくさんできたら良いと思う。

### 地域保健・医療の充実 4件

No.	意見内容
1	医療の水準を上げてほしい。病院はあるが、質（医療機器や医師等のレベル）に満足がいかない。眼科もいざとなれば坂出市の眼科を勧められるが、遠い。交通事故の少ない、医療水準の高い、自然景観の美しい安全なまちをつくってほしい。
2	人口の割に大きい病院が少ない。労災病院しか思い浮かばないが、評判がよくない。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
3	子どものインフルエンザワクチンの助成制度を設けるのはどうか。市長は選挙前の公約は守るべきだと思う。市長になった途端に変更はいけないと思う。その公約に対する実現可能かどうかの検討が甘すぎる。
4	丸亀市民病院の要否の議論は過去にあったか。

### 生活排水処理施設の整備 4件

No.	意見内容
1	下水道の整備をより広範囲でしてほしい。
2	家庭排水の水路への流し込みについては、建築承認時に土地改良区の認可が必要とする条例を作っていたきたい。
3	下水道の整備。
4	下水整備。

### スポーツ・レクリエーション活動の振興 3件

No.	意見内容
1	子ども達に本物を見せてあげたい。田舎なので難しいかもしれないが、コンサートやスポーツなど一流のものに触れさせてあげたい。
2	野球が好きなので、もっとプロ野球を見られる機会を増やしてほしい。
3	丸亀市民プールを作してほしい。野球やサッカー、陸上、古いけど武道場、体育館もあるのにプールが無い。飯山の体育館あたりにできたらとってもいいと思う。

### 災害に強い都市基盤の整備 2件

No.	意見内容
1	南海地震や災害（台風・水害）時の避難場所として、丸亀市の施設が、民間施設等があれば広げてほしい（コロナ対策として）。
2	現在、コロナウイルスの影響により困難ではあると思うが、地域での人と人の繋がりを持つ機会があればいいと思う。私自身、大学で防災について学習しているが、コミュニティの構築が地域の防災力につながるため重要視している。

### 学校教育の充実 2件

No.	意見内容
1	産業の振興は市民生活の活動の結果、発生する部分もあると思われるのであまり行政主体でなくとも良いと思う。それよりもモラルのある人材を育成するよう子どもや青少年の教育に力を入れたり子育て世帯の流入を増やすよう今後の投資をしっかりとしてほしい。高齢者へのサービスは十分だと思う。
2	きちんと子どもに教育できる環境を作してほしい。現状周りの子どもは親や保護者からきちんとした教育を受けておらず野放しの状態になっている。未来の為に子どもを作れと言うだけではなくきちんと教育できるようにしてほしい。

### その他 54件

No.	意見内容
1	市長が市民を裏切る事を許すと、市全体の信頼が出来なくなる。
2	コロナ禍で今まで出来ていたことが出来なくなっている事が多い。しかし丸亀市の良さを生かし、これからも住みよい町づくりを改めて考えていく必要があると思う。分からない事も多かったのもっと見える化してほしい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
3	市民のことを考える。
4	マルタスはとても良い場所で子どもも遊べるが、親は中で走り回っている子を放置し、おしゃべりしたり本を読んだりして子どもを見ていない。マナーが悪い人が多すぎてケガや事故につながる恐れがある為、小さい子を連れて行くのが不安。
5	福祉の充実をお願いしたい。福祉サービスの取り組み等が今後の重要課題であると考えている。
6	どれくらいの事をしているのかよく分からないが、健康、福祉の充実は重要だと思う。
7	今のコロナの状態では何を希望しても無駄だと思う。
8	安心・安全なまちづくり。
9	問8のアンケートは、市政・施策の全般に精通している人でない限り、特に「現在の満足度」の判断を求めるのはどうかと思う。行政職員の発想らしいが、10人が10人、同様の意見だと思う。細かすぎる。
10	市が進めている取組内容がまったくわからない。質問の意図がわからない。
11	環境、規模、財政、人口等に見合った街づくりが望まれる。
12	高齢者や障害者が1人で外出するには不安な場所や交通の便が悪い箇所が多いが、若者は便利で良いまちになったと思っているかも。
13	住みやすいまちづくり。
14	都会や人口の多い都市と同様にはいかないが、丸亀市ならではのまちづくりを進め、「ちよど良い田舎」として住みやすさを重視して頂ければと思う。地域の協力もあってこそだと思う。
15	利便性を考えると仕方のない事かもしれないが、庁舎、拠点施設が市街地に集中している様に感じる。高齢者社会の今、市全体のバランスに配慮したまちづくりを希望する。
16	土器川の利用者は多い。それなのにトイレ等の設備が整理されていない。女性の事を考えていない。
17	市長にはしっかり公約を果たして頂きたい。
18	港、駅、商店街、市役所、城がコンパクトになっており、そこが丸亀市の強みであると思う。理想的なコンパクトシティを目指した街を創って頂きたい。
19	地元に寄り添って進めるべき。スーパーが必要なのに、全てではないがやはり的が外れている建物を作ったり、「これは何？」というものがあったり。特定の間人が得するような物の考え方から作られるものが多い。
20	転職で引っ越してきただけなので、現在の市の状況はよく分からない。
21	アンケートの内容が難しい。もっと細かく分かりやすくしてほしい。
22	新型コロナウイルスが一刻も早く落ち着くよう、市民全員で協力したいと思っている。
23	新市民会館は市内に作ってほしい。
24	丸亀は静かで便利で住みやすい所だと思う。
25	市役所内のスターバックスコーヒー店は客観的に見て要らないと思う。
26	まだまだ分からない事が多過ぎて何をどうして良いのか戸惑う事が多いと感じている人は居ると思う。
27	全ての項目に対して不満があり、また今後重要である取組みに対して注視している。
28	公共施設や学校等のトイレの洗浄をボタン式又はセンサーで流れるようにして頂きたい。コロナ禍なので特に。
29	土日曜日に各証明書を市役所で発行出来ること。
30	河川敷のトイレをすべて水洗にしてほしい。
31	同じような分かりにくい項目が多く、アンケート自体無駄が多いのでは。もっと簡単簡潔な内容にしてほしい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
32	各項目について重要なところであるが、今まで深く考え、意識することがあまり出来なかった。自分の生活や健康維持にどうしても時間を取られ多くの分野についてあまり考えられない。
33	道の拡張や新設等要らない所にお金を使い過ぎ。この狭い丸亀に道は要らない。香川は文化的にもまちづくりにも方向性が間違っていると思う。便利が全てではなく、心を豊かにする教育を子どもから大人まで欠けていると思う。香川の人には他者を思いやる人が少ない。
34	青ノ山墓地公園の駐車場以外に路駐している車がとても危険である。置けない様対策してほしい（カースケード下流の地点のカーブの所）。
35	以前は、婦人会や趣味の講座に参加していたがやめた。婦人会長が私の持参したチャリティー品を下さいと言った。立場上断れず暫くして退会した。趣味の講座の講師が材料品を売りつけ、買わない人には不機嫌。
36	無駄なアンケートだと思った。アンケートの解答が難しい。
37	魅力あるこれからの若い世代の住みやすいまちづくりをしてほしい。
38	市の中心地の整備に注力し過ぎではないか。
39	高齢者と子どもの交流会があるのは良いと思うが、高齢者が子どもに上下を付けるのはどうかと思う。実際自分や友人は被害を受けている。泣いた子どもだっている。高齢者が集まる会にしたいなら、子どもを呼ぶなど言いたい。
40	市長の公約違反かどうかのニュースが全国ニュースで流れているのを見ると、正直辛い。早く決着をつけてほしい。もし再選挙となると、経費がもったいない。
41	まずは人を大切にしてほしい。それが町、市の発展につながる。
42	コロナの為あまり出歩かない。早く以前のように出かけた。活気がない。
43	県としては取り組んでいることが、丸亀市としてはどうかという項目がやや多かったように思う。うちはもう子どもが大きくなってしまったが、地域の子どもの会のような、小さいコミュニティで父母が主体となって活動をしていくスタイルは今や時代遅れかと思う。地域ぐるみで子育てをするというのは、理想であっても、家族形態の多様性や仕事の休みの取りやすさなどは各家庭によって本当に様々だと思う。高松で行われていたボランティアを主体にしたキャンプ等に子どもをよく連れていっていたが、丸亀でも(多少参加者の個人負担をお願いするようになったとしても)市単位での子育てイベントを主催していただければと思う。子どもの人数がますます少なくなっていく中、10月のお神輿にしても、限界があった。ちなみにうちの子は宇多津にお友達がおりそちらのお御輿と一緒にかいていた。丸亀で子育てをしたという実感があまりない。
44	地域格差をなくする。
45	コロナが終息すれば、町全体で活気のあるイベント等を行ってほしい。
46	母が丸亀市に転入してきたが米寿の祝金をもらうことが出来なかったのが残念。転入時期が数日遅かっただけと言うのが理由。
47	通町の活性化が必要。
48	丸亀市が今後、どのようにまちづくりを実施していくのか、具体的なビジョンが市民には理解できていない。
49	今現在どの様な事に取り組まれているかよく分からない。
50	何をするにしても分かりやすく透明性を持たせてほしい。
51	普通に生活していく分には特に不便なことはないので意見も要望もない。可もなく不可もない。
52	選挙の期日前投票で初めてマルタスに行った。ブックカフェのような試み、とても良いと感じた。

## 2 調査の結果

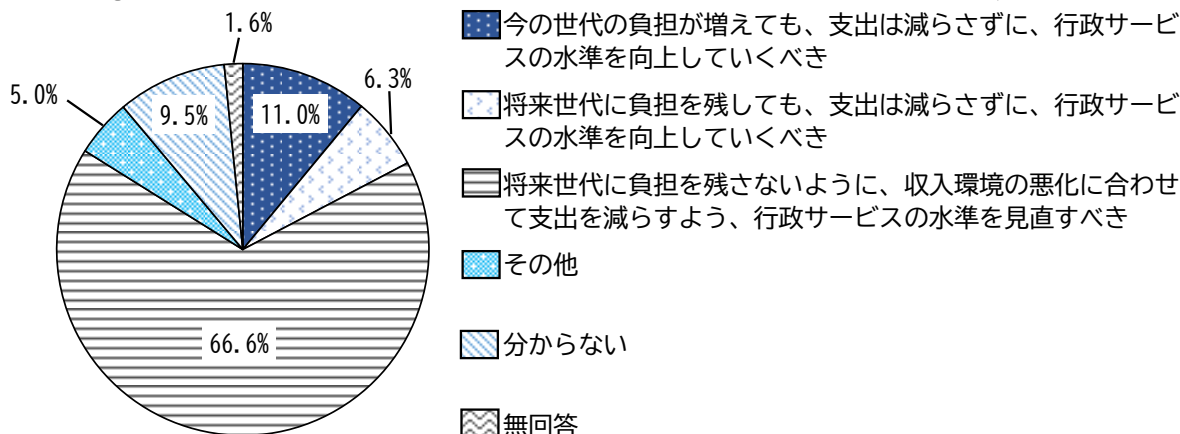
No.	意見内容
53	このようなアンケートについて、各項目のことを様々に把握している人などいないと思われる。大半が現在の満足度と問われても分からないと回答せざるを得ない。これらの質問をすべて回答させる意図が見えない。
54	今回の質問で出た各項目について、丸亀市として、具体的にどういう取り組みをしてきたのかをあまり知らないため、満足度については正確に答えられないため、「わからない」にチェックしたものが多くなった。各テーマへの関心度については新聞・ネット・TV等を通じて自分なりに問題意識を持っているつもりだが、それらに対する取り組みが、国や県レベルで取り組む内容と市町村レベルで取り組める内容は異なるし、丸亀市がどこまでやっているのか知らないため、今回のアンケートの集計をしても正確な民意は分からないと思う。このテーマについては、丸亀市としては具体的にこういう取り組みをして、こういう成果を出して、来期以降はこういう取り組みをしていく考えだという説明文を作ってリンクを張って、読みたい人が読めるようにしほしかった。



(6) 行政改革について

問10 市では、多くの分野（教育、環境、道路、消防、産業、福祉など）について行政サービスを展開していますが、今後、税金など歳入が減少する前提で考えた場合、限られた財源の中であっても、市民の皆さんの満足度につながる望ましい行政サービスのあり方として、次の①～④の項目ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ1つだけ○）

【① 行政サービス全般の水準と市民の負担について 全体 n=1,377】



行政サービス全般の水準と市民の負担については、「将来世代に負担を残さないように、収入環境の悪化に合わせて支出を減らすよう、行政サービスの水準を見直すべき」の割合が66.6%と最も高くなっており、次いで「今の世代の負担が増えても、支出は減らさずに、行政サービスの水準を向上していくべき」(11.0%)、「分からない」(9.5%)、「将来世代に負担を残しても、支出は減らさずに、行政サービスの水準を向上していくべき」(6.3%)、「その他」(5.0%)となっている。

「その他」には、「全ての支出を減らさずに無駄を省く努力をする事」、「高齢者の活用機会を増やすべき」等の意見があった。

【① 行政サービス全般の水準と市民の負担について 年齢別】

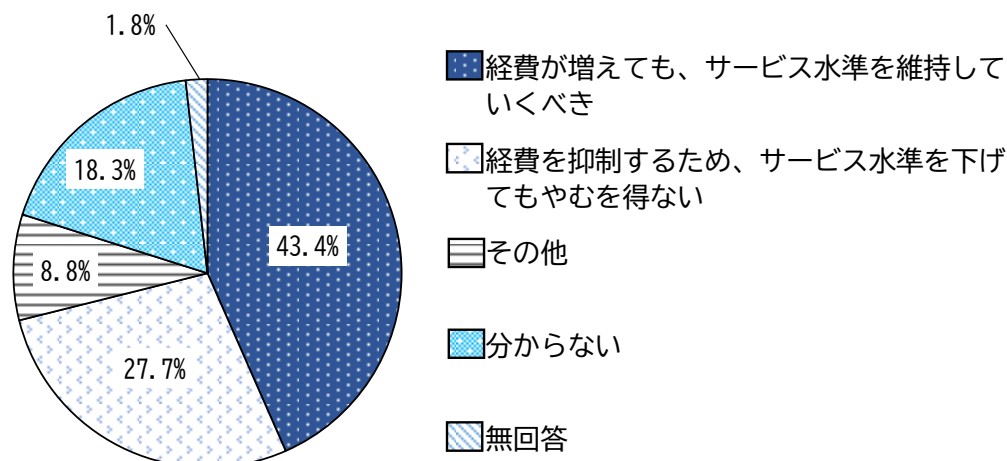
	調査数	今の世代の負担が増えても、支出は減らさずに、行政サービスの水準を向上していくべき	将来世代に負担を残しても、支出は減らさずに、行政サービスの水準を向上していくべき	将来世代に負担を残さないように、収入環境の悪化に合わせて支出を減らすよう、行政サービスの水準を見直すべき	その他	分からない	無回答	
全体	1,377	11.0	6.3	66.6	5.0	9.5	1.6	
年齢別	16～19歳	60	15.0	5.0	60.0	5.0	15.0	-
	20～29歳	85	8.2	10.6	65.9	1.2	12.9	1.2
	30～39歳	194	13.9	5.7	67.0	5.2	7.7	0.5
	40～49歳	202	7.9	6.4	70.8	4.5	9.9	0.5
	50～59歳	247	10.9	7.7	64.0	7.7	9.3	0.4
	60～69歳	292	8.6	4.8	72.3	4.1	8.6	1.7
	70歳以上	293	13.7	6.1	61.4	5.1	9.2	4.4

1位 2位

年齢別でみると、いずれの年代でも「将来世代に負担を残さないように、収入環境の悪化に合わせて支出を減らすよう、行政サービスの水準を見直すべき」が6割を超えて最も高くなっている。

## 2 調査の結果

### 【② 福祉などソフト事業に関するサービス水準について 全体 n=1,377】



福祉などソフト事業に関するサービス水準については、「経費が増えても、サービス水準を維持していくべき」の割合が43.4%と最も高くなっており、次いで「経費を抑制するため、サービス水準を下げてもやむを得ない」(27.7%)、「分からない」(18.3%)、「その他」(8.8%)となっている。

「その他」には、「サービス内容にこだわるのではなく、価値のある経費運用を希望」、「福祉などの面はもっと水準を高めるべきだと思います。命に関わる事は水準が高い方が安心できます」等の意見があった。

### 【②福祉などソフト事業に関するサービス水準について 年齢別】

		調査数	経費が増えても、サービス水準を維持していくべき	経費を抑制するため、サービス水準を下げてもやむを得ない	その他	分からない	無回答
全体		1,377	43.4	27.7	8.8	18.3	1.8
年齢別	16～19歳	60	28.3	25.0	5.0	41.7	-
	20～29歳	85	47.1	22.4	3.5	27.1	-
	30～39歳	194	51.0	24.7	5.2	18.6	0.5
	40～49歳	202	37.1	31.7	12.9	17.8	0.5
	50～59歳	247	44.9	22.7	13.0	18.2	1.2
	60～69歳	292	47.3	26.7	8.6	15.1	2.4
	70歳以上	293	39.9	33.8	7.5	14.3	4.4

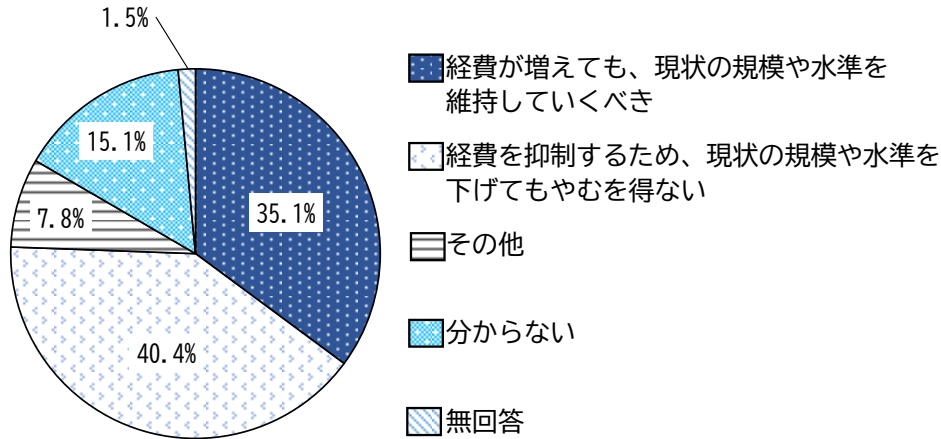
1位

2位

年齢別でみると、16～19歳では「分からない」(41.7%)が、その他の年齢別では「経費が増えても、サービス水準を維持していくべき」が最も高くなっている。

## 2 調査の結果

### 【③ 道路、公共施設などハード事業の整備水準について 全体 n=1,377】



道路、公共施設などハード事業の整備水準については、「経費を抑制するため、現状の規模や水準を下げてもやむを得ない」の割合が40.4%と最も高くなっているが、「経費が増えても、現状の規模や水準を維持していくべき」の割合も35.1%となっており、その差はわずかである。「分からない」は15.1%、「その他」は7.8%となっている。

「その他」には、「教育関係や災害避難関係を優先してほしい」、「事業ごとに規模や水準を変えて全体の経費は抑制すべき」、「上下水道など生活必須は維持すべき（スポーツ、レクリエーションプールは不要）」等の意見があった。

### 【③道路、公共施設などハード事業の整備水準について 年齢別】

		調査数	経費が増えても、現状の規模や水準を維持していくべき	経費を抑制するため、現状の規模や水準を下げてもやむを得ない	その他	分からない	無回答
全体		1,377	35.1	40.4	7.8	15.1	1.5
年齢別	16～19歳	60	36.7	30.0	1.7	31.7	-
	20～29歳	85	44.7	36.5	3.5	15.3	-
	30～39歳	194	38.7	41.8	5.7	13.4	0.5
	40～49歳	202	27.7	45.0	12.4	14.4	0.5
	50～59歳	247	32.0	44.1	8.9	14.6	0.4
	60～69歳	292	33.6	43.2	9.2	12.3	1.7
	70歳以上	293	38.9	33.8	6.5	16.4	4.4

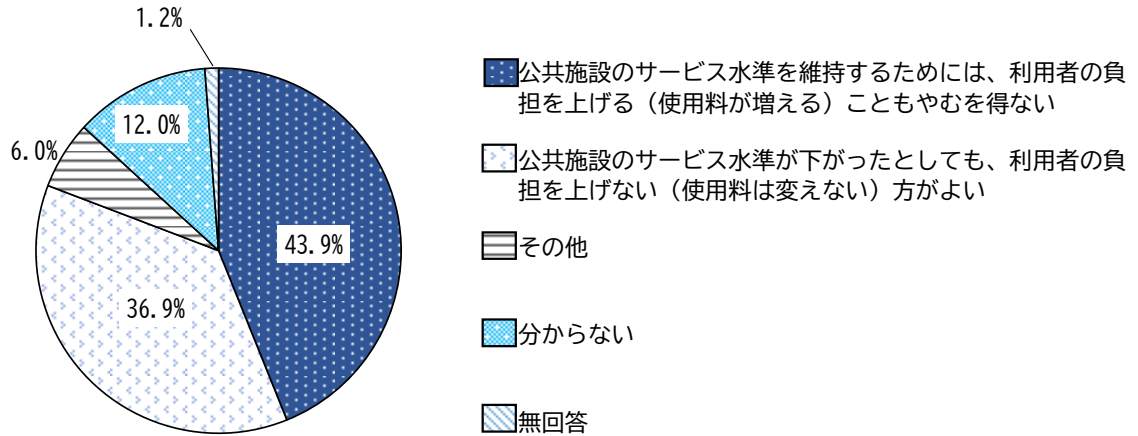
1位

2位

年齢別でみると、16～19歳、20～29歳、70歳以上では「経費が増えても、現状の規模や水準を維持していくべき」が、30～60代では「経費を抑制するため、現状の規模や水準を下げてもやむを得ない」が最も高くなっている。

## 2 調査の結果

【④】 公共施設の使用料とサービス水準について 全体 n=1,377



公共施設の使用料とサービス水準については、「公共施設のサービス水準を維持するためには、利用者の負担を上げる（使用料が増える）こともやむを得ない」の割合が43.9%と最も高くなっており、次いで「公共施設のサービス水準が下がったとしても、利用者の負担は上げない（使用料は変えない）方がよい」（36.9%）、「分からない」（12.0%）、「その他」（6.0%）となっている。

「その他」には、「高サービスは高使用料でよい」、「公共施設の数減らす方がよい」等の意見があった。

【④公共施設の使用料とサービス水準について 年齢別】

		調査数	公共施設のサービス水準を維持するためには、利用者の負担を上げる（使用料が増える）こともやむを得ない	公共施設のサービス水準が下がったとしても、利用者の負担を上げない（使用料は変えない）方がよい	その他	分からない	無回答
全体		1,377	43.9	36.9	6.0	12.0	1.2
年齢別	16～19歳	60	35.0	43.3	-	21.7	-
	20～29歳	85	50.6	32.9	1.2	15.3	-
	30～39歳	194	46.9	39.7	4.1	8.8	0.5
	40～49歳	202	44.1	33.2	10.9	11.9	-
	50～59歳	247	44.5	37.7	6.9	10.1	0.8
	60～69歳	292	42.5	37.0	7.2	12.3	1.0
	70歳以上	293	42.7	36.5	4.8	12.3	3.8

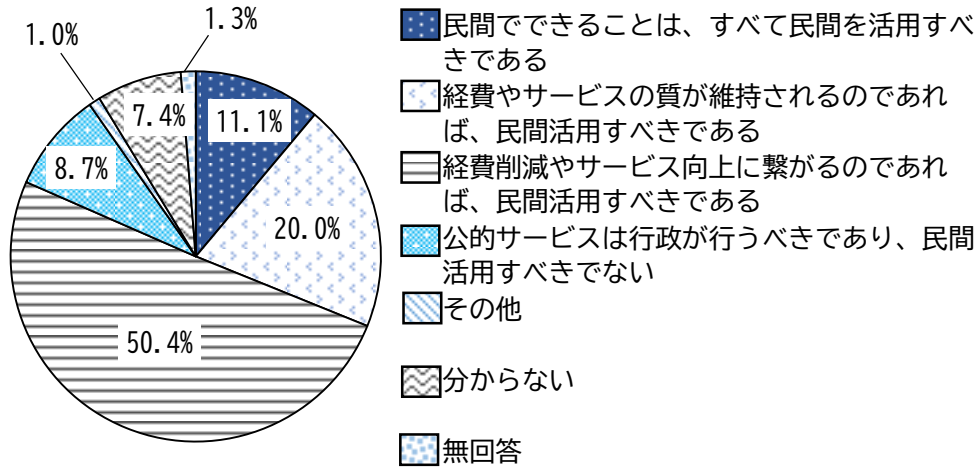
1位	2位
----	----

年齢別でみると、16～19歳では「公共施設のサービス水準が下がったとしても、利用者の負担を上げない（使用料は変えない）方がよい」（43.3%）が、その他の年齢別では「公共施設のサービス水準を維持するためには、利用者の負担を上げる（使用料が増える）こともやむを得ない」が最も高くなっている。

## 2 調査の結果

問11 行政サービスを実施するうえでは、業務の民間委託や地域コミュニティやNPOとの協働など、民間の活力を活用する手法がありますが、次のうち、あなたの考えに近いものはどれですか。(1つだけ○)

【全体 n=1,377】



行政サービスを実施するうえで、自分の考えに近いものについては、「経費削減やサービス向上に繋がるのであれば、民間活用すべきである」の割合が50.4%と最も高く、次いで「経費やサービスの質が維持されるのであれば、民間活用すべきである」(20.0%)、「民間でできることは、すべて民間を活用すべきである」(11.1%)、「公的サービスは行政が行うべきであり、民間活用すべきでない」(8.7%)、「分からない」(7.4%)、「その他」(1.0%)となっている。

その他には、「公的サービスでも、内容に応じて民間活用や行政が行うところを線引きすべきである」等の意見があった。

【年齢別】

	調査数	民間でできることは、すべて民間を活用すべきである	経費やサービスの質が維持されるのであれば、民間活用すべきである	経費削減やサービス向上に繋がるのであれば、民間活用すべきである	公的サービスは行政が行うべきであり、民間活用すべきでない	その他	分からない	無回答	
全体	1,377	11.1	20.0	50.4	8.7	1.0	7.4	1.3	
年齢別	16～19歳	60	11.7	13.3	46.7	3.3	3.3	20.0	1.7
	20～29歳	85	11.8	21.2	49.4	9.4	-	8.2	-
	30～39歳	194	12.9	25.8	47.4	6.2	-	7.2	0.5
	40～49歳	202	12.4	19.3	51.0	6.4	2.0	7.9	1.0
	50～59歳	247	13.0	19.0	54.7	5.3	2.0	6.1	-
	60～69歳	292	11.0	18.2	56.5	7.9	0.7	4.5	1.4
	70歳以上	293	7.5	20.8	43.7	16.4	0.3	8.2	3.1

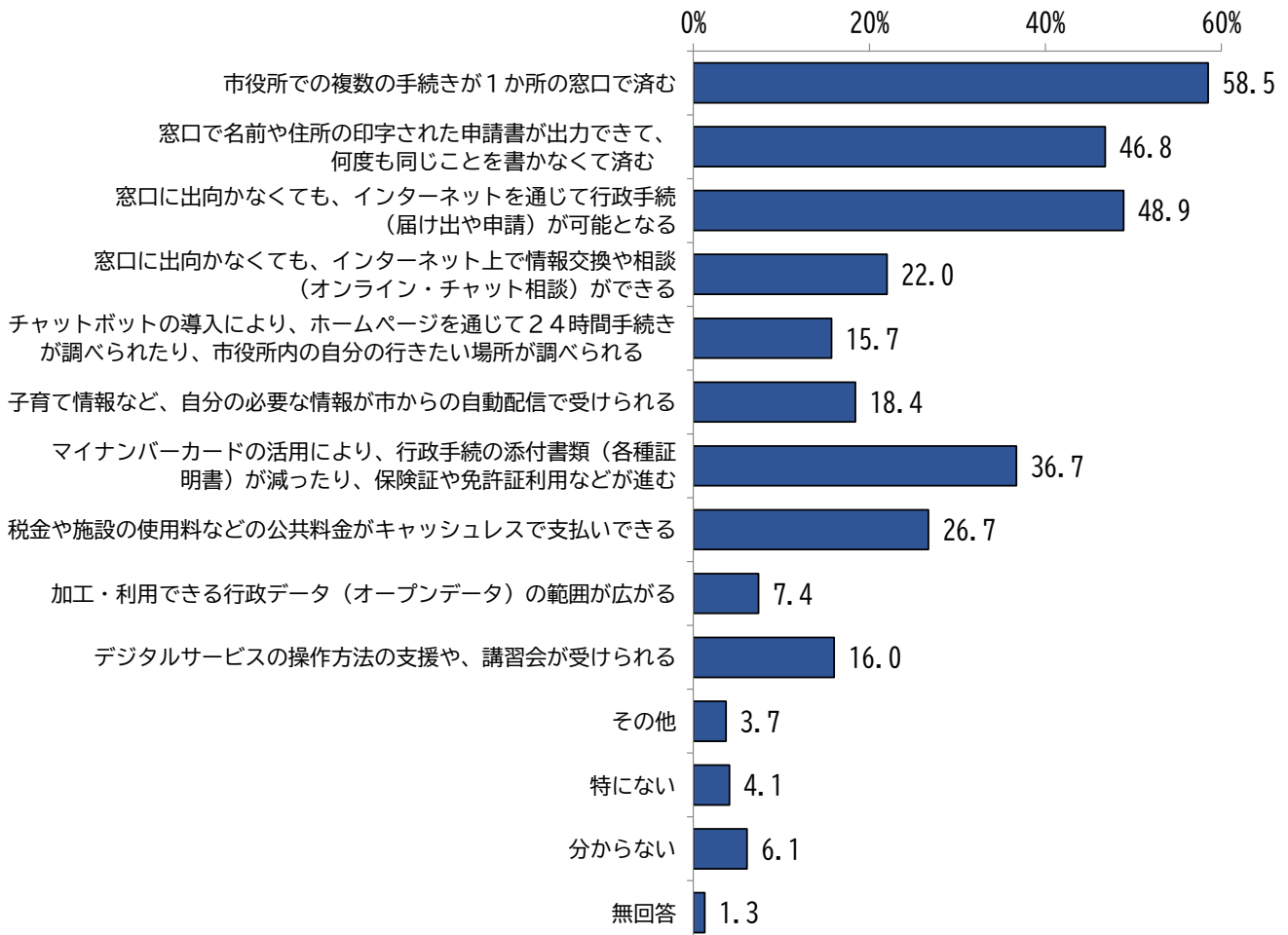
1位 2位

年齢別でみると、いずれも「経費削減やサービス向上に繋がるのであれば、民間活用すべきである」、「経費やサービスの質が維持されるのであれば、民間活用すべきである」に回答が集まっており、70歳以上では「公的サービスは行政が行うべきであり、民間活用すべきでない」(16.4%)が他の年齢別に比べて高くなっている。

## 2 調査の結果

問12 国ではデジタル庁の設置が予定されるなど、社会全体のデジタル化が強く進められようとしています。あなたは、今後行政手続や行政サービスのデジタル化が一層進むことで、サービスがどのように良くなることを期待しますか。(〇はいくつでも)

【全体 n=1,377】



サービスがどのように良くなることを期待するかについては、「市役所での複数の手続きが1か所の窓口で済む」の割合が58.5%と最も高く、次いで「窓口に出向かなくても、インターネットを通じて行政手続(届け出や申請)が可能となる」(48.9%)、「窓口で名前や住所の印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かなくて済む」(46.8%)となっており、上位3項目いずれも半数近い回答割合となっている。

その他の項目は「マイナンバーカードの活用により、行政手続の添付書類(各種証明書)が減ったり、保険証や免許証利用などが進む」(36.7%)、「税金や施設の使用料などの公共料金がキャッシュレスで支払ができる」(26.7%)、「窓口に出向かなくても、インターネット上で情報交換や相談(オンライン・チャット相談)ができる」(22.0%)の順になっている。

「その他」(3.7%)には、「デジタル化に対応できない人の救済が必要」、「デジタル化に伴って、セキュリティの面が重要になってくるので、システムの脆弱性を無くすことが大前提である」等の意見があった。

## 2 調査の結果

### 【年齢別】

	調査数	市役所での複数の手続きが1か所の窓口で済む	窓口で名前や住所の印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かなくて済む	窓口に出向かなくても、インターネットを通じて行政手続（届け出や申請）が可能となる	窓口に出向かなくても、インターネット上で情報交換や相談（オンライン・チャット相談）ができる	チャットボットの導入により、ホームページを通じて24時間手続きが調べられたり、市役所内の自分の行きたい場所が調べられる	子育て情報など、自分の必要な情報が市からの自動配信で受けられる	マイナンバーカードの活用により、行政手続の添付書類（各種証明書）が減ったり、保険証や免許証利用などが進む	
全体	1,377	58.5	46.8	48.9	22.0	15.7	18.4	36.7	
年齢別	16～19歳	60	53.3	46.7	53.3	31.7	16.7	28.3	28.3
	20～29歳	85	58.8	47.1	74.1	22.4	20.0	28.2	44.7
	30～39歳	194	65.5	58.8	63.4	29.9	23.7	29.9	37.6
	40～49歳	202	55.4	46.5	60.9	27.7	17.3	20.8	35.6
	50～59歳	247	64.8	52.2	52.6	26.3	18.2	19.4	37.2
	60～69歳	292	58.9	42.8	43.5	18.2	14.0	13.4	39.4
	70歳以上	293	51.5	38.6	25.6	11.3	7.5	8.9	33.8

税金や施設の使用料などの公共料金がキャッシュレスで支払うことができる	加工・利用できる行政データ（オープンデータ）の範囲が広がる	デジタルサービスの操作方法の支援や、講習会が受けられる	その他	特になし	分からない	無回答
26.7	7.4	16.0	3.7	4.1	6.1	1.3
36.7	15.0	10.0	1.7	1.7	10.0	1.7
37.6	8.2	11.8	1.2	1.2	-	-
37.1	11.3	12.4	2.1	1.0	5.2	-
31.2	5.9	11.4	5.4	4.0	2.5	1.0
33.2	8.1	19.4	2.8	3.2	2.8	-
17.5	6.2	18.8	4.8	6.2	7.9	1.7
15.4	4.8	17.7	4.4	6.1	10.9	3.1

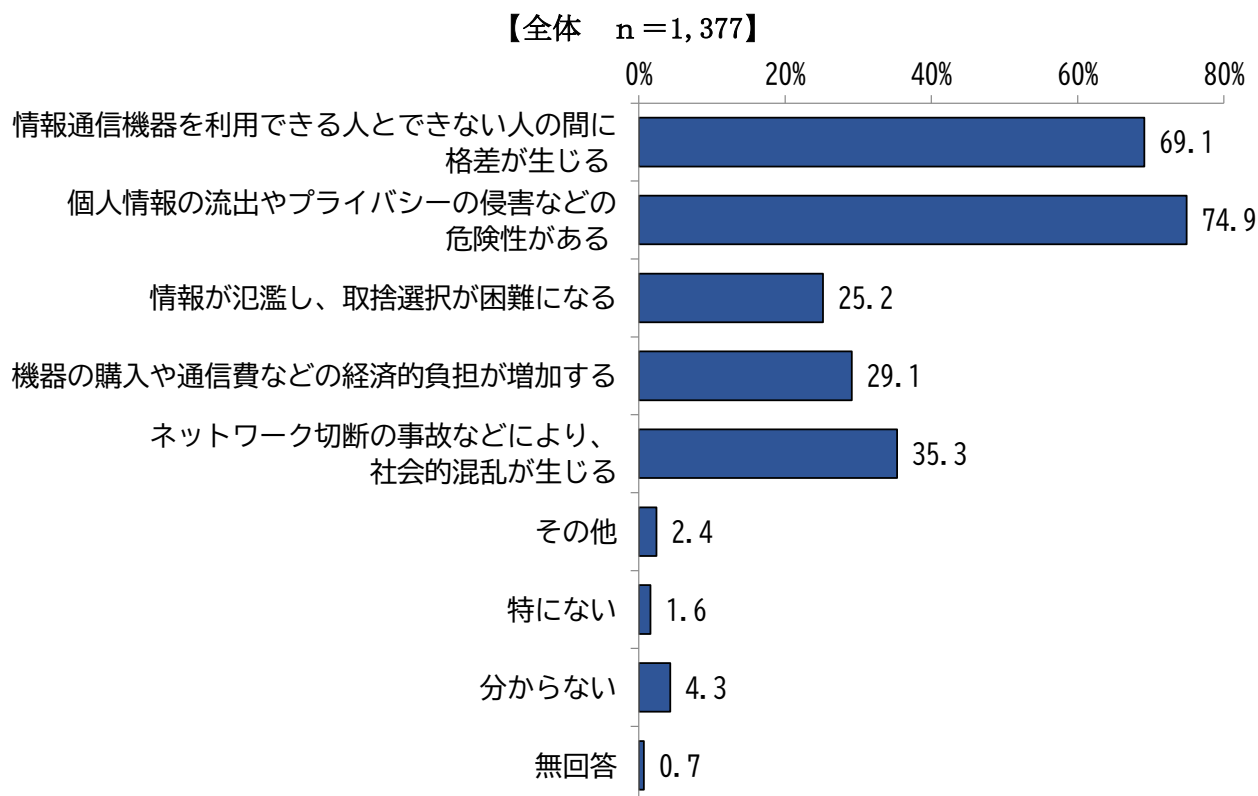
1位

2位

年齢別でみると、いずれも「市役所での複数の手続きが1か所の窓口で済む」、「窓口に出向かなくても、インターネットを通じて行政手続（届け出や申請）が可能となる」に回答が集まっている。また、16～59歳と60歳以上との間では「税金や施設の使用料などの公共料金がキャッシュレスで支払うことができる」の割合に差があり、16～59歳の方が60歳以上に比べて割合が高くなっている。

## 2 調査の結果

問13 あなたは、社会全体のデジタル化が進むことについて、どのようなことに不安を感じますか。(〇はいくつでも)



社会全体のデジタル化が進むことについて、どのようなことに不安を感じるかについては、「個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある」の割合が74.9%と最も高く、次いで「情報通信機器を利用できる人とできない人の間に格差が生じる」(69.1%)、「ネットワーク切断の事故などにより、社会的混乱が生じる」(35.3%)、「機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する」(29.1%)、「情報が氾濫し、取捨選択が困難になる」(25.2%)の順になっている。

「その他」(2.4%)には、「障がい者や使用不慣れな者への配慮がない」、「人と人とのコミュニケーションが無くなる」等の意見があった。



## 2 調査の結果

### 【年齢別】

		調査数	情報通信機器を利用できる人とできない人の間に格差が生じる	個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある	情報が氾濫し、取捨選択が困難になる	機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する	ネットワーク切断の事故などにより、社会的混乱が生じる	その他	特になし	分からない	無回答
全体		1,377	69.1	74.9	25.2	29.1	35.3	2.4	1.6	4.3	0.7
年齢別	16～19歳	60	51.7	71.7	30.0	30.0	33.3	3.3	1.7	6.7	-
	20～29歳	85	62.4	82.4	37.6	24.7	42.4	5.9	-	-	-
	30～39歳	194	59.3	80.9	26.8	25.8	36.1	3.6	2.1	3.1	-
	40～49歳	202	63.4	85.1	24.3	29.7	39.6	1.5	2.0	2.5	0.5
	50～59歳	247	71.3	79.8	27.5	31.6	39.7	0.4	1.6	2.4	-
	60～69歳	292	79.1	74.7	23.6	29.8	35.6	3.4	1.7	1.7	1.0
	70歳以上	293	73.4	59.0	20.1	29.4	26.6	1.7	1.4	11.3	1.7

1位

2位

年齢別でみると、いずれも「個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある」、  
「情報通信機器を利用できる人とできない人の間に格差が生じる」に回答が集まっており、50歳  
以上では「情報通信機器を利用できる人とできない人の間に格差が生じる」が7割を超えてお  
り、若年層に比べてより情報格差が起きる事を不安視していることが読み取れる。

## 2 調査の結果

### (7) 自由意見：行政改革について

問14 行政改革に対するご意見・ご要望がありましたら、下の欄にご自由にお書きください。

デジタル化について 42件

No.	意見内容
1	昔の有線は住民にとっては便利だった。情報を即得されることが必要で、その為にデジタル化を進めるべきではないか。
2	デジタル化が進むメリットもたくさんあると思うが、大事なことが壊れていかないか。古き良き時代。
3	老人だけの生活だとデジタル化に追いつけないのでは。若い人と生活している人に教えて頂けるが、この差をどのように埋めるかが問題。
4	社会全体のデジタル化は今当然の事だと感じているが、高齢者など利用できない人の手厚い対応と、若者のデジタル中心でリアルな人間関係を持たないままのコミュニケーションでのトラブルが起こらぬように、子育て世代の若者にはまず、リアルな人間同士の付き合いを地域の世代間交流を通して、日本人の絆を大切にす体制を保てるように注意が必要であると感じている。
5	どんなにデジタル化が進んでも安易に人員を減らすべきではない。
6	デジタル化は進めるべき。業務の効率化が図れて市民サービスも向上すると思う。利用できない人の相談窓口はしばらく必要だと思う。行政サービスについて民間活用も1つの案として良いが慎重に検討し、公的サービスについて行政が行わなければならない所は行政で行って欲しい。
7	無垢なデジタル化はやめてほしい。結局高齢者がついていけなくなるし、多額の費用を投じて皆が使えないものを国の主導で行うのは税金の無駄遣いだと思う。デジタル化は時間をかけてゆっくりと計画的にやるべきだと思う。子ども世代は自然に馴染んでいくと思う。マイナンバーカードの活用も必要ないと思う。人を大事にする取り組みをお願いしたい。
8	デジタル化して、人件費の削減を図るべき。先日市役所へ行ったがあんなに多数のスタッフが本当に必要なのかと疑問に思う。人件費も立派な税金の使い道だとは思いますが、おしゃべりしている姿を見ると腹立たしく思う。1つの課であんなに沢山いるのは普通の会社ではありえない事。業務効率化を図り、スマートにしていけば人件費削減だって出来ると思う。8時30分から開庁するのに8時25分頃に急いで来ているスタッフを見かけて「えっ」と思った。8時30分から仕事出来るのか疑問に思う。見られている意識が少し薄いのではと言いたくなる。もう少し態度を律してはどうかと思う。
9	一家に一台パソコンやらネット環境がある時代になってきている。デジタル化が進んでいる為、行政にも取り入れてほしい。平日に行く時間が無いので、デジタル化されるととてもありがたい。
10	情報通信機器を作り出すのは人間であり、また、悪用するのも人間である為、不正は無くならないのではないか。
11	インターネット、スマートフォンの使用方法がわからない。
12	デジタル化はありがたいが、操作方法の支援や講習会を開いて年配の人が困らない様に指導してほしい。
13	デジタル化が便利なのはわかるが、家族の中でも理解できないので、現状通りのものを1割くらいは残してほしい。高齢化社会が進むにつれ、無理があると思う。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
14	インターネット等を活用して、行政手続きや証明書の発行をいつでも、行政に行かなくてもできるようにしてほしい。
15	デジタル化を進めるにあたって、専門家を市役所内に置くことが重要であると思う。外注することだけでは、何かあった時の対応は難しいのではと思われる。扱う情報が重要なものであるため、慎重に進めた方が良いのではないか。
16	デジタル化が進行することには反対で、現状維持を希望する。
17	サイバー犯罪に対抗するために、専門の人材を急ぎ育てるべき。
18	デジタル化に伴いスピード感を持って、市民の目線に立ち、丁寧なサービスを行い、安心安全な行政対応を行ってほしい。
19	デジタルの弱点、デメリットを深く理解したうえで、デジタルをうまく利用し恩恵を受けられれば良いが、一番メリットがあるのは国や役所だと思う。アナログの強みを再認識し、デジタル化オンリーにならないよう、改革に関わる方には幅広い知識を持ってほしい。
20	マイナンバーカード等、デジタル化されることによる個人情報の流出やプライバシーの侵害が最大の不安。だが今後デジタル化が進められるのは目に見えている。ならば民間の信頼出来る優秀な人材にも参加してもらって進めてほしい。失礼ながら行政関係の方よりも専門の方（民間）の方が知識が新しく多いであろうイメージがある。必要な所は民間の力を入れていくべきだと思う。
21	デジタル化するとお年寄りには理解しづらいと思うのでかわいそう。
22	デジタル機器は使える人には何でもないが、出来ない人のサポートがどれだけ出来るかが重要である。
23	これから来る高齢化社会の中デジタル化を進める事はお年寄りには困難な事。不安が増強していく。デジタル化に慣れるよう努力しようとは思いますが年齢的に前向きに考えられない。お年寄りにとっては生きにくい世の中になる気がする。色々なお年寄りがあり、出来ない事が増えていくのがお年寄り。お年寄りの身になってお年寄りに優しい行政サービスであってほしい。行政の都合優先はダメ。
24	インターネットで情報を得る事が出来ない高齢者や希望者には書面での情報公開、訪問など援助してほしい。
25	便利にするのは良い事だが、デジタル化にしても高齢者には難しいと思う。若くても苦手な人も一定数いると思う。人にやさしいサービスが特に必要になると思う。
26	デジタル化の推進は大いに賛成だが、高齢者にとってはハードルが高い取り組みかもしれない。
27	デジタル化弱者である高齢者に配慮した改革を望む。
28	デジタル化は不安だと思う。
29	デジタル化、キャッシュレス化等にはついていけないので、できるだけ現状を残してほしい。
30	若い世代は良いが、年寄りは機械が苦手に対応しにくい。
31	デジタル化が進むことについては、必要だと思うが、高齢者が増えていく中で、対応できない者も増えていくように思われる。その人たちのことも踏まえて、何かいい手立てを考案してほしいと思っている。
32	デジタル環境ありきで議論が進まないように。近い将来、公共 Wi-Fi 設置で、どこにいても通信が無料となればよい。
33	I T化に伴い人的削減をすべき。
34	デジタル化の進捗が遅い。
35	デジタル化により無駄な人員、無駄な作業の削減を望む。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
36	デジタル化をどんどん進めて、いらぬものは削減していくべき。削減したから人の採用が減るということではなく、削減することで他にできることもあるかと思う。ベストは、事前に手続きをとってれば、役場では必要書類の受け取りなどのみで、全ての処理が完結すること。
37	若い世代はキャッシュレス化やデジタル化に対応できると思うが、年配の方は難しいと思う。スマホ自体に抵抗があり、ガラケーを使用している年配の方も周りにいる為、年配の方にも優しい改革をお願いしたい。
38	デジタル化するなら、対面することがないため、なりすましが簡単に出来てしまう。本人確認方法を国と連携して指紋ではなく両指全ての静脈データと目の虹彩をマイナンバーと紐づけして本人確認とするぐらいしてほしい。なぜ両指全てかは、事故で指が欠損しても両手がなくなるのはそうそうないから。目の虹彩は両手がなくなった人の本人確認のため。
39	積極的にデジタル化を進めて行くべき。
40	デジタル化をしていく為には大変お金がかかることも存じているが、今後の丸亀市の発展の為にも惜しみなくお金を使い、未来の市民が住みよくなるようにしていただきたい。市役所内にもデジタル関係に明るい職員の方が複数おられると聞いており、専門家の方の力も借りながら、様々な分野をデジタル化の方向に持っていくことは大賛成。その際は決して費用をケチらずに行って欲しい。
41	セキュリティに留意し、自治体共通のシステム化を積極的に推進すべし。
42	パソコンもスマホも操作できず、自宅にネット回線も引いてないような高齢者は沢山いるため、デジタル化を進めたところで、結局は同一サービスが2種類併存することになると思うが、仕方がない気がする。

### 行政運営、サービスについて 31件

No.	意見内容
1	職員の上から目線が気に食わない。
2	色々な手続きをもっと簡単にしてほしい。
3	期待はしていないが、頑張してほしい。まずは市役所の職員さんのタメ口をやめさせてほしい。「うん」はやめて頂きたい。
4	マイナンバーの取得だけでも手間と待ち時間がかかり、市役所でだいぶ待たされる。市役所でのサービスも悪く説明不足で分かりにくくイライラする。市民にもっと分かりやすく説明し、円滑にサービスを提供できないものかと思う。
5	デジタル化が進むのであれば、窓口で何もせず座っている職員を減らし、人件費を減らしてほしい。窓口の見える所で暇そうな人がいていつもイラっとする。
6	昨今の行政に対する信頼感は下がり続けている。現場の皆様のご心労は察してあまりあるが、地道に”公”であるという行動と考えを、どうか持ち続けて頂きたい。その定義に則った上で”行政”を”改革”し、市民のためになるのであれば、応援したいと考えている。
7	他の市町に比べてサービスが悪い。
8	上滑りの言葉による行政改革などいらぬ。市民の声に耳を傾けてほしい。必要な行政サービスが足りていない。判で押したような全国横並びの自治体行政はいらぬ。自ら考えて行動すべき。
9	知恵のある公明正大な人に行政に参加して頂きたい。そういう人を捜すか見つけてほしい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
10	平日に市役所へ行くことが出来ない人の為に夜間や休日でも手続きが出来るようにして頂きたい。
11	不要施設やサービス、事業があるのであれば削減してほしい。
12	行政の効率化はいいと思う。
13	先日、マイナンバーカードを作成した。保険証、印鑑登録カード等全てマイナンバーカードひとつにしてほしい。何枚も持つのは大変である。
14	会社も家庭も行政も基本的には同じで、常に経費を抑えてサービス向上できるように工夫して、努力すること。
15	丸亀市は住みやすい街だと思うが、税務署だったり市役所だったり、手続きも多く、接客も良いと言えない。今回のコロナワクチン等も対応が遅すぎるように思われる。デジタル化＝市民との距離の広がりにつながるのではないかと思う。
16	平成20年に飯山町に転入し、一戸建て住まいになった。当時、下水道接続区域との理由で浄化槽の設置補助金制度を受けられなかったが、未だに下水道が来ていない。不公平であり、行政としてどう考えられているのか知りたい。経費の節約にばかり注力して、住民の本来受けられるべき権利やサービスを軽んじているとしか感じられない。
17	市民の立場に立った職員の意識を大事にしてほしい。
18	歳入の減少に伴い、受けられるサービスの水準が低下することはやむを得ないと思う。どのように行政サービスを展開したとしても不満を持つ層は必ず居るので議会で優先順位を明確にして行政サービスに反映してほしい。
19	民間、公務と考える事がおかしいのではないか。民間でも行政でも人はいる。民間を使う公務員ではなく自らもっと働くべき。公僕という考え方は無なのか。議員の親族や知り合いに委託するばかりではダメではないか。また、委託すると勘違いする人もいるし、それを生活の糧にする人間が出てくる。委託というのは中々難しい、よく考えるべしと思う。
20	公僕として市民に奉仕する気持ちがない職員が多い。若くてもしっかりしている職員がいる。丸亀市民の為に一生懸命働いていて能力がある者が出世できるようにしてほしい。
21	住民票などの書類を取る際にお金を取る必要はない（紙代のみ）。
22	住民票などの書類を夜間窓口で受け取れるのは、仕事を昼間にしている者としてはありがたい。
23	この先の丸亀市は大丈夫か？まずそこが心配である。
24	行政サービスがアナログすぎる。初期投資等は必要になるが、デジタル化等の業務の見直しで人員削減にもなり、サービスの低下も防げるのではないか。行政サービス等を問うのであればまずは市職員の意識改革。サービス業と思って仕事をしているのか。館内で市民にあいさつすらできない。説明不足。窓口ですぐに出て来ない。対応を見直すべきではないか。このような内容でのアンケートでは民間企業では倒産するレベルである。常に向上を目的に行政改革、行政サービスを考えてもらいたい。それができると期待して丸亀市民になった。
25	土日祝日等フルタイムで行政サービスの窓口を用意してほしい。
26	マイナンバーカードの活用もどれほど活用できるのか。中途半端に終わらせないでほしい。
27	印鑑廃止について、行政と民間で進み具合に差を感じる。
28	行政改革の前に、役員・公務員等の整備が必要。民間ではありえない人員数、業務対応のスピードの遅さ、賃金高、緊張感のなさ。無駄にしか思えない。業務上必要な人材以外が多すぎると、役所へ行く度に思う。
29	働く人が利用できる時間がない。休みを取らなければいけないのが負担。子どもの事で休むことが多いので。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
30	市役所の窓口が空いている時間が短い。一般労働者の勤務時間よりも短い時間しか開いていないため、何かの手続きの時に非常に不便。毎週でなくても、土日に手続きができるように対応をお願いしたい。
31	あんなに市役所に人員が必要なのか。

### 財政運営について 14件

No.	意見内容
1	経費のスリム化。
2	地方自治について限りなくゼロにするべき。税の無駄遣いでしかない。
3	経費を私物化しないしてほしい（新市長）。削減できるところは削減し、無駄遣いをしないでほしい。公約を守れないのであれば公約にかかげないでほしい。見通しは甘くないと言っていたが、甘すぎではないか。それでも議員をしていたのかと思ってしまう。NHKの街頭インタビューで、女性が「次の選挙は～」と言っていたが、本当にその通りだと思う。
4	税金は競艇から出したら良いのではないかと思う。
5	税金を上げるのではなく、経費を抑えるなどして無駄を省き、税金を下げしてほしい。ただ、サービスは維持。
6	税収の減少を前提に考えているが、本当に税金が上がらないのか不安。
7	市民の声も聞いてほしい。税金の使い方を検討してほしい。毎年税金が上がって生活が苦しい。
8	税金を出来るだけ少なくなるような行政改革をしてもらいたい。
9	窓口での手続きを簡単に。将来に借金を残さない為に市の財政を無駄に使わない（今回言われている10万円公約は白紙にして子ども達の為に残してほしい）。長期的に考えてほしい。
10	市民が一生懸命働いて納めた税金を無駄使いせず、よく考えて使っていただきたい。
11	借金を返済してより良い行政改革ではないか。
12	支出において無駄をなくす、年配だけでなく若者の意見も聞く。
13	税金が上がってもインフラは拡充するべきだと思う。その結果で人口が増えれば税収も増えていくはず。
14	市職員数、市議員定員数の低減を図り、財政支出の圧縮努力をした現状のバランスシートを市民に公表して、必要な投資の説明等をして理解を得る努力を続けてほしい。

### 暮らしを支える福祉の充実について 12件

No.	意見内容
1	子どもの病児保育の充実を図るべき。
2	丸亀市の未来を担う子ども達への福祉の充実を望む。
3	介護保険制度や介護サービスの充実。行政の市民参画。
4	福祉をもっと良くしてほしい。
5	高齢社会にならないように、魅力のある、若者が安心して住める丸亀市にしてほしい。
6	高齢者の福祉サービスについては利用者負担を大幅に引き下げる必要がある（将来世代の負担が限界に達している）。
7	丸亀は税金を各所で使っているのが構わないが、子育て支援（出産で子どもの面倒を見れない等）サービスの強化と、給付金をよろしくお取り計らいいただきたい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
8	子育てしやすい環境をもっと整えるべき。子どもが生まれたらお金を渡すとか、何歳までは補助するとか、外国で行っていることを取り入れるべきだと思う。それで丸亀市で暮らす人を増やせば、自然体のお金が増え、行政も進めやすくなると思う。お金のことを気にしすぎて何もできないよりは、行政改革を進めてもらう方がありがたい。
9	若い人と高齢者にやさしい行政を作ることが大切だと思う。若い人が子どもを育てやすい町づくりと、高齢者は健康寿命を伸ばし、70歳を超えても働き続けることができる町づくりを期待する。
10	島である為、病院、店、何もない。船で丸亀市へ行っているが、交通費が大変。
11	子育て世帯にお金が欲しい。
12	将来を担う子ども世代に焦点を当てた取り組みを求めている。

### 市議会について 11件

No.	意見内容
1	市議会議員を削減、半分以下に。信頼できない、不安である。
2	議会等の構成人員の若返りと女性増加を希望。ぱっと見で「おじいさんばかり」という印象を与えるような構成から改善されることを望む。
3	市議の削減、市職員の削減から始めてほしい。民間企業の半分程度の努力はしてほしい。
4	各コミュニティーセンター等で市長、議員さんらと地元の意見を聞き行政改革を進めて頂きたい。3か月に1回程度で良い。20数人の議員さんがいるので十分にやれると思われる。市民ファーストで進めて行って頂きたい。
5	議会と市役所職員とがうまく連携し、お互いチェックし合ってやるべきこと、やらなくていいことの仕訳をしていけば「行政改革」につながる。「行政改革」が始めにありきではない。
6	議員定数を削減して頂きたい。多過ぎる。選挙期間中の自宅への訪問をやめた方が良いと思う。
7	市議会議員が多い（仕事も出来ずかっこつけが多い）。
8	市議の働きが伝わってこない。本当に市の為にしっかりと働いているならばそれを伝える努力をした方が良いと思う。
9	市職員の人数の見直しが必要だと思う。1人1人が100%の仕事量をこなしているようには見えない。無駄を排除する事を考えて全ての業務にあたる必要がある。市役所で見ていると、職員の動きにも無駄や遅さが多く見られる。
10	議員の会議への出席率等、以前は議会報等でよく分かったので良かった。
11	市議会議員の人数および報酬の削減を検討してほしい。現状の人数が必要と思えないし報酬も高すぎる。税金の無駄遣いかと思う。

### 市民参画について 10件

No.	意見内容
1	効率とコミュニケーション（市民と市役所業務の人間関係）。
2	住民に見える形での行政改革の推進をお願いしたい。住民抜きの内部だけでの推進はやめてもらいたい。
3	もう少し丸亀市民の声に耳を傾けるべきである。また、耳を傾けたなら市民全員にマイナス面でも公開すべきである（ニュース、タブレット、スマホなど）。
4	市民のことを考える。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
5	住みやすいまちと評判の丸亀市を他の自治体の成功事例を参考に、市民の声を反映して頂くよう努め、更なる市の発展、改革を期待している。
6	行政と関わることが殆どない為、分からないことばかり。普通の一般市民も行政について興味を持てるよう、市民の参加が必要である。
7	地域住民や民間企業、団体の意見を取り入れ、改革に取り組むべき。専門的な企画運営会社やリサーチ会社に任せっぱなしにせず、足で稼いだ本当の地域の声を反映するべきと考える。もう少し地元の意見の収集を。効果の少ない改革や自治体や他行政のまねでは地域は良くならないと思われる。丸亀市の独自性を生かしてほしい。
8	市民を第一に考えて頂きたい。
9	改革するのは良いが、市民が第一である。市役所内が第一ではない。
10	部署間のセクショナリズムをなくして、住民ファーストの行政を行う。

### コロナ対策について 9件

No.	意見内容
1	コロナワクチン接種は早くて良かった。現金給付は財源が必要である為しなくてよい。その分を福祉に充てるべきである。
2	「コロナ問題」。医療、保健所、役所の脆弱性が見えた。国民の安全を第一に、行うことを棚卸し、対策をまとめ取り組むべき。
3	コロナで大変なことが多い中、官民ともに我慢している。このような危機に備えた対策を基本に改善していくと良いと思う。丸亀のものは丸亀で作る。他県、他市の見本になるような条例を作る。
4	現金を配るより、医者に協力謝礼金でも払って、コロナのワクチンをかかりつけ医で受けられるようにしてほしい。その方がよほど町の安心、経済を守ることになる。
5	コロナ対策、ワクチン接種の市民全員の接種を早く対応してほしい。
6	コロナ対策にしても、何をしているのか分からない。市長が言っていることが見えない。
7	ワクチン接種が遅すぎる。公約違反の市長は辞めるか無報酬で働くべき。又は、市民会館建設の中止。
8	コロナの影響は来年3月～4月までは続く。中小企業はそれまで息が続くかどうか懸念されている。全てを救う手だては無いが、丸亀市として必要とされる業種や関係企業の援助は必要かもしれない。コロナ禍をしのぐ為の施策（短期的対策）の早期実施と回復後を見据えた長期構想をしっかりと両立させるべき。
9	コロナ禍で収入の減少も見られる。より良い、住み良い丸亀市にしてほしい。60歳、65歳以上の高齢者、30代、40代子育て世代が働きやすい市にしてほしい。

### 情報の発信について 7件

No.	意見内容
1	行政サービスを多くの人が利用出来るよう、広報活動をもっとすすめてほしい（サービスについて知らない）。
2	とにかく情報の開示を。
3	横文字が分からない為、年寄りにもよく理解できるようにお願いしたい。
4	分かりやすい情報発信をしてほしい。工夫が必要では？
5	これからの市政がどうなっていくのか、市長が変わったことで不安を感じている。情報の発信をどんどんしていただき、一日も早く安心させてほしい。



## 2 調査の結果

No.	意見内容
6	もっと活動内容や活動結果を目に見える状態にしてもらわないと、何が変わったのか、変化したのか分かりづらい為、もっと目に見えての変化が分かるように報告して頂けるとありがたい。
7	広報を配布しても皆が目を通すわけではない。もう少し身近に感じる取り組みはないか。

### 市内の施設について 4件

No.	意見内容
1	丸亀駅と商店街の活性化をせっかく美術館や瀬戸芸等あるのもっとそっち方面に思いきり振り切れれば良いと思われる。
2	田舎はのどかでとても良い。その為、田の埋め立て等をやめてほしい。商店街の活性化を願っている。なぜなら、駅でおいて丸亀城まで歩いていくが、ぶらぶらするところがなく、丸亀の滞在時間が少なく、ビジターの消費金額も少ないと思われる。やはり丸亀でお金を使ってほしい。
3	新市役所とマルタス、美しく魅力的に見えワクワクします。使いやすく考え抜かれていると感心します。一方マルタス、至れり尽くせりと不安になります。どこまでいつまでこのレベルのサービスを利用出来るのか。とっても胸躍る施設ではある。今っぽくてうれしい。まったりできる。中央図書館の母子、幼児向けの利用面の弱かったところを素敵に見事に補っている。新しい。サービスの維持と財源面とのバランスは？いつまでもこんなすてきな場所が丸亀のど真ん中にタダで使い放題、嬉しくはあるが（出来たら続けて欲しい）。新市長さんの5万円支給はいらないので、マルタスのサービス向上維持にまわして頂きたい。
4	善通寺市の市民の集いの丘公園のようなハイセンスでパーキングの多い施設は良いと思う。

### 雇用の安定について 3件

No.	意見内容
1	医療や福祉、教育など現場でのサービス充実が図られる一方でそこで働く人も雇用の安定を考えてほしい。人員不足で働き続けにくい場所も多い。行政改革をする上で改革場の声を必ず聞いて頂きたい。
2	どこの市も同じかもしれないが、市役所に非正規職員が多いように思われる（よくパートの求人が出ている為）。
3	働ける、働く事を希望する高齢者の機会を提供すべきと考える。現在のシルバー人材センターの有様は不十分であり、大きく改善すべき。

### アンケート調査について 3件

No.	意見内容
1	アンケートの所要時間は15分程度とあるが、あまりにも軽々すぎる。
2	このアンケートの回答を通して、私自身が行政について考えるきっかけとなった。普段思っている事を行政へ発信したり、行政の一部民間委託への参加を市民に促したり等、興味・関心の持てる場をより多く作って頂きたい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
3	アンケートをしてみて分かったが、行政についての知識が少ない自分を今後どうするべきか考えた。何かしてほしいことがあってもどこに言ったらいいか分からないし、どうお願いしたら良いかも分からないことがある。アンケート以外にも市民が気軽に意見を伝えられる手段を考えて欲しい。もしあるのであればそれがどのようなことなのか市民に分かりやすい明示方法を考えてほしい。以前高齢の方が困りごとがあったようで「市に相談してみたら？」と伝えたら「市に言ってもな…」と言われた。その時の問題が市で対処してくれる問題だったのか分からないが、市の方に相談するのは気が引けるようだった。誰もが意見を言いやすい環境になれば良いと思う。行政についてのアンケートも必要だと思うが、コロナで困っている方々が沢山増えている様に思われる。そういう方へのアンケートみたいなことがあれば良いのにも思う。

### 道路環境の整備について 3件

No.	意見内容
1	無駄に道路に穴を開けないでほしい。新築の家に住み始めて2年弱経つが警察の地図に載っていないのはどうしたものか。何かあった時に助けに来れるのか。
2	国道の早期整備（工事中の道路）、学校通学路の歩道の整備が遅れている。安心して通学できるようにしてほしい。旧綾歌郡の発展が丸亀市全体より悪い。大企業、大きな病院、複合施設等を積極的に誘致してもらいたい。
3	市の形状から見て南北を結ぶ県道の未整備には閉口する。特に県道 204 号は主要通学路になっているにも関わらず、半世紀以上にわたって蛇腹に蛙の状態で大変危険極まりない。安全に通行出来る道路にするべきだ。

### 公共交通の充実について 3件

No.	意見内容
1	バスが不便。今の大きさより小さくて良いので、バスの台数を増やしてほしい。高齢者が買い物や通院に使いやすく。子どもが通学や習い事等に使いやすく。そういうケースでの割引とか、シールを集めるとか、乗る人を増やす工夫が必要。
2	高齢者の交通の不便、市営バス手を上げたら停まってほしい。
3	車を持たない年寄りになってからも暮らせる街を作してほしい。JR のエレベーター全駅設置。

### 民間委託について 3件

No.	意見内容
1	業務の民間委託については行政が行うべきものは行政が行い、民間委託し経費削減やサービスの質などが維持できるものは民間が行うなど先を見据えて選択してほしい。何でもかんでも民間委託することはやめてほしい。
2	何の業務でも民間委託はせずに、市の職員がすべきである。
3	民間との協同により、効率化を図る必要があると思われる。

### その他 54件

No.	意見内容
1	情報が洩れなければ良いが不安である。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
2	丸亀市に来て数年、古き良き日本的な所が暮らしやすい反面、ごみや交通ルール等マナー違反が多く、また、子ども達の通学路のすぐ真横を車がものすごいスピードで通っていくのをいつもヒヤヒヤして見ている。交通課の取り締まりは見たことがない。根気がいると思うが、ルールを厳格化することも必要ではないか。
3	野焼きが多すぎて窓が開けられない。燃やす曜日など、時間帯の予告など市が決めてほしい。
4	市長の公約 10 万円は納得できない。それが 5 万円になったことではなく、お金をばらまくことを約束して選挙に勝ったことが支持できない。ボートレースの留保金、丸亀市の基金を何故出さなければならないのか。現金給付はあり得ない。市の税金から出すなら、丸亀市内でしか使えないようにするなど、地元にとす工夫をしなればいけない。
5	アイファミリークリニックの実態が不明。患者が殆どいないのに、従業員の人数が多すぎる。地区で噂になっている。常時 30 台以上の車が駐車されているが、患者は殆どいない。税金が使われているのだから、調査するべきだと思う。川西町の市役所の職員の方も、不思議に思っているようだ。
6	審議会やその他の見分で現状実態を把握した上で申し出る。
7	5 万円配ると言っているけれども、正直その財源も厳しいのでは？と思う。公約に 10 万円の時も「えっ!？」と思ったし。1 万円くらい配ってあれば良いのでは。
8	給付金 10 万円から 5 万円は明らかに公約違反。公約違反ではないというのなら松永市長の政治家としてのモラルを疑う。また、長年議員を務めてきて、10 万円×11 万人の額を捻出できるかどうかの判断を誤ったことは政治家としての能力を疑う。これからの市の財政を任せられるか疑問。着任直後に市民の信頼を裏切った事は自覚してほしい。今後は外国籍世帯の教育、就労支援にしっかり取り組んでほしい。外国語だから教育の義務の対象外になっているようだが、丸亀市民であることには変わらない。このままでは義務教育程度の教育、知識を身につけられていない市民の割合が増えていく。生活保護対象者も増加し、丸亀市の経済、治安の悪化が予想される。外国語の子ども達への教育、就労をサポートしてほしい。全ての子ども達が高校進学、卒業、大学進学を 20、30 年後の為に当たり前にしてほしい。
9	新市長は大丈夫か。選挙公約で 10 万円配ると言っておきながら 1 か月も経たないうちに 5 万円に減額。選挙前から一般市民の自分から見ても 10 万円なんか無理なのは分かっていたのにそんな市の状況を分かっていない人が市長で大丈夫か。大好きな丸亀市を壊さないでほしい。行政改革以前に市長を改革していただきたい。
10	市長が嘘をついて当選した上に開き直っているようでは期待出来ないと思う。評価は他人がするものである。男なら自分が吐いた唾飲むような真似するな。
11	ソフト施策については、少子高齢化の進展により、ますます若年世代の負担は増え、高齢者への手厚い対応等が期待できない中、一層の歳入確保と歳出の取捨選択は避けられない。現代の流れの中、オンラインによる OSS、デジタル庁の創設、その他のデジタル化の進展は、地域の高齢者を置き去りにしているとしか思えない。全ての世代において、納得いく施策を目指す行政改革であってほしいと切に望んでいる。防災対策を除き、ハード施策については、最低限の更新のみに限定すべきと思われる。もう十分ではないか？
12	決まったことはきちんと守る。本当にそれが必要なことだったら、市民として協力は惜しまない。しかし、その説明が不十分であったり、無駄なことを延々と続けたりすることはすぐにやめて、徹底的に無駄を排除して頂きたい。基になっているのは税金。血税である。
13	市民 1 人あたり 5 万円の支給には疑問を感じる。もっと使い道を考えてほしい。
14	年を重ねることで合併前の方が良かった。
15	10 万円は頂きたい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
16	市長は公約を守る。
17	市長選挙で現市長が「10万円を支給する」と公言したのにもかかわらず、今では「5万円にしても公約違反にはならない」と言い出したことに対して。ただの票集めの為に嘘の公言をしたのなら、子どもに悪影響を与えてしまう。現在の家庭支援では、子育ても普段の生活もままならない。最初に子ども支援をする為、生活が困らないようにするためと言ったのだから、今更言っていたことを変えずに、10万円の支援をするべきだ。金銭、生活の格差を増やし、低収入家庭に負担を増やし、何がしたいのだろうか。
18	借金することを平気な役所員が多いように思われる。民間会社なら経費節約、カットなど努力する。役所関係者も改善すべき。
19	市長選の公約違反、辞任すべき。交付は無くても良いが、選挙公約を守らない事例が今後続出する。
20	市民会館を早急に建てていただきたい。あまりにも体育に偏りすぎ。
21	マイナンバー等の安心がまだ出来ていない。
22	市役所裏の自転車置き場を拡げて欲しい。停める所が狭くて停めにくい。
23	身近に常に伝える場、手段があれば。対応は迅速に。
24	図書館等の公共施設の祝日休館をやめること。(開館時間も早める事) 窓口等の対応は非常に良いと思う。
25	公約だけで当選したような市長。1か月経つか経たないかの内に公約変更するような市長は辞任すべきでは？自分の言動に責任を持つ人に市長になって欲しい。
26	ハード事業からソフト事業へ重点を移す。公営ギャンブルの廃止。
27	剛田の立派な公衆トイレが解体され空き地になっている。なぜ解体したのか問い合わせしたが、何の理由も知らされない。市と市民の財産であるトイレをこんなに簡単に壊して後の処理もされない。市の行政感覚を疑う。
28	「住みたいと思える町」を作ることが大切だと思う。現状土着の老人やその家族、また子どもだけ作ってろくに教育もしていない人々ばかりが優遇されさらに県知事がろくな対応もせずしょうもない条例ばかり作る。市長が出来もしない事を出来ると大ぼらを吹いて「やはり無理です」と逃げる等の条件ばかり揃った所に誰が住みたい、住んでいても尽くしていきたいと思うだろうか。まずはそこから何とかして頂きたい。
29	コロナ禍で日本全体が経済的にも大きな打撃を受けている状況。丸亀市も例外ではないわけで、選挙の為にバラまき(1人10万円など)のようなことではなく、限られた予算の優先順位をしっかりと吟味して使ってほしい。少子化がすすむ現状で、次世代をしっかりと安全に育てていくことの重要性を強く感じる。
30	私事だが、昨年米寿のお祝い2万円いただき感謝を申し上げたい。
31	新市長殿、金で市民の面を撲る大言壮語。挙句の果て、詭弁を弄する。公約とはなんぞや。政治とはこんなものか。市立小学校での慶事に壇上からの御発言はお控えいただきたい、と知人の弁。舌先三寸の話は聞きたくない。
32	社会でお仕事をしている方、実践的な知識のある方、公平な目で行政を見てもらい参考にしてみてもどうか。足りない所、偏っている所が分かるのではないかと。松永市長の手腕に期待している。
33	将来に遺恨を残さない。10万円公約。もう残しているのではないかと。新しい市長には多くを望まない。
34	改革の前に、公約の有言実行。
35	ばら撒き公約の市長に不安を感じる。
38	必要なものには経費が掛かっても仕方ないのでは。ネット環境など。無駄なものはなくしていく。丸亀市在住であることに誇りをもって、豊かに暮らしていきたい。

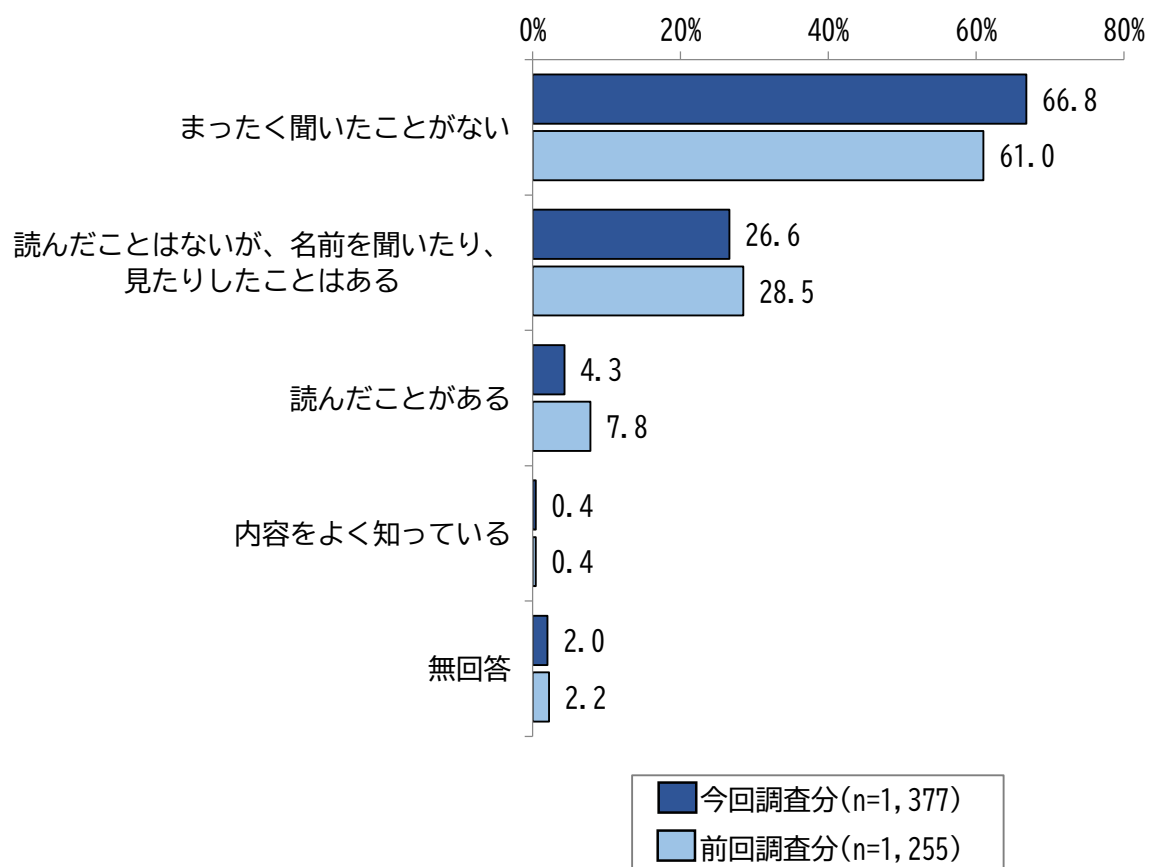
## 2 調査の結果

No.	意見内容
36	選挙公約や市民の賛意を左右する前、今回の様な公約は検討すべき。公共工事に対する完成検査の徹底を図り、工事の手抜きは行政でも取り締まるべきだと思う。災害について市内の主要地点に標高の表示をすることで、災害に対する関心は高くなると思われる。
37	選挙権は持っていないが、松永市長が10万円配布できないのは目に見えていた。公約を安易なものだと考えている市長はいらない。即りコールして前の市長に戻るようにしてほしい。公約違反。
39	市民へ一律10万円の支給はやめた方が良く思う。そのお金を施設の改善費に充てたり、若者が行政に関心を持ち、参加できるように大切にに使っていただきたい。
40	市長選の公約は守るべき。支援を受けられる人以外でも、収入が減って困っている人はたくさんおり、どれだけ期待していたか。裏切られたと思う人は多いはず。このアンケートにも協力したくない。
41	市役所の職員(アルバイトを含む)数の適正化について伺いたい。各市議会議員の方向性が選挙の公約と違っている。市長の選挙公約は、市民を欺くものであり、市民に対し説明すべきである。市政の効率化が外から見ても悪いので、それを正すべきである。以上の要望に対し、広報等を通じて説明していただきたい。
42	固定資産税など税金の支払い方法、口座振替にすると納税証明書に支払い済みのスタンプを押してもらえない。現金で支払いをすると支払い済みのスタンプを押している。支払った証明が必要な時、現金で支払いをすると納税通知書兼領収書に徴収日付印が押してある為それを使う事が出来るが、口座振替をすると納税通知書兼領収書に徴収日付印が無い為、納税証明書を購入する事になる。口座振替をしても支払いをしたことが分かるように徴収日付印を押してもらえないように出来ないか。
43	改革の前に市長を何とかしてほしい。
44	お役所意識を変える、民間企業では如何に業績を上げるか企業努力しているが、市役所職員の意識はどうか。
45	透明性が重要。
46	無駄な公共事業を見直す、止める。
47	行政を改革すると言っても、現在の市長の下では結局のところ計画倒れになると考える。市民に耳当たりの良いことを言って支持を集めたとしても、最終的にはなし崩し的に履行されないと、先日の選挙公約破りで分かった。よってこのようなアンケートもただのパフォーマンスだと思えない。貴重な市民の時間を割き、本アンケートにかかわる貴重な税金を使うことに非常に憤りを覚える。
48	市政をよく知る議員経験があるものが、公約したことを議会に諮る前に変更することは、行政改革？
49	選択肢の内容に一般企業が行うような改善・経営努力的視点の選択肢がなく、改革する気があるのかどうか疑問に感じる。
50	まずは公務員の人員削減をすべく、業務改善をされるべきと、大半の一般民間は感じているのでは？
51	いいアイデアがあれば少しやってみる、そして、その結果を見て考え、更に良くしていく。
52	税金でお金をもらって仕事をしているわけだから責任を持ってしっかり仕事してほしい。知識や経験は大事だと思うのであまり異動はせず一箇所で長く同じ仕事を極めてほしい。
53	公的サービス、人員の削減は巡り巡って社会全体の弱体化に繋がるものだと学んだ20年間だった。公を起点に健全で力のある社会にしていってほしいと願う。
54	市長も変わり、10万円支給を公約として当選された。新型コロナウイルスで打撃を受けた経済を回すためにも、10万円を支給してから、改革の話をしてほしい。5万円は公約違反である。前市長と僅差で当選した責任を果たしてほしい。

## (8) 自治基本条例について

問15 「丸亀市自治基本条例」を知っていますか。(1つだけ○)

【前回調査（平成28年実施）との比較】



「丸亀市自治基本条例」の認知度については、「まったく聞いたことがない」の割合が66.8%と最も高く、次いで「読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある」(26.6%)、「読んだことがある」(4.3%)、「内容をよく知っている」(0.4%)となっている。

前回調査に比べ、「まったく聞いたことがない」の割合は5.8ポイント増加している。

## 2 調査の結果

### 【年齢別】

		調査数	内容をよく知っている	読んだことがある	読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある	まったく聞いたことがない	無回答
全体		1,377	0.4	4.3	26.6	66.8	2.0
年齢別	16～19歳	60	-	6.7	11.7	81.7	-
	20～29歳	85	-	5.9	16.5	77.6	-
	30～39歳	194	1.0	3.6	22.2	73.2	-
	40～49歳	202	-	3.0	26.2	70.3	0.5
	50～59歳	247	0.8	4.5	27.5	64.4	2.8
	60～69歳	292	-	4.1	29.1	64.7	2.1
	70歳以上	293	0.3	4.8	32.4	58.0	4.4

1位

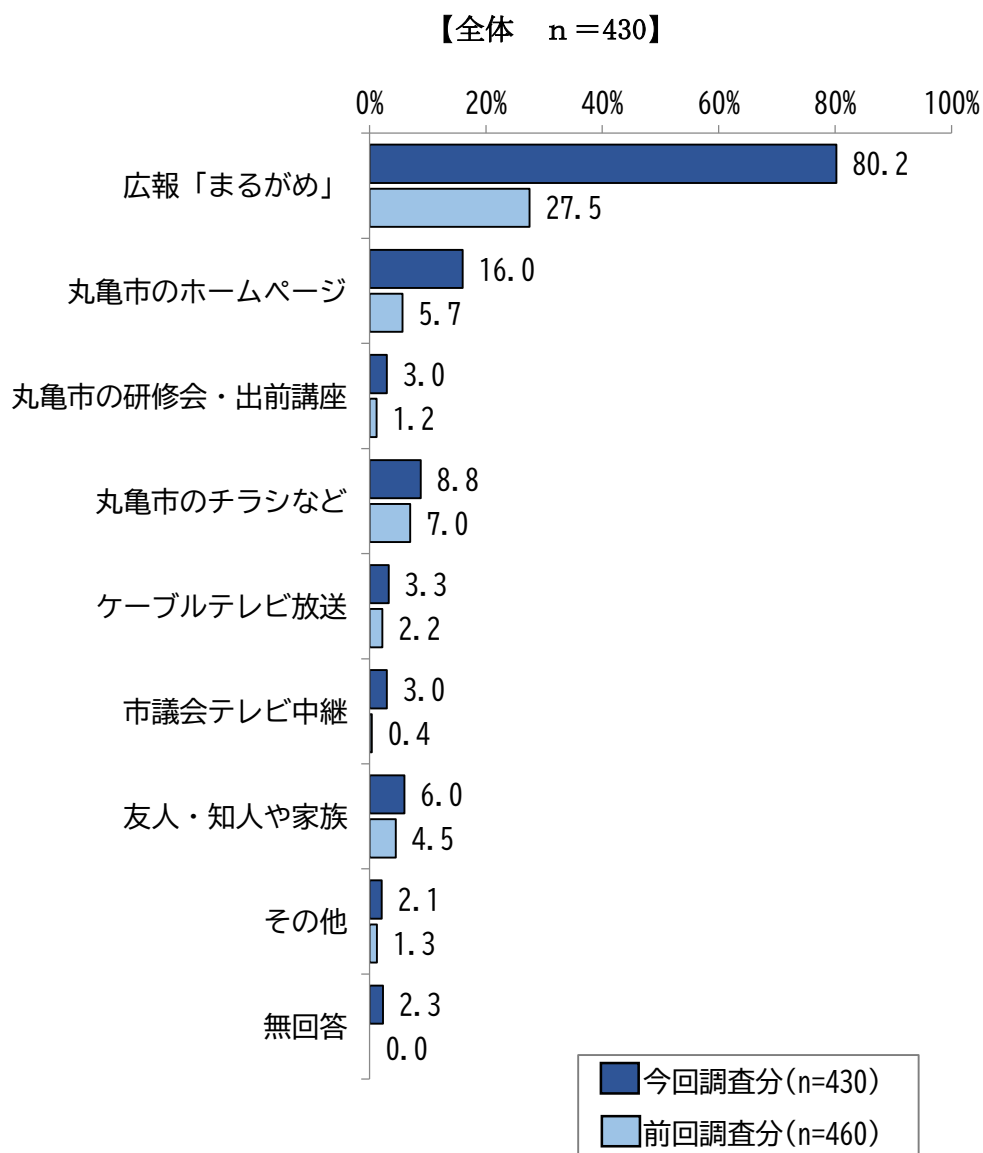
2位

年齢別でみると、年齢が低いほど「まったく聞いたことがない」の割合は高くなっているが、いずれの年代でも半数以上となっており、「読んだことがある」の割合はいずれも1割未満という結果になっている。「読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある」は年齢が高くなるにつれて回答率が高くなっている。

## 2 調査の結果

問15で1～3と回答した方におたずねします。

問16 「丸亀市自治基本条例」を何で知りましたか。(〇はいくつでも)



「丸亀市自治基本条例」を知るきっかけとなった媒体については、「広報まるがめ」の割合が80.2%と最も高く、次いで「丸亀市のホームページ」(16.0%)、「丸亀市のチラシなど」(8.8%)、「友人・知人や家族」(6.0%)の順になっている。

その他には、「順番で自治会長の役がまわってきた時」等の意見があった。

前回調査に比べ、「広報まるがめ」の割合は52.7ポイントと大幅に増加し、「丸亀市のホームページ」も10.3ポイント増加している。



## 2 調査の結果

### 【年齢別】

	調査数	広報「まるがめ」	丸亀市のホームページ	丸亀市の研修会・出前講座	丸亀市のチラシなど	ケーブルテレビ放送	市議会テレビ中継	友人・知人や家族	その他	無回答
全体	430	80.2	16.0	3.0	8.8	3.3	3.0	6.0	2.1	2.3
年齢別	16～19歳	11	72.7	9.1	-	9.1	-	18.2	9.1	-
	20～29歳	19	52.6	26.3	10.5	5.3	5.3	-	15.8	5.3
	30～39歳	52	86.5	15.4	1.9	7.7	3.8	1.9	3.8	-
	40～49歳	59	81.4	13.6	1.7	5.1	5.1	1.7	5.1	1.7
	50～59歳	81	80.2	17.3	2.5	7.4	1.2	1.2	1.2	2.5
	60～69歳	97	84.5	24.7	3.1	10.3	3.1	6.2	4.1	2.1
	70歳以上	110	78.2	8.2	3.6	10.9	3.6	3.6	10.0	1.8

1位

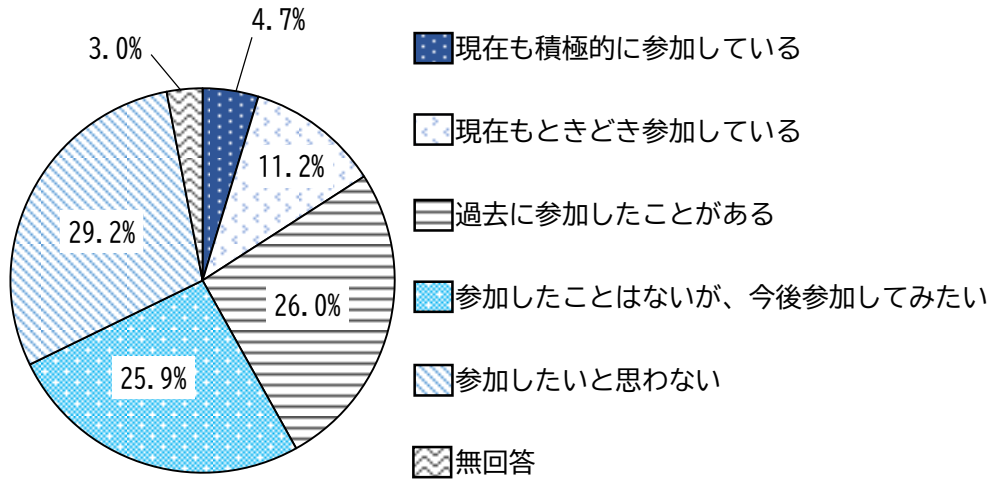
2位

年齢別でみると、いずれも「広報まるがめ」が5割を超えて最も高くなっており、16～19歳、20～29歳、70歳以上では「友人・知人や家族」が他の年齢別に比べて高くなっている。

## 2 調査の結果

問17 コミュニティ活動や市民活動団体、ボランティアなどで、まちづくり活動に参加したことがありますか。(1つだけ○)

【全体 n=1,377】



まちづくり活動への参加の有無については、「参加したいと思わない」の割合が29.2%と最も高くなっており、次いで「過去に参加したことがある」(26.0%)、「参加したことはないが、今後参加してみたい」(25.9%)、「現在もときどき参加している」(11.2%)、「現在も積極的に参加している」(4.7%)となっている。

【年齢別】

		調査数	現在も積極的に参加している	現在もときどき参加している	過去に参加したことがある	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したいと思わない	無回答
全体		1,377	4.7	11.2	26.0	25.9	29.2	3.0
年齢別	16～19歳	60	5.0	5.0	31.7	30.0	26.7	1.7
	20～29歳	85	1.2	5.9	34.1	27.1	30.6	1.2
	30～39歳	194	2.1	7.2	14.9	35.6	39.7	0.5
	40～49歳	202	4.0	9.4	24.3	26.2	36.1	-
	50～59歳	247	5.7	12.6	26.3	27.9	23.9	3.6
	60～69歳	292	4.1	15.1	24.0	24.7	28.1	4.1
	70歳以上	293	7.8	12.3	33.1	18.1	22.9	5.8

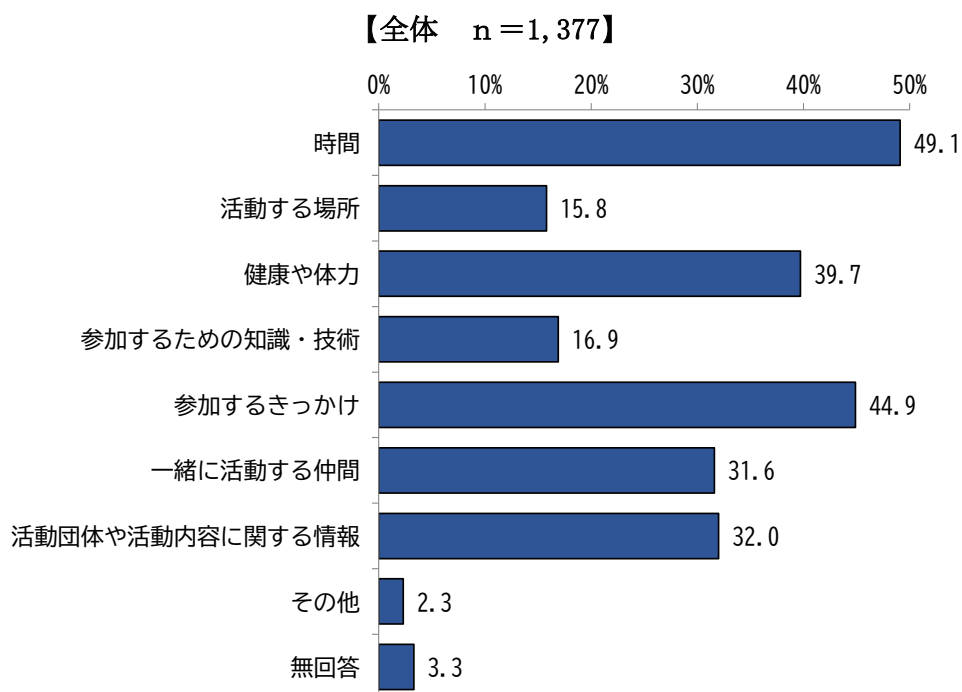
1位

2位

年齢別でみると、16～19歳、20～29歳、70歳以上では「過去に参加したことがある」が、30～39歳、40～49歳、60～69歳では「参加したいと思わない」、50～59歳では「参加したことはないが、今後参加してみたい」が最も高くなっている。また、「現在もときどき参加している」は年齢が高くなるにつれて回答率が高くなる傾向となっている。

## 2 調査の結果

問18 まちづくり活動に参加するにあたって何が必要だと思いますか。(3つまで○)



まちづくり活動に参加するにあたって必要なことについては、「時間」の割合が49.1%と最も高く、次いで「参加するきっかけ」(44.9%)「健康や体力」(39.7%)、「活動団体や活動内容に関する情報」(32.0%)、「一緒に活動する仲間」(31.6%)の順になっている。

「その他」には、「予算、資金」、「意識、考え方」等の意見があった。

### 【年齢別】

	調査数	時間	活動する場所	健康や体力	参加するための知識・技術	参加するきっかけ	一緒に活動する仲間	活動団体や活動内容に関する情報	その他	無回答	
全体	1,377	49.1	15.8	39.7	16.9	44.9	31.6	32.0	2.3	3.3	
年齢別	16～19歳	60	53.3	31.7	16.7	8.3	51.7	48.3	26.7	3.3	-
	20～29歳	85	61.2	17.6	25.9	10.6	71.8	40.0	31.8	1.2	2.4
	30～39歳	194	62.4	15.5	21.1	12.9	57.7	35.1	32.5	2.6	1.0
	40～49歳	202	62.9	12.9	25.7	12.4	48.5	34.2	33.7	4.0	-
	50～59歳	247	53.8	14.2	39.7	18.2	43.3	25.9	31.2	1.2	2.8
	60～69歳	292	46.9	12.3	46.9	18.5	39.4	28.1	38.0	2.4	3.1
	70歳以上	293	24.9	19.1	63.1	23.9	31.1	30.0	26.3	1.7	8.5

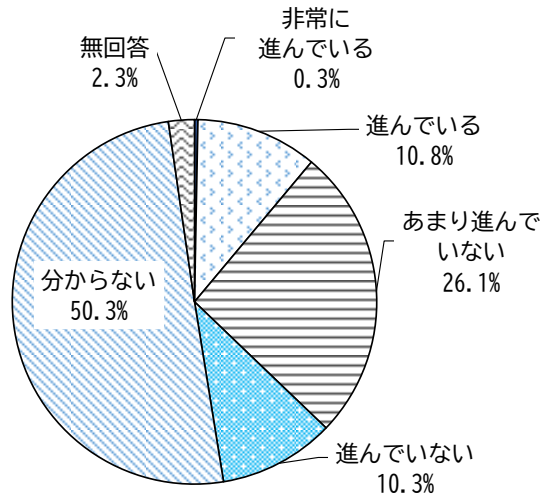
1位 2位

年齢別でみると、いずれも「時間」、「参加するきっかけ」に回答が集まっており、60歳以上では「健康や体力」(46.9%、63.1%)が他の年齢別に比べて高くなっている。「参加するための知識・技術」は年齢が高くなるにつれて回答率が高くなる傾向となっている。

## 2 調査の結果

問19 上記の自治基本条例第20条には、「市民及び市は、(中略)協働してまちづくりを進めるように努めなければならない。」と規定されていますが、丸亀市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思いますか。(1つだけ○)

【全体 n=1,377】



丸亀市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うかについては、「分からない」が50.3%と最も高くなっており、次いで「あまり進んでいない」(26.1%)、「進んでいる」(10.8%)、「進んでいない」(10.3%)、「非常に進んでいる」(0.3%)となっている。

【年齢別】

	調査数	非常に進んでいる	進んでいる	あまり進んでいない	進んでいない	分からない	無回答	
全体	1,377	0.3	10.8	26.1	10.3	50.3	2.3	
年齢別	16～19歳	60	1.7	13.3	23.3	10.0	51.7	-
	20～29歳	85	-	8.2	25.9	11.8	54.1	-
	30～39歳	194	1.0	13.4	24.2	11.3	49.5	0.5
	40～49歳	202	-	10.4	29.7	8.9	50.5	0.5
	50～59歳	247	-	11.3	29.1	11.7	45.3	2.4
	60～69歳	292	-	9.2	26.0	11.0	51.0	2.7
	70歳以上	293	0.3	10.2	22.9	8.2	53.2	5.1

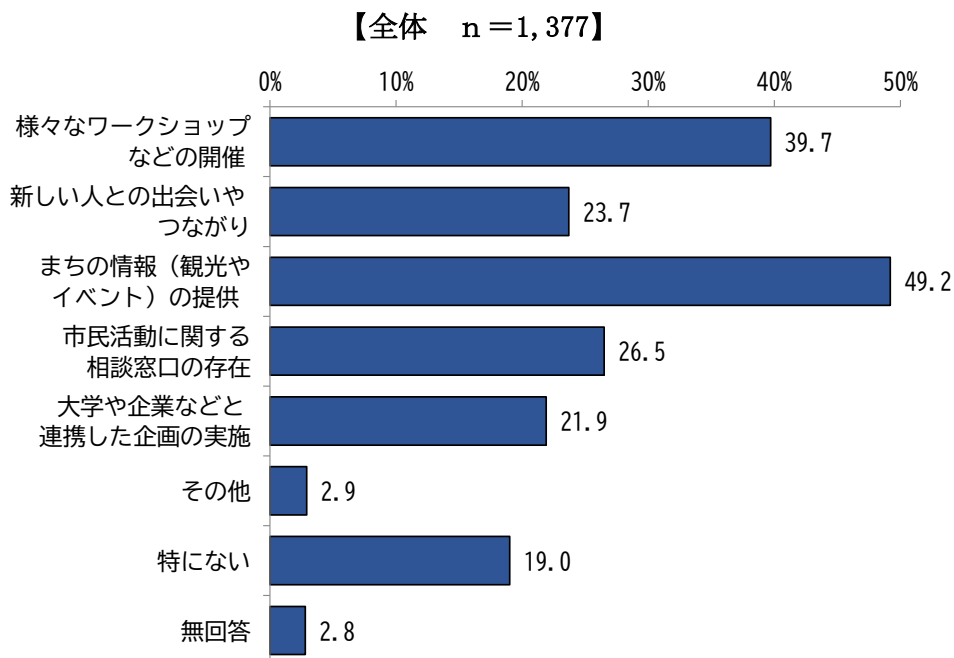
1位

2位

年齢別でみると、「非常に進んでいる」と「進んでいる」を合わせた『進んでいる』は16～19歳(15.0%)が最も高く、20～29歳(8.2%)が最も低くなっている。「あまり進んでいない」と「進んでいない」を合わせた『進んでいない』は50～59歳(40.8%)が最も高く、70歳以上(31.1%)が最も低くなっている。

## 2 調査の結果

問20 丸亀市では、これからの協働のまちづくりの拠点施設として、令和3年3月22日に市民交流活動センター（愛称：マルタス）をオープンしました。このマルタスにどのようなことを期待しますか。（〇はいくつでも）



マルタスに期待することについては、「まちの情報（観光やイベント）の提供」が49.2%と最も高くなっており、次いで「様々なワークショップなどの開催」（39.7%）、「市民活動に関する相談窓口の存在」（26.5%）、「新しい人との出会いやつながり」（23.7%）、「大学や企業などと連携した企画の実施」（21.9%）の順になっている。

「その他」（2.9%）には、「駐車場の利便」、「障害者の人でも利用しやすいもの」、「市民のゆとりと安らぎ、憩いの場」等の意見があった。

## 2 調査の結果

### 【年齢別】

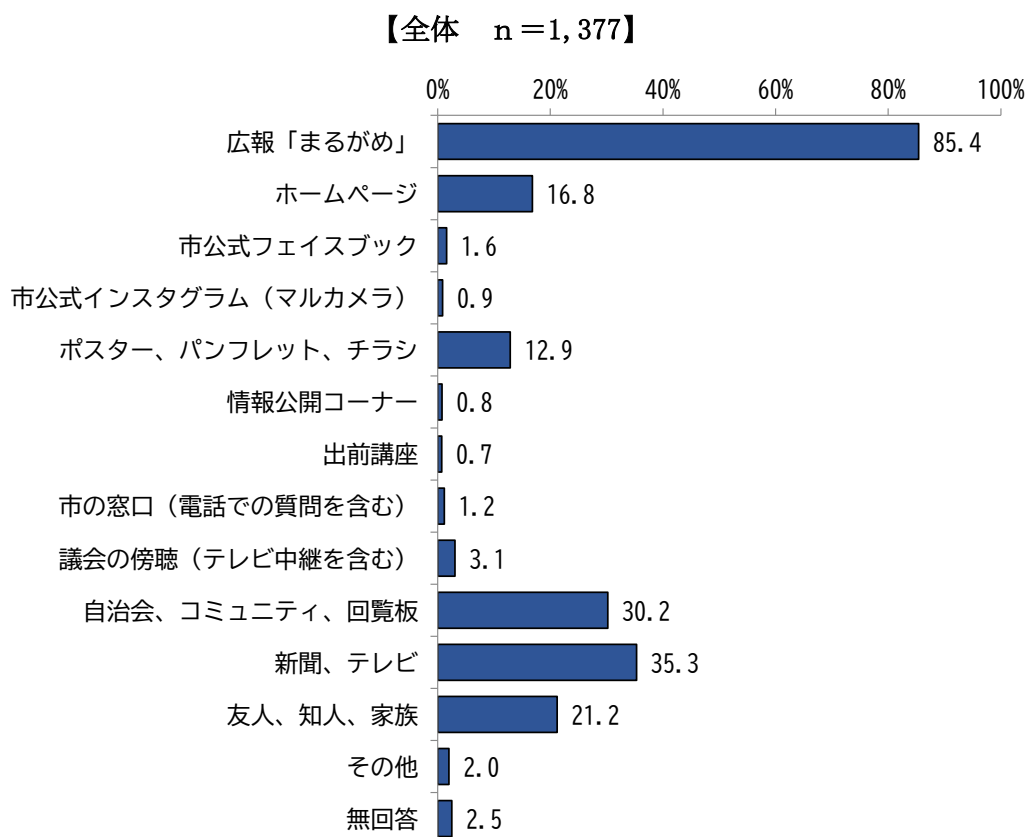
	調査数	様々なワークショップなどの開催	新しい人との出会いやつながり	まちの情報（観光やイベント）の提供	市民活動に関する相談窓口の存在	大学や企業などと連携した企画の実施	その他	特にない	無回答	
全体	1,377	39.7	23.7	49.2	26.5	21.9	2.9	19.0	2.8	
年齢別	16～19歳	60	26.7	23.3	28.3	8.3	33.3	5.0	26.7	-
	20～29歳	85	50.6	35.3	49.4	23.5	28.2	1.2	12.9	-
	30～39歳	194	50.5	27.8	47.4	18.6	19.1	3.1	18.6	-
	40～49歳	202	46.0	25.2	50.0	26.2	29.7	4.0	14.9	1.0
	50～59歳	247	42.1	24.7	56.3	28.3	27.9	4.0	17.0	1.2
	60～69歳	292	38.7	20.2	51.7	29.1	18.5	1.7	20.2	3.1
	70歳以上	293	27.0	19.1	45.7	32.4	12.6	2.4	23.2	8.2

1位	2位
----	----

年齢別でみると、16～19歳では「大学や企業などと連携した企画の実施」（33.3%）が、20～29歳、30～39歳では「様々なワークショップなどの開催」（50.6%、50.5%）、40歳以上では「まちの情報（観光やイベント）の提供」が最も高くなっている。「市民活動に関する相談窓口の存在」は年齢が高くなるにつれて回答率が高くなる傾向となっている。

## 2 調査の結果

問 2 1 日ごろ、どのような方法で市政に関する情報を得ていますか。(〇はいくつでも)



日ごろ、市政に関する情報を得ている方法について、「広報まるがめ」が85.4%と最も高くなっており、次いで「新聞、テレビ」(35.3%)、「自治会、コミュニティ、回覧板」(30.2%)、「友人、知人、家族」(21.2%)、「ホームページ」(16.8%)の順になっている。

「その他」には、「子どもが学校からもらうプリント」、「市議からの情報提供」等の意見があった。

## 2 調査の結果

### 【年齢別・居住地区別】

		調査数	広報「まるがめ」	ホームページ	市公式フェイスブック	市公式インスタグラム（マルカメラ）	ポスター、パンフレット、チラシ	情報公開コーナー
全体		1,377	85.4	16.8	1.6	0.9	12.9	0.8
年齢別	16～19歳	60	53.3	10.0	-	-	15.0	1.7
	20～29歳	85	62.4	20.0	3.5	4.7	9.4	-
	30～39歳	194	75.8	26.3	2.6	0.5	12.4	1.5
	40～49歳	202	90.1	17.8	1.0	1.5	10.9	1.0
	50～59歳	247	89.9	21.1	2.4	1.6	11.7	0.4
	60～69歳	292	93.8	16.4	1.0	-	13.4	0.7
	70歳以上	293	90.1	7.5	1.0	-	15.7	0.7
居住地区別	①城北、城西、城乾	186	88.2	23.1	0.5	1.6	14.5	0.5
	②城坤、城南、土器	384	87.0	17.7	3.1	1.3	12.8	0.5
	③飯野、川西、郡家、垂水	375	86.4	17.1	1.6	0.5	12.8	0.8
	④本島、広島	5	40.0	-	-	-	20.0	-
	⑤栗熊、岡田、富熊	146	82.2	16.4	1.4	-	17.1	2.7
	⑥飯山南、飯山北	205	86.3	11.2	0.5	0.5	10.7	0.5

出前講座	市の窓口（電話での質問を含む）	議会の傍聴（テレビ中継を含む）	自治会、コミュニティ、回覧板	新聞、テレビ	友人、知人、家族	その他	無回答
0.7	1.2	3.1	30.2	35.3	21.2	2.0	2.5
1.7	-	-	6.7	38.3	40.0	-	1.7
-	2.4	-	11.8	41.2	36.5	8.2	1.2
0.5	1.0	1.0	14.4	23.7	29.9	4.1	0.5
0.5	1.5	2.0	16.3	25.7	20.3	2.0	0.5
0.4	1.6	2.0	25.1	34.8	17.8	1.2	2.4
0.3	1.7	3.4	43.2	37.3	13.0	0.7	2.4
1.4	0.3	7.2	51.5	45.4	18.8	1.4	5.5
1.1	1.1	3.2	30.1	32.3	19.9	2.2	0.5
0.5	0.8	3.6	26.3	34.1	23.7	2.1	2.6
0.5	1.1	2.4	30.4	36.0	20.5	1.3	2.1
-	-	-	20.0	20.0	20.0	-	40.0
1.4	2.1	4.1	45.2	41.8	19.9	1.4	2.1
0.5	1.5	3.4	36.1	34.1	19.0	2.4	2.9

1位 2位

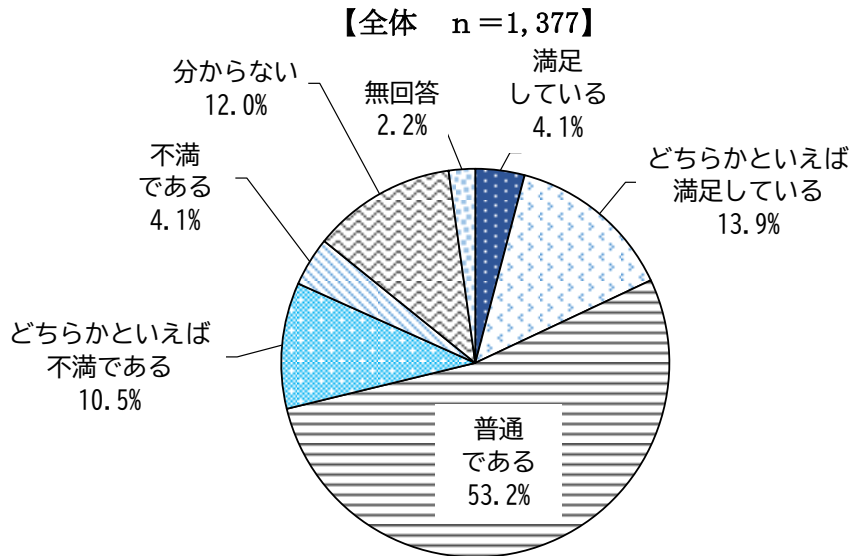
年齢別でみると、いずれも「広報まるがめ」が5割を超えて最も高くなっており、60歳以上では「自治会、コミュニティ、回覧板」（43.2%、51.5%）が他の年齢別に比べて高くなっている。

居住地区別でみると、全ての地区で「広報まるがめ」の割合が最も高く、「⑤栗熊、岡田、富熊」「⑥飯山南、飯山北」では次いで「自治会、コミュニティ、回覧板」が高くなっている。



## 2 調査の結果

問 2 2 あなたは、丸亀市からの情報発信について、どのようにお感じになっていますか。  
(1つだけ○)



丸亀市からの情報発信に対する満足度については、「普通である」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」(13.9%)、「分からない」(12.0%)、「どちらかといえば不満である」(10.5%)、「満足している」、「不満である」(ともに 4.1%)となっている。

### 【年齢別】

		調査数	満足している	どちらかといえば満足している	普通である	どちらかといえば不満である	不満である	分からない	無回答
全体		1,377	4.1	13.9	53.2	10.5	4.1	12.0	2.2
年齢別	16～19歳	60	5.0	5.0	50.0	5.0	1.7	31.7	1.7
	20～29歳	85	7.1	8.2	54.1	7.1	4.7	17.6	1.2
	30～39歳	194	6.2	12.9	46.9	10.3	5.2	18.6	-
	40～49歳	202	3.5	15.8	53.5	10.9	5.0	10.9	0.5
	50～59歳	247	4.0	16.2	54.7	9.3	6.5	8.1	1.2
	60～69歳	292	1.7	12.7	55.8	14.4	3.8	9.6	2.1
	70歳以上	293	4.4	16.0	53.9	9.9	1.4	8.5	5.8

1位

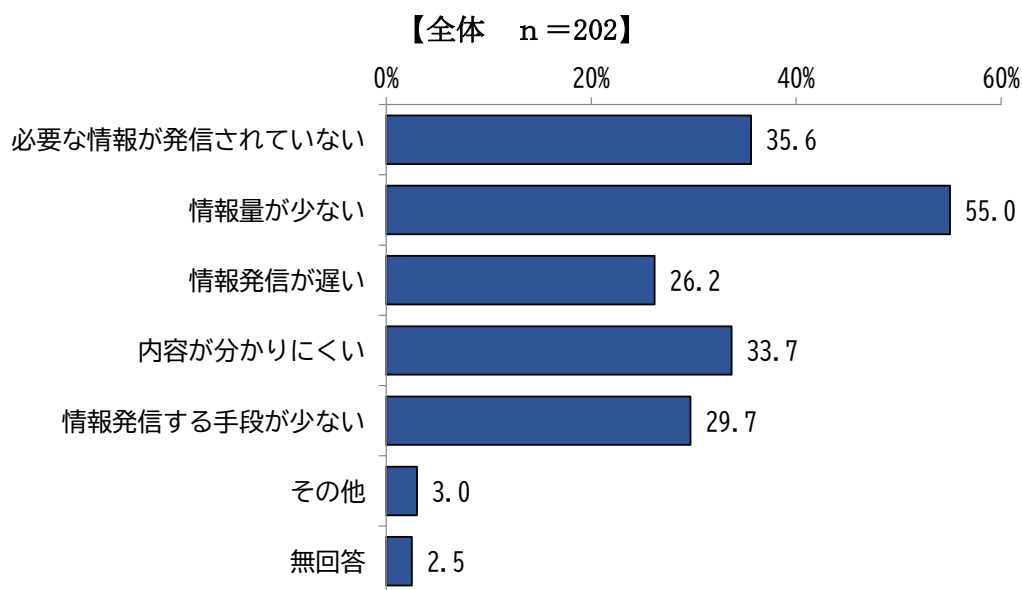
2位

年齢別でみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足している』は年齢が高くなるにつれて高くなる傾向となっており、70歳以上で 20.4%となっている。「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『不満である』は 60～69歳(18.2%)が最も高くなっている。

## 2 調査の結果

問 2 2 で 4 または 5 と答えた方におたずねします。

問 2 3 不満とを感じるのはなぜですか。(○はいくつでも)



不満を感じる理由については「情報量が少ない」の割合が 55.0% と最も高く、次いで「必要な情報が発信されていない」(35.6%)、「内容が分かりにくい」(33.7%)、「情報発信する手段が少ない」(29.7%)、「情報発信が遅い」(26.2%) の順になっている。

「その他」には、「興味や魅力を感じない」、「広報は web でいい。紙媒体はコストの無駄」、「どこで情報を発信しているのか分からない」等の意見があった。

### 【年齢別】

		調査数	必要な情報が発信されていない	情報量が少ない	情報発信が遅い	内容が分かりにくい	情報発信する手段が少ない	その他	無回答
全体		202	35.6	55.0	26.2	33.7	29.7	3.0	2.5
年齢別	16～19歳	4	-	75.0	25.0	25.0	50.0	-	-
	20～29歳	10	50.0	40.0	40.0	40.0	20.0	10.0	-
	30～39歳	30	36.7	53.3	20.0	33.3	33.3	3.3	-
	40～49歳	32	34.4	62.5	21.9	28.1	43.8	3.1	-
	50～59歳	39	46.2	48.7	20.5	43.6	35.9	5.1	-
	60～69歳	53	24.5	54.7	24.5	28.3	17.0	-	7.5
	70歳以上	33	42.4	60.6	39.4	33.3	27.3	3.0	3.0

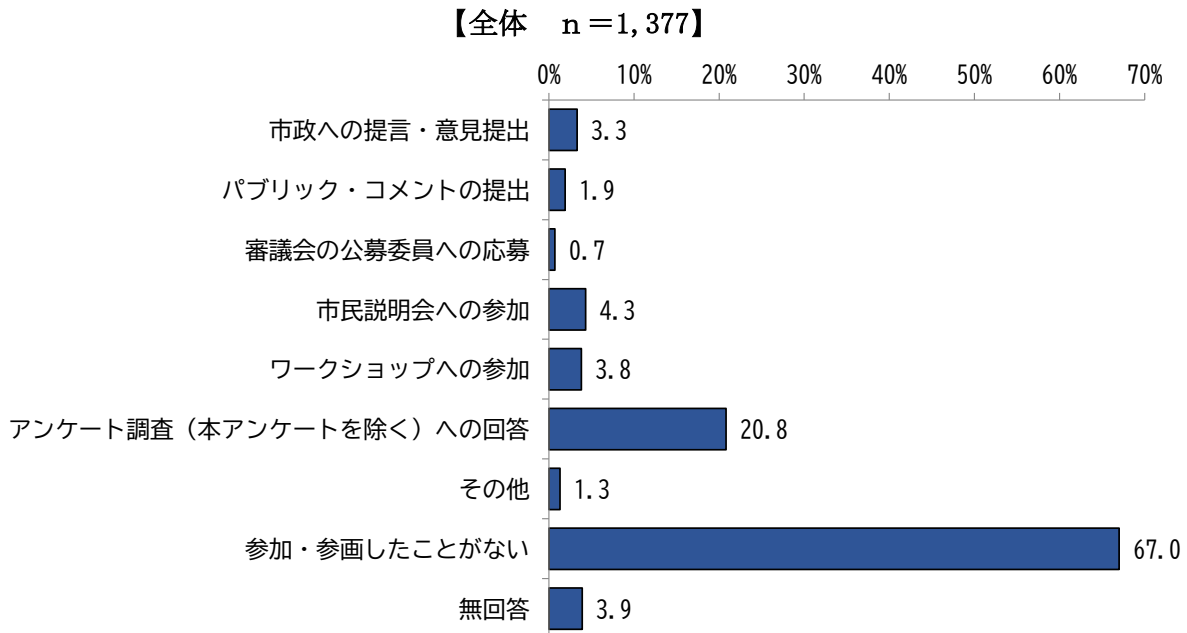
1位

2位

年齢別でみると、いずれも「情報量が少ない」が高くなっており、20～29歳では「必要な情報が発信されていない」(50.0%) が最も高くなっている。

## 2 調査の結果

問24 これまでにどのような方法で、市政に参画（市政を考える場に参加したり、計画策定・条例策定などに参画したり）したことがありますか。（〇はいくつでも）



市政に参画した方法については、「参加・参画したことがない」が67.0%と最も高くなっており、次いで「アンケート調査（本アンケートを除く）への回答」（20.8%）の順になっている。

「その他」には、「市議会議員などを通じて」、「老人会各種活動」等の意見があった。

### 【年齢別】

	調査数	市政への提言・意見提出	パブリック・コメントの提出	審議会の公募委員への応募	市民説明会への参加	ワークショップへの参加	アンケート調査（本アンケートを除く）への回答	その他	参加・参画したことがない	無回答	
全体	1,377	3.3	1.9	0.7	4.3	3.8	20.8	1.3	67.0	3.9	
年齢別	16～19歳	60	1.7	3.3	-	-	1.7	11.7	1.7	83.3	-
	20～29歳	85	1.2	1.2	1.2	-	4.7	10.6	1.2	82.4	-
	30～39歳	194	2.6	1.5	1.0	1.5	5.2	18.0	0.5	74.2	-
	40～49歳	202	4.0	3.5	0.5	2.5	6.4	22.3	1.0	68.3	2.0
	50～59歳	247	3.6	1.2	0.8	2.8	4.0	27.5	1.2	62.3	1.6
	60～69歳	292	2.4	1.7	0.7	6.5	2.4	21.9	1.0	66.4	3.4
	70歳以上	293	4.8	1.7	0.7	7.5	2.7	19.1	2.4	58.4	12.3

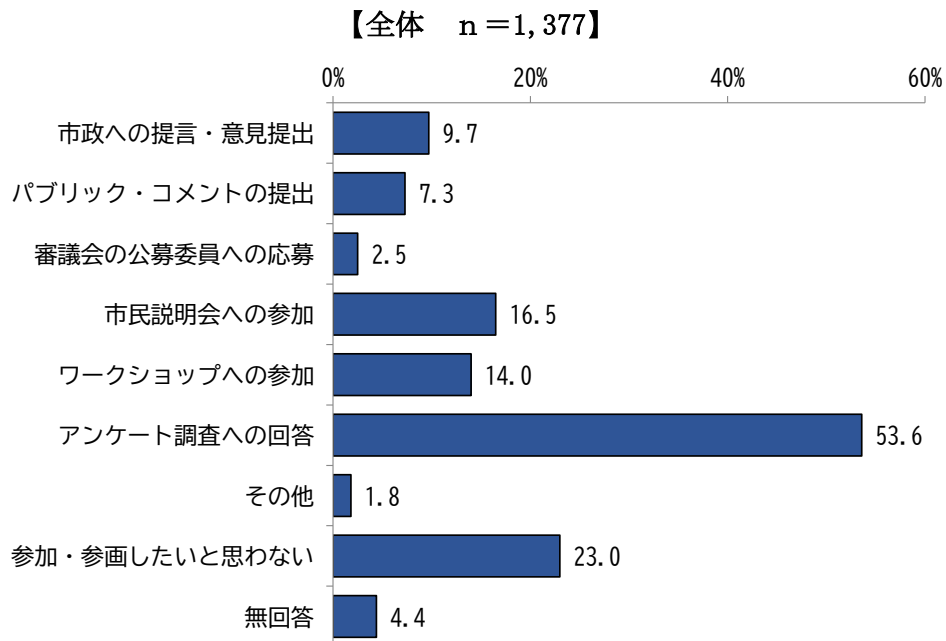
1位

2位

年齢別でみると、いずれも「参加・参画したことがない」が5割を超えて最も高くなっている。60歳以上では「市民説明会への参加」、40～49歳では「ワークショップへの参加」が他の年齢別に比べて若干高くなっている。

## 2 調査の結果

問25 あなたがこれから市政に参画する場合、どのような方法で参画したいと思いますか。(〇はいくつでも)



市政に参画する場合の希望する参画方法については、「アンケート調査への回答」が53.6%と最も高くなっており、次いで「参加・参画したいと思わない」(23.0%)、「市民説明会への参加」(16.5%)、「ワークショップへの参加」(14.0%)、「市政への提言・意見提出」(9.7%)の順になっている。

「その他」には、「市議との意見交換等」等の意見があった。

### 【年齢別】

		調査数	市政への提言・意見提出	パブリック・コメントの提出	審議会の公募委員への応募	市民説明会への参加	ワークショップへの参加	アンケート調査への回答	その他	参加・参画したいと思わない	無回答
全体		1,377	9.7	7.3	2.5	16.5	14.0	53.6	1.8	23.0	4.4
年齢別	16～19歳	60	18.3	11.7	3.3	13.3	13.3	55.0	1.7	25.0	3.3
	20～29歳	85	10.6	5.9	4.7	7.1	17.6	61.2	1.2	23.5	1.2
	30～39歳	194	9.8	8.8	4.1	8.8	20.6	52.6	1.0	25.3	1.5
	40～49歳	202	10.9	8.9	2.0	8.4	13.9	62.9	2.0	21.3	2.0
	50～59歳	247	10.5	6.5	2.4	13.4	16.6	59.1	2.0	20.6	1.6
	60～69歳	292	8.2	9.2	2.4	20.5	15.8	50.3	2.7	23.6	3.4
	70歳以上	293	7.8	3.8	1.0	29.0	4.8	44.7	1.4	23.5	12.3

1位

2位

年齢別でみると、いずれも「アンケート調査への回答」が4割を超えて最も高くなっている。16～19歳では「市政への提言・意見提出」(18.3%)が、60歳以上では「市民説明会への参加」(20.5%、29.0%)、30～39歳では「ワークショップへの参加」(20.6%)が他の年齢別に比べて高くなっている。

## (9) 自由意見：自治基本条例について

問26 自治基本条例の内容や運用に関するご意見・ご要望がありましたら、下の欄にご自由にお書きください。

自治基本条例の内容、周知方法について 24件

No.	意見内容
1	我々高齢者は古いことはよく覚えているが、新しいことには取組みにくく、また取り込みにくい。条例も例外ではない。新しく出来た内容や運用はこと細やかに伝えたり、運用したりしてほしい。
2	読んだことが無いので、今後ホームページで読んでみたいと思う。
3	自治基本条例の内容について、内容を知ってもらう努力が必要だと思う（配布する等）。
4	自分や子や孫が長く幸せに暮らせる様にますます発展して行ってほしいので、もっと条例についてアピールして行ってほしい。
5	条例の内容や運用を具体的な例をあげて、誰にでも分かりやすい表現にしたものがあるのだろうか。
6	自治基本条例を今回初めて知った。もっと若い人たちに届くようにSNSや住みます芸人等を活用し、多少なりともクスッと出来るような方法でないと思われないと思われる。丸亀クエストの中にはめ込むなど。
7	「丸亀市自治基本条例」の内容を全市民（全世帯）に配布し、その後市民より様々な意見・要望等を聞かれるのが良いと思われる。アンケートの前に条例の内容を周知する事が必要なのではないかな。
8	提出方法、応募方法、参加の説明・案内をしてほしい（市の広報等で）。
9	自治基本条例がまだまだ丸亀市民には浸透していないと思う。もっと分かりやすく発信したり、市民にも条例を考えてもらったり、有効に利用してもらう手段を作っていけば良いと思う。
10	新しい市長はやる気があるのか。このアンケートも含め、市職員の市民への分かりやすい広報を希望する。質問が分かりにくい。仕事としてやっているあなたにとっては分かりやすくても何の事か分からない。市民に対して広報が欠けている。分かってもらう努力不足。梶市長が努力されてきたことが今後きっと台無しになるだろう。今後の市政に対しては不安しかない。
11	自治基本条例をもう少しわかりやすい言葉で表現し情報発信したら目にとまりやすいと思う。広報まるがめを見るようにしているが（日頃市政等情報を見ることがないため）正直あまり読んでおらず、条例に関することを把握していなかったため。
12	自治基本条例を知らない。
13	自治体基本条例において、他の市町村などと比較して丸亀市が他より進んでいるのか、遅れているのか私には全く分からない。
14	条例の内容は抽象的で分かりづらい。地域の婦人会は必要なのか疑問に感じる。
15	小学生、中学生、高校生に対して、内容を易しくした条例を配布し、子どもたちに学ばせたい。若年層の意見の反映をさせるべき。
16	市民全員に理解されているとは思えない。形式的に一部の人で運用されている。
17	これからは条例の勉強をする。
18	法律は決めるだけでは意味が無く、市民の意識の中に残る事が大切だと思う。難しい言葉の羅列ではよく分からない。これから後期高齢者になる身としては分かりやすく出来そうな内容のものであって欲しい。どこかの年代に負担がかかったり、地域に負担を持っていくのも違うと思う。行政がメインで動いてくれることで安心感が得られる気がする。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
19	様々な機会において「自治体基本条例」のPRは必要だと思われる。
20	自治体基本条例について、内容を確認したい。丸亀市が今後も私たち市民にとって住みやすい環境の維持、発展のために、できることは微力ながら協力したい。
21	条例の文章が少し分かりづらい。何度も読まないとなんか難しかった。市民の参画とあるが、結局声の大きい人の意見が表に出て吸収されるだけになり、平等にならない気がする。
22	市長、議員、職員、市民等8割以上の方が条例等を分かっていない。もっと身近で分かりやすくないか。
23	自治基本条例を市民に周知する必要がある。周知とは内容まで伝える事であると思う。行政と一緒に一方通行になり過ぎて思われる。
24	市とコミュニティレベルでの情報交換会があれば基本条例の普及・啓蒙が進むと思う。

### 市民参画について 14件

No.	意見内容
1	新しく引っ越してきた人でも参加しやすくしてほしい。
2	市民参画が進んでいない現状をもっと理解してほしい。具体的な施策に反映してもらいたい。協働ではなく丸投げになっていないか。検証する場を設けて欲しい。
3	コロナ禍で市の財政についても良くないと思う。給付金の話もあるが。市民が市の財政を把握出来、どんな事を今後改善していこうとしているのか広く情報が行き渡る様にしてほしい。また積極的な若い人材の活用、市政参画等を望む。
4	もっともっと丸亀が魅力的な街になるためには必要だと思う。裁判員制度のように、市民の中から選ばれ議会に参加できる、というのもおもしろいと思う。
5	市民がこの条例を理解し誇りに思える広報の仕方を考えていただき、市政に参画していきたいと思えるようなものにしていただけたらと願っている。
6	自治体と市民がもっと近い関係になったら良いなと思う。
7	色々な面で改善されるなら、意見要望等をしたい。以前、市役所に困り事を相談しても軽く流され相談に乗ろうとする気配もない。面倒くさがられた。
8	国会議事堂では希望すれば議員発言を傍聴する事が出来る。市議会でもどのような発言で市政に対して議員の方達が本音をもって発言されているのか希望者等を募って傍聴席等を設けて頂きたい。
9	今回アンケート調査に参加し改めて思ったが、今まであまり行政に関心がなかったと気づかされた。これからは一市民として、丸亀市に期待し、少しでもボランティア活動にも参加したいと思う。
10	協働という割に思うのは、市民自体が行政に興味を持って積極的に参加したいと思える状態ではない点。協働で市民の意見を反映するというのなら、もっと市民を参加させるべき。行政は市民のためにあると考えるのなら、見えない所で内々だけで勝手に決めない方が良く思う。もっと市民の声を聞くべき。あと、命に関わる事にお金をケチらないでいただきたい。お金より人の命の方が大切である。
11	もっと参加、参画したいと思えるような説明を望む。
12	提言や提案をしたとしても、結局、縦割り行政により、解決出来なければたらい回しになるようでは意味がない。丸亀市が一丸となり、枠組みを越えた協議を行うことができる行政改革が必要であると思われる。
13	様々な制度や施策を講じて、広く市民が参画する機会を作ってほしい。時代、社会は変化している。変化に応じて対応していただきたい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
14	市民の視点を取り入れてほしい。またそのために積極的に意見を募ったり、自治基本条例の普及に努めてもらいたい。例えば目安箱のような、直接意見を伝えられる場がほしい。

### 情報の発信について 11件

No.	意見内容
1	インターネット環境等を維持出来る高齢者が多くなる時代、個人経費の掛からない方法を取るべきではないか。例えば昔あったスピーカー方式等色々考えられるが、いかがだろうか。
2	今後は広報やホームページを読もうと思う。
3	広報を見ても内容が分かりにくい。もう少し分かりやすく見やすくしてほしい。
4	全世帯へ広報「まるがめ」の配布をしていると思うが、4月から届かなくなった。配布の方法が変わったのだろうか？
5	しっかり情報公開するようにお願いしたい。
6	無駄な回覧板が多すぎる。
7	難しい言葉ではなく、皆が分かりやすい文章で発信してほしい。
8	パブリックコメントの意見概要や結果を取りまとめた報告を公表（掲載場所含めて）してほしい。
9	情報発信。
10	一人一人に情報が行き渡るように工夫してほしい。
11	あらゆる事が紙ベースで、ネットで情報を得ることが難しい。私は夜勤なので昼間に役所に行くことが難しいため、行政サービスは全てオンラインかつ24時間対応をしてほしい。

### アンケート調査について 10件

No.	意見内容
1	アンケートの結果を公表し、今後どのようにするか方向性を示してほしい。頑張っていたきたい。
2	全員に情報の提供を。決定する時は提案し、アンケートを取り結果報告をする。
3	アンケート調査に参加できて良かった。これからも丸亀市がもっと良くなっていく事を願っている。
4	LINEでのアンケートは答えやすい。意識するきっかけが身近にあると良い（興味がないわけではなく、いつも心の中で考えて終わっている）。
5	パブリックコメント（初めて知ったが）、アンケートなど分かりやすく説明してほしい。
6	このアンケートは長すぎる。
7	私は以前区役所で勤務していたことがある。このアンケートの所要時間は15分程度であったが、丁寧に回答をしていたらそのような時間では書けなかった。年齢差はあるかもしれないが。
8	書いている内容が分かりにくく、ハード事業、ソフト事業など聞いた事がなかった為、もう少し分かりやすい内容にしてほしい。あと、文字が多くわかりづらかった。アンケートにするなら、もう少しわかりやすくしてほしい。
9	内容が難しいところもあり、少し困った。あまりに一般の人が聞きなれない言葉には、補足説明を入れてほしい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
10	アンケートが長すぎて大変だった。回数は増えても、短いものなら回答しやすくなって助かる。

### 良好な住環境の形成について 9件

No.	意見内容
1	野良猫、犬も沢山いるので市の方で何か対策をしてほしい。
2	野犬が増えている。処分してほしい。
3	水洗トイレが途中で止まっている。
4	丸亀に住んでいるが、垂水町は街灯が少なく、学生の頃すごく怖かった。今は車があるので思わなくなったが、今の学生さんも不安だろうなと思う。街灯を増やしてほしい。市役所が新しくなった為、行ってみたいと思った。
5	近所迷惑な人の排除。
6	転勤して来て住んでいるが、住みやすいとは思う。車の運転等のマナーは少し悪いと思う。事故の多い地域だとは思う。
7	空き家の整備をしてほしい。きっとそこに住みたいと思っている人はいると思う。市内に公園が少ないため市外まで行かないといけない。
8	買物に行くたびに、バスの便数が少なく不便だと思う。どうにかしてほしい。
9	西汐入川へのゴミの投げ捨てを無くしてほしい。きれいな川にしたいものである。道路脇の雑草やゴミ、花壇の整理などボランティアの人々に頼っていいのだろうか。

### 行政運営について 9件

No.	意見内容
1	今以上に丸亀市が良くなれば言うことは無い。今の市長に期待している。頑張してほしい。
2	内容は評価出来る。自治基本条例を踏まえつつも市民は選挙公約を覚えているため、市民の目を肝に銘じ取り組んでほしい。
3	従来通りの行政事務を進めていただいて結構である。
4	高齢の為、なかなか参加できない。市長、市議、市職員のすばらしい働きで、良い丸亀市にしてほしい。
5	市民が分かるように、きめ細かい公示をする。
6	自治基本条例と言えば聞こえは良いが、実際の所は昔からの隣組制度や五人組制度のような土着の人間に都合の良い不条理なルールがまかり通るだけである。その中で優遇される人間は良いが、そうでない人間には非常に理不尽だ。自治会に任せるとはではなく、きちんと行政が目を見せ、管理していく事の方が重要だと思われる。
7	きちんと条例に基づいた活動を心がけてほしい。選ばれたら「はい、終わり」の集まりになっているような気がする。
8	自治基本条例を厳守して、より良い市政運営をしていただきたい。
9	パブリックコメントによる民意の捏造が香川県のゲーム条例制定時にあり、民主主義の根底を覆すような悪質な問題でその後の対応も不透明で不信感が生まれた。丸亀市においてはそのような事がないように、民意に寄り添った運営をお願いしたい。



## 2 調査の結果

### 自治会について 9件

No.	意見内容
1	自治会未加入世帯への加入の促進。
2	20年前自宅を新築した時に自治会に加入しようとしたが、土地を購入した時に不動産屋から自治会に入るには10万円必要だと言われたが、入居した時には30万円だと言われそれ以来加入していない。自治会なんて知らない。
3	自治活動に参加するためには、いくつものハードルがある様に思われる。時間、人との関係等、顔や名前を出さない、時間にしばられない、もしくは空いた時間で気軽に参加できる、そういった仕組みを作ってほしいと思う。年齢、性別、職業、何にもしばられないよう、条件を広くすれば人々の参加が望めるのではと考える。
4	内容、運用等についてはよく分からないが、まず、自治の最小単位とも言うべき、自治会への加入率を改善する、これが最優先ではないか。共助の前提になるものであると思うが、住民の二極化が進めば、この条例の意義さえ問われかねないと感じる。
5	最近同居している子どもたちが結婚すると別居生活になる場合が多い為、自治会の高齢化が進み、自治会長や会計等の世話ができなくなり、自治会の維持が困難となっている。
6	丸亀に住んで30年以上だが、自治会に入るためにはかなりのお金が必要と言われ入っていない。地域のつながりは子どもが成長してからは全くない。私が退職したらもっと自治について考えることになると思うのだが。
7	自治会に参加されない方が増えている感がある。自治会に入会するメリット等をアピールしてはどうか。市政の情報告知の為にも必要だと思われる。
8	自治会に入れない。仕事で残業が多く休みが固定化していない。こんな方は自分だけではないと思う。認知症の方も激増している。家に帰れず病人の世話をしている人も多い。自分のことは自分で責任を持つ事が難しい時代であると思う。
9	自治会に加入している世帯と未加入の世帯との格差をなくすべきだ。市のやっている事は自治会未加入世帯へのいじめでしかない。例をあげると、丸亀市指定のゴミ袋を加入世帯には無料配布するが未加入世帯には配らない（納税者であるのは同じなのに）。市は自治会加入率を上げたいようだが、指定ゴミ袋に【自治会に加入しましょう】などと印字しているようでは、加入率は下がる一方だと思う。未加入世帯一軒一軒に足を運んで、何故自治会に入らないのか、それぞれの世帯の事情を聞く姿勢を持ってみてはどうか。自治会未加入世帯をこの丸亀市で住みにくくし、追い込んでいるように思えてならない。

### 暮らしを支える福祉の充実について 7件

No.	意見内容
1	高齢者、障害者に優しい町づくりを希望する（細かい心配りのある丸亀市になれば）。
2	多くの人が居住したくなる街づくりを願っている。人口が増えない限り、先は見えてこない。
3	デジタル化が進む中、高齢者はついていけない。スマホの講習会やデジタル化に少しでもついていけるよう、講習会の回数を少しでも増やしてもらいたい。
4	子ども達や孫達が丸亀市を愛して住み続けたいと思うような、魅力溢れる街であってほしい。
5	子育てしやすい町をつくってほしい。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
6	10万円の事もだが、市民はお金が必要とは言っていない。あったら子どもに色々してやれるし、ありがたい。しかしそれがのちに子どもの負担になるなら、子どもたちには丸亀市を離れる事を勧めるだろう。これからが良くなることを考えてほしい。すぐに要らなくなる大規模接種会場もいらないと思う。それならばたくさんの仕事があり、子育てしたくなる市にして頂きたい。
7	私は地元ではない為、地域に対する愛がない。だが、子どもや高齢者が暮らしやすい町にしてあげてほしいと思う。

### 地域コミュニティについて 6件

No.	意見内容
1	近くにコミュニティーセンターがあるが、ほとんど利用したことが無い。活動内容もよく分からない。いつでも誰でもが気軽に利用出来るように取り組んでもらいたい。老人会のみ活動しか見当たらないように思う。
2	県外、市外から移住（丸亀市）した人はコミュニティに参加することが無い。地方都市独特の閉鎖的なイメージしかない。昔ながらの結束は良いが、他者を受け入れない息の詰まる市民性に落胆している。特に市役所。
3	自治と言うと近所の自治会で年配の方が取り組まれていたり、各学校や地域で個々に活動しているイメージが強い。子育て世代が自治に参加していくためにも、市民同士の横のつながりを持てるような組織・企画があればより良いと思う。
4	各自治会コミュニティは人数、活動量に大小があり、コミュニティに合わせて市の方も調整してほしい。年々世代間交代数が減少気味。
5	近所の方との交流が大切。家に在宅の障害者がいるが、民生委員の訪問が一度もないのはどうかと思う。数が少ないのか、ご高齢なのか知らないが、民生委員の大切さが理解されているのか。
6	もっと多くの人たちとふれあう機会や場所があれば参加したい。

### 財政運営について 3件

No.	意見内容
1	あまり運用にお金を掛けず税金を減らしてほしい。色々な市民がいて考え方が違う人も多いため、自分のしたいことは自分でした方が良い。税金をあまり使わず、市民からの徴収を減らしてほしい。
2	税収が下がり大変だと思うが、広い視野で将来を考えることは重要だ。必要なお金をしっかり使い、今後も取組んでいただきたい。
3	コミュニティ活動において助成金等が出ているが、必要以上に現金のばらまきをしているとしか思えない事案が多々ある。市民の税金は有効に使うべき。

### 市内の施設について 3件

No.	意見内容
1	綾歌地区に住む人も増えてきているので、もっと商業施設等を発展させてほしい。子どもがのびのび遊べる物を増やしてほしい。
2	マルタスは素敵な場所だ。若者が集まり、市民活動が活発になると思う。
3	マルタスのキッズスペースは絵本が充実していて良かった。

## 2 調査の結果

その他 54 件

No.	意見内容
1	ゴミ袋を無料にしてほしい。市長は公約を破らないでほしい。
2	下水道の整備。
3	他県のように大きな災害があった際の対応。台風等での家の浸水は今までも何回かあった。その際の市の素早い対応を期待している。
4	特に観光面での民間の声を多く取り入れることを望んでいる。
5	出来もしない事を公約にあげるのは詐欺だと思う。
6	市に関しては、皆様敷居が高いと感じている。あと、言ってもどうせという気持ちが強い。だから何も求めないという人の方が多い。
7	市民のことを考える。
8	生活保護の為あまり考えられず回答が無く申し訳ない。精神障害者なのでよく分からない。
9	市民が過ごしやすいように色々考えて頂き、感謝している。これからもよろしくお取り計らいいただきたい。
10	10 万円給付を公約にしたのだから、金額が変わるなら市民の意見も聞くべきだ。
11	市長はすぐに辞めるべき。公約を守らないなら続ける意味がない。議会が終わり次第、10 万給付できないなら辞めてほしい。
12	松永市長に申す。市長に選ばれたのであれば公約を実行すること。
13	普通に市民と向き合っていれば基本条例など必要ないのでは。
14	物事の善し悪しは理解できるし、他の意見を聞く事の大切さも知っている。何事も実施した後にもし誤りがあれば修正する勇気と実行力がある人がいることを望んでいる。
15	新市長が 10 万円→5 万円と言い出したので先行きが不安で仕方がない。市長は早く辞めないで、市民として恥ずかしい。5 万円も無理だろう。
16	10 万円給付は嘘なのだろうか。
17	ボランティア活動に参加して思うのは、市が責任をもって後ろ盾となって積極的にリーダーシップを取ってくれると参加者も安心して活動ができる。それぞれの取組において、市が責任を持つというのが前面に出て、理解してもらえれば、より多くの人々が積極的に活動してくれるのではないかと思う。
18	市長が公約を守らなければ市民も協力できないと思う。
19	田んぼが売りに出され、業者が買い取り、新しく買った家族が家を建てるという流れが早い。新しく来た家族と打ち解ける時間、場所が必要かと思われる。
20	今回、周りの人にも市に対して思うことを聞いてみた。皆さん口を揃えて新市長の公約違反について怒っているようだった。素人が 10 万円と言っていたなら信じなかったところ、市議をされていた人だから、歳入や歳出のこともご存じで、10 万円の算段があるのだろうと、票を入れた人たちが大勢いる。約束を守らない、守らなくても良いと思っているのかなど。マルタスもこんな立派な施設が必要だろうかと思った。皆が一か所に集まる場所よりも、それぞれが各コミュニティで必要なサービスを受けられる事のほうが必要であると思う。税収は一部の人たちのために使われるべきでは無いと思う。必要なこと、生活や命に関わることに使ってほしい。
21	今年から年金生活で、内容が分からない。
22	公約はきちんと守ってほしい。コロナを言い訳にするのはおかしい。選挙前から分かっていた事。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
23	このアンケートとは関係ないが、市長の10万円の公約の行方が気になる。約束を守れない人が市のトップになっても良いのか。不信感が募り、イメージが悪い。市長である以上、必ずこの不信感を取り除いてほしい。公約の大切さを感じた。
24	現首相のポリシー（自助・共助・公助）。人任せの政府は不必要。地方や国民に政府のやるべきことを押しつけているのは最悪。市議会は公約を守る事。
25	時間がないので難しい。
26	若い人に丸亀市をしっかり守っていただきたい。
27	私は他県から丸亀に来ているが、香川県の人々は思っていることを口に出さない。また、災害が少ないからか、他人に対する思いやりが少ないと思う。
28	現市長は市民全員に10万円を支給するとの公約を掲げて当選を果たした。その公約の是非は別として、公約違反であり、選挙人を欺いた罪に問われるべき。議会において、十分な審議をしてほしい。リコールまたは選挙のやり直しが妥当だと思われる。
29	広く意見を聞くのは大切だが、決断はもっと大切だ。
30	最近の内閣のやり方に政治不信を抱いている。決定までの情報公開は大切だ。丸亀市に期待している。
31	市民として満足して生活している。
32	丸亀市民に5万円の給付金を出すという案があるが、その為に税金が上がったりするのであれば良い方がよい。それよりコロナに関することに使ってほしい。一日も早く予防接種が全員出来ることを願っている。市長になる為の10万円の公約は駄目なのでは。
33	自治基本条例の存在を知らなかった。市民にまちづくりに自主的に取り組むとあるが、フルタイムで働き時間、体力、経済的に余裕がなくとても無理だと感じている。勝手に一員にされても困るのだが、どのように意識を変えれば良いのか分からない。
34	市長は公約違反をした。そんなに市長になりたかったのか。
35	10万円がほしい。
36	給付金について：予算的に5万円が妥当なのは投票前から理解している。松永さんに投票したのは今任期中に行う3つの政策が示されていたから。梶さんは他地域から流入した者には理解不能だった。PCRセンターを立ち上げコロナ対策をした等主張しているが、専門家は異議を唱えている。これは一例、任期中に何をやるか全く示していなかった。ただ必要だから打ち出した政策ならこのタイミングで取り下げてはならない。 人権問題に対する決議を：中国のウイグル族の問題。非難決議を丸亀でもするべき。兵庫県等は自治会でも独自に議決している。先々中国から狙われる可能性は沖縄に近い程一定のリスクがある。ウイグル族以外に法輪功も断左されている。彼らは生体移植の検体に生きたまま提供されている。中国の生体移植の実績が異常に多いのである程度裏も取れるが。そういう犯罪者の国をしっかりNOと出さないととんでもないことになる。国は儲け主義、その他事情もあり逃げ腰。とにかく平和ボケしないで多様な事にチャレンジして丸亀市を良くしてほしい。
37	市議会議員のレベルアップに期待する。
38	不満はないが、これからも市民にとってより良い、住みやすい場所になったらと思う。松永市長の力も必要となるだろう。未来を楽しみにしている。

## 2 調査の結果

No.	意見内容
39	<p>給付金を市民一人当たり 10 万円支給すると言われていた。だが数日で半額とは納得が出来ない。市長は熟慮した上での公約だそうだが、給付金を半額にしたという事は熟考されていなかったように思われてならない。給付金を半額にする事の経済活性効果は半減、一時期だけだと思われる。国が支給した十万円の経済活性効果はあまりなかったと思う。効果は給付金の約 4 割程度だと聞いたように思う。丸亀市が 5 万円を支給しても効果はあまり無く、一時的ではないかと思われる。約百億円という金が一時的経済活性金に使われているのであれば、市民の健康増進や道路整備や医療福祉、高齢祝い金等に使用した方が良くと思う。住みよい丸亀市、住みたくなる丸亀市にする為に恒久的な政策をお願いしたい。まずは行政改革である。市職員の給料が、国の公務員給料より高いと聞いた事があるが本当か。また議会開催中は弁当が支給されているのか。上記の事が本当であれば改善して頂きたい。議会手当にしても考えてもらいたい。丸亀市議会議員に選出された議員は市民の代表である議会を開催して議論争が当然だと思う。それなのに何故議会手当が支給されるのか、疑問に感じる。民間企業で財政が苦しければそれなりの対処をしている。今までに何度も丸亀市に歩道や自転車道の整備をお願いしたが、財政が苦しいという事で 20 年程整備がなされていない。また 75 歳支給の高齢祝い金の打ち切り、健康相談日の短縮等をされている。これらの復活改善を先に行うのが本当だと思う。百億円の時金も良いが住みよい街、安全安心の丸亀市にしてもらいたい。市の財政が苦しいという事で、職員の年次有給休暇のカット、超過勤務手当の不給、労働時間 1 日 30 分の超過勤務をさせられたのは労働基準法に違反であるので改善を申し入れたが受け入れてもらえなかった。このようなことが行使されないような改革をお願いしたい。これからの丸亀市が住みたくなる街、安全安心の街等になるように、一時的な行政改革でなく長期に渡る健全な市政を行ってほしい。議会での議員に対しても理事者の答弁は多数が原稿の棒読みである為解答になっていない。行政の改革をお願いしたい。</p> <p>アンケートについてだが、本当に丸亀市の憲法という丸亀市自治基本条例プランのアンケート内容か疑問な点が多々ある。何故このアンケートの解答時間を 15 分と決めてあるのか。15 分では真の解答は無理だと思われる。自治法だが、今日までにどんな時どのように使われたのか、使われてどのくらいメリット・デメリットがあったのか。自治基本条例ですが、丸亀市民がどのくらい周知理解されているのか、また職員が内容を知っているのか疑問である。この自治法については内容も分からない。何故「○印」を限定してあるのか、行政改革プランを作成するからには「限定」は必要がない。市長表彰にはどのようなメリットがあるのか管理者や市議会議員にお聞きした所、返答は一部の老人が喜ぶから行っている、別にメリットは無いとの事だった。市民を小馬鹿にしているような発言だと思った。私事だがコミュニティーセンターでの色々な行事等に携わってきた。コミュニティーセンター内の植木の剪定や予防を約 5 年間行ってきた。また桜等も寄贈した。剪定道具や予防の薬は全部自腹、ゴミ袋も自腹。ある時市にゴミ袋を預けないかとお願いと、勝手に剪定しているので、個人には出せないとの返答を頂いた。また市議会議員にはボランティアでしている私に、よい儲けをしているのではないかと言われた。この丸亀市自治基本条例の改革プランのアンケートは他者に厳しく身内に甘い改革であると市民から論されそう。</p>

## 2 調査の結果

No.	意見内容
40	40代の頃に10年、60歳になり再度住み始め10年になる。40代の時の丸亀の方が穏やかで住みやすかったと感じる。そこそこきれいで住みやすい市だが、人々の心の在り方に違和感を覚える事が多い。災害の少ない県、市の為かと思われる。行政も公共事業に偏りが多く感じる。老人問題ばかりではなく、幼児、小学、中学、高校と教育に力を尽くしてほしい。私も老人で、ありがたいと感じるものの、老人に使う費用を削ってでも教育を大事にして頂きたい。アンケートを回答し、私も丸亀という町を私も勉強しなくてはと思った。私は香川県が嫌いだが、好きになるよう努力する。 先日初めて市役所へ行った。あそこまでお金をかける必要があったのか。市民会館と一緒にすると何か方法があったのではと疑問に思う。市民の心から離れた行政。誰に聞いても市役所を良いと言う人はいない。
41	4人に1人が75歳以上という超高齢化社会になってくる。若い人だけでは支えきれないので、70歳を超えても働ける健康長寿が多い丸亀市になれるように、勉強会を開いたらどうか。モデルとなる町を目指せるように仕組み作りが必要だ。
42	市長は市民に10万円給付を半減した理由をもっと明確に答えてほしい。議員経験もあつたのだから、市の財政状態は分かっていたと思う。公約違反と捉えている市民は多数いると思う。
43	全ての方が責任と自覚を持って対応する事が必要だと思う。
44	10万円支給を公約にして当選した市長には多くを求めない。
45	市政の良さを増々発展させ、市民活動への原動力としてご活躍されている方々に、心から敬意を表したい。市の将来に大きな希望をもたらせていただきたいと思う。
46	市長は公約を守ってほしい。市民を騙すなんてひどい。公約違反をするのであれば辞めるべき。言うだけなら誰でもできるし、子どもに対して恥ずかしくないのだろうか。当選したら無かった事というのは詐欺だ。
47	市長の一律交付金の公約が話題になっているが、私はそもそも、市役所の立て直しやお城の石垣の復旧、コロナ対策でお金が掛かるだろうに、そんな財源が本当にあるのだろうかと懐疑的だった。更に、議会で可決されなければ支給できないのに、そのような説明もない。もし否決されればますます市民の不満は募るし、こういうところから政治への不信感が募るのだと思う。
48	親が元気なので親任せが多い。
49	どうでもいい。
50	誰が・いつまでに・何をするかを明確にする。
51	学も知識もない人に市政を任せるな。
52	市民参画をする上で、松永市長の選挙公約であった10万円支給をあてにしていた市民がおり、10万が減額されることによって家計計画に齟齬が生じて参画が難しくなっている。市民参画を促すのであればまずは選挙公約違反を改めるべきと考える。
53	新市長の見通しの悪い選挙での発言が疑問だ。給付金を配布する余裕が無い状態で10万円給付案を選挙でアピールするのはおかしい。そのような事をしているから選挙への関心の希薄化や不信感を持たせるのだろう。減額するにしても、『公約違反では無い』と言うより、自分の見通しの甘さを市民へ報告し減額を報告した方がまだ皆さんの理解を得られたのではないだろうか。
54	理念は素晴らしいので、これに則して動けたらと思う。

## (10) 総評

### ①総評1：まちづくりについて

丸亀市への居住継続意向について、「丸亀市に住み続けたい、離れたくない」という回答を合計すると、全体で9割以上となっている一方、「市外に移転したい」という意見は8%程度であり、概ね好印象を持たれている。ただし、10～30歳代の若年層に関しては、丸亀市に住み続けたい、戻ってきたいという意見が多くなっているものの、40歳代以上に比べると「市外に移転したい」の割合が高くなっている。若年層が魅力を感じ、住み続けたい、戻ってきたい、と思えるまちづくりに取り組む必要があると考えられる。

丸亀市の魅力に感じる点について、買い物など日常生活が便利であること、自然環境・歴史・文化が豊かであること、交通の便がよいこと等があげられており、市の取組に対する評価分析においても、生活環境の整備（道路整備やゴミ処理等）に関する項目の多くが、重点維持分野（満足度・重要度がともに高い項目）となっている。

ただし、交通面については、丸亀市の魅力に乏しい点で「通勤・通学など交通の便が悪い」（22.1%）が上位となっている他、評価分析では「公共交通」が重点改善分野（重要度は高いが、満足度は低い項目）になっている。自由意見においても「歩道の整備」や「公共交通の便数の増加」等の意見がみられることから、道路の整備については現在の取組を継続しつつ、公共交通等に関する細かなニーズを把握して対応していく必要があると考えられる。

また、「趣味や娯楽の場が少ない」や、「福祉や医療の面で安心できない」の回答割合が前回調査よりも高くなっている他、市の取組に対する評価分析において、バリアフリー、子育て支援、雇用対策の項目が、重点改善分野（重要度は高いが、満足度は低い項目）となっており、満足度向上に向けて取り組む必要があると考えられる。

### ②総評2：行政改革について

行政サービスについて、全般に関する意見としては、将来世代に負担を残さないようにサービス水準を見直すべき、という意見が大半を占めているが、ソフト事業（福祉など）については、経費が増えてもサービス水準を維持すべきという意見が最も多くなっている。

一方、ハード事業（道路、公共施設など）や公共施設の使用料については、サービス水準を優先すべき、経費の抑制を優先すべき、の2つの意見が拮抗している。将来世代への負担を残さないよう配慮しつつ、サービス水準と経費のバランスをとりながら行政サービスを提供していく必要があるが、特に福祉などのソフト事業については、サービスの水準が維持できるよう努めていく必要があると考えられる。

行政サービスのデジタル化については、行政手続きを1か所の窓口、あるいはインターネット上で済ませられることを期待する意見が多くなっており、マイナンバーカードやキャッシュレス決済等の利用も含めて、手続き全般の簡略化が求められていると考えられる。ただし、デジタル化にあたっては、多くの方が個人情報の流出への不安や、情報通信機器の利用可否によって格差が生じることを懸念している。自由意見においても、デジタル化を進めるべきという意見と、年配者への配慮を求める意見、どちらも複数みられることから、デジタル化を進めるにあたっては、個人情報の保護を徹底することは当然のこと、全ての市民が情報通信機器を使用できる環境づくりが必要になると考えられる。

### ③総評 3：自治基本条例について

丸亀市自治基本条例の認知度については、名前だけを含め認知している人の割合が前回調査に比べて5.4ポイント減少し、一方で、「まったく聞いたことがない」と回答した方の割合は5.8ポイントの増加となっており、依然として認知度が課題となっている。

市政に関する情報取得の方法は、広報「まるがめ」が他に比べて大きく高い割合を示しており、依然として紙媒体による情報発信の重要性が伺える。一方で、年代別に見ると、広報のほかに、60歳代以上では「自治会、コミュニティ、回覧板」が高く、40・50歳代では、「新聞、テレビ」、30歳代以下では「新聞、テレビ」に加え、「友人、知人、家族」が高くなっており、各年代ごとの情報取得の方法の違いが顕著な結果となっている。

SNSといった情報発信ツールも進化を遂げている現在においては、多くの方に市の情報を知ってもらうためにも、様々な方法を駆使した情報発信が必要と考えられる。

まちづくり活動に参加するにあたって必要なことについては、「市政に参加・参画したことがない」と回答した方が67%いる一方で、「市政に参加・参画したいと思わない」との回答は23%にとどまっており、「まちづくり活動への参加に必要なこと」では、時間や体力といった個人的な課題に関する意見が多くなっているが、「参加するきっかけ」や「活動に関する情報」と回答した方も一定数存在しており、手法やきっかけによっては、市政への参加につながっていく可能性もあると考えられる。



## 3 資料編

### (1) 調査票

#### 「丸亀市総合計画・行政改革プラン・自治基本条例」 に関するアンケート

市民の皆様には、日頃より市政にご協力をいただき、ありがとうございます。  
丸亀市では、現在、まちづくりの指針である「第二次総合計画」の後期基本計画や、持続可能な行財政運営を目指すための「第5次行政改革プラン」の策定作業を進めています。

また、丸亀市の憲法ともいえるべき「丸亀市自治基本条例」について、5年ごとに行う検証作業をすすめています。

そこで、市民の皆様が日常生活の中で感じていることをお聞かせいただき、それぞれの計画の策定や条例の検証に反映させていくため、アンケートを実施することといたしました。

### お願い

丸亀市にお住まいの16歳以上の方から、無作為に3,000人を抽出させていただきました。お忙しいとは存じますが、次ページのいずれかの方法で

**6月14日(月)**

までにご回答くださいますようお願いいたします。

このアンケートは無記名でご回答いただき、結果は統計的に処理いたします。個別に公表するようなことは決してありません。

なお、アンケートの所要時間は15分程度です。趣旨をご理解いただき、お手数ですが、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月



#### ●ご回答にあたって

- ※ あて名となっているご本人がご記入くださいますようお願いいたします。
- ※ 設問によって、回答が「1つだけ○」、「2つまで○」、「3つまで○」などと限定されている場合がありますので、記載内容に従って、あてはまる番号に○をつけてください。
- ※ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、( )内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

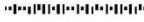
#### 問い合わせ先

アンケートについてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

丸亀市市長公室秘書政策課

TEL：24-8839 FAX：24-8860

E-mail：seisaku-t@city.marugame.lg.jp

- ※ 返信用封筒の表面左側にあるバーコード「」は、料金受取人払のために郵便局が使用するものであり、個人を特定するためのものではありません。

## 回答方法 ※次のいずれかの方法で回答してください。

### ①インターネット回答

- ・スマートフォン、タブレット、パソコンで下記へアクセスして回答してください。

<https://rsch.jp/28e9f95b19c869ca/login.php>

ID「marugame」 パスワード「chousa01」

- ・インターネット回答された場合、この調査票への記入及び返送は必要ありません。

令和

#### ◎インターネット回答の流れ

1. ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に、下記のアドレスを半角の英字小文字ですべて入力し、キーボードの「ENTER」キーを押してください。



スマートフォンからは、上記QRコードを読み取って回答ページにアクセスできます。

2. 表示されたページで、ID・パスワードを入力し、「上記に同意してアンケートに参加する」をクリックしてください。

お問い合わせ窓口  
 ○ アンケートの内容に関するお問い合わせ（質問内容やテーマについて等）  
 調査主任：丸亀市長公室秘書政務課  
 お問い合わせ先： [seisaku@city.marugame.lg.jp](mailto:seisaku@city.marugame.lg.jp)  
 TEL：0877-24-8699

○ アンケートのシステムに関するお問い合わせ（回答出来ない/ページが表示されない等）  
 調査運営：クロス・マーケティング アンケート事務局  
 お問い合わせ先：こちらの入力フォームからお問い合わせください。

SECURITY RapidSSL  
[www.rapidssl.com](http://www.rapidssl.com)

ID

パスワード

ID「marugame」  
パスワード「chousa01」

ID、パスワードを入力して「上記に同意してアンケートに参加する」ボタンをクリックしてください。

「上記に同意してアンケートに参加」ボタンを押すと次ページよりアンケートが開始します。

3. 以降、案内に従って回答を入力してください。

### ② 調査票（この冊子）による回答

- ・問いの指示に従って調査票に直接ご記入ください。
- ・記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函ください。（切手を貼る必要はありません）

**あなた自身のことについておたずねします。**

あてはまる番号に○印をご記入ください。

問1. あなたの性別を教えてください。

1. 男	2. 女	3. その他	4. 回答しない
------	------	--------	----------

問2. あなたの年齢を教えてください。

1. 16～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	

問3. あなたがお住まいの地域を教えてください。

1. 城北コミュニティ	2. 城西コミュニティ
3. 城乾コミュニティ	4. 城坤コミュニティ
5. 城南コミュニティ	6. 土器コミュニティ
7. 飯野コミュニティ	8. 川西コミュニティ
9. 郡家コミュニティ	10. 垂水コミュニティ
11. 本島コミュニティ	12. 広島コミュニティ
13. 栗熊コミュニティ	14. 岡田コミュニティ
15. 富熊コミュニティ	16. 飯山南コミュニティ
17. 飯山北コミュニティ	
18. ご不明な場合は町名をお答えください（ <span style="float: right;">町</span> ）	

### 丸亀市での生活についておたずねします

問4. あなたが丸亀市に住みはじめてからの期間を教えてください。(1つだけ○)

1. 1年未満	2. 1年以上 3年未満	3. 3年以上 5年未満
4. 5年以上 10年未満	5. 10年以上 20年未満	6. 20年以上

問5. 丸亀市のどのようなところに魅力を感じていますか。(2つまで○)

1. 自然環境が豊かである	2. 歴史・文化が豊かで個性がある
3. 通勤・通学など交通の便がよい	4. 買い物など日常生活が便利
5. 趣味や娯楽が楽しめる	6. 福祉や医療の面で安心できる
7. 子育てがしやすい	8. 近所づきあいや人間関係が豊かである
9. 防犯や防災の面で安心できる	10. 産業が盛んで働きやすい
11. 行政サービスが充実している	12. その他( )

問6. 丸亀市のどのようなところが魅力に乏しい、あるいは住みにくいと感じていますか。(2つまで○)

1. 自然環境に乏しい	2. まちの魅力に乏しく、個性がない
3. 通勤・通学など交通の便が悪い	4. 買い物など日常生活が不便
5. 趣味や娯楽の場が少ない	6. 福祉や医療の面で安心できない
7. 子育てがしにくい	8. 近所づきあいや人間関係に乏しい
9. 防犯や防災の面で安心できない	10. 産業が停滞し働く場が少ない
11. 行政サービスがよくない	12. その他( )

問7. あなたは、これからも丸亀市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ○)

1. これからもずっと住み続けたい
2. いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい
3. 離れたくないが、市外へ移転することになると思う
4. 市外に移転したい

(丸亀市の現状と今後の取り組みについて)

問8. 市では今年3月に新しい庁舎が完成し、新たな拠点でのまちづくりをスタートしています。そこで、今後さらに魅力的な丸亀市を目指していくために、市が現在進めている取組の現状の「満足度」と、今後の取組としての「重要度」をおたずねします。下記のすべての各項目について、それぞれあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

評価	項目	現在の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	やや不満足である	不満足である	分からない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	分からない
	例 ○○○○の充実に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
自然との共生	1 省エネルギーや再生可能エネルギー使用の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2 ゴミの減量化やリサイクルに関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3 海、河川、山林などの自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4 自然に親しめるレクリエーション施設や親水護岸などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活環境の整備	5 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6 市内をつなぐ一般道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7 高齢者などが移動しやすい環境の整備（バリアフリー）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8 鉄道・バスなど公共交通の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9 無秩序な都市の拡大防止と良好な市街地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10 景観に配慮したまちづくりに関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11 公営住宅や宅地の整備に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12 生活排水・産業排水などの処理に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13 公園・緑地の充実及び維持管理に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14 丸亀港における港湾やアクセス道路などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安全確保	15 ゴミやし尿の収集処理に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16 墓地や葬儀に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17 離島航路や島内交通の整備などに関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18 消費者被害の保護に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19 消防や救急体制の整備、自然災害への備えに関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業の振興	20 交通安全や防犯対策に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21 農林水産業の育成・支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22 商業やサービス業の育成・支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23 既存企業の支援や企業誘致など、工業の育成・支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24 観光地のネットワークづくりなど、観光産業の育成・支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 雇用機会の創出などに関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

3 資料編

評価		項目	現在の満足度					今後の重要度				
			満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	分からない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	分からない
教育・文化の振興	26	心を豊かにし生活に役立つ生涯学習の充実に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27	世代間の交流があり、地域社会で子どもを育成する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28	学校教育の充実、教育施設の整備に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29	青少年の健全育成、指導等に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30	芸術や地域文化の継承や振興に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31	名所や文化財の保護・活用に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32	スポーツ・レクリエーションの充実に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康・福祉の充実	33	身近な地域における地域福祉に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34	健康づくりや身近な医療環境の充実に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35	高齢者の健康づくりや福祉サービスに関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36	障がい者の就労支援や福祉サービスに関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37	保育サービスや子育て相談など子育て支援に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38	介護保険制度の普及や介護サービスの充実に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
情報	39	行政による広報活動、情報公開、個人情報保護に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40	地域社会のデジタル化、先端的な情報技術を活用した生活の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41	情報・通信基盤の整備に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民活動	42	地域住民によるコミュニティ活動の支援に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	43	市民活動団体など公益的な活動の支援に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	44	まちづくりや行政への市民参画に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他	45	人権教育、啓発活動など人権尊重に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	46	男女が共に活躍するための啓発や支援に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	47	国際交流や外国人が暮らしやすい地域づくりに関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	48	健全な財政運営に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	49	行政活動の着実な進行管理や効率的な行政運営に関する取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問9. まちづくり全般に対するご意見・ご要望がありましたら、下の欄にご自由にお書きください。


行政改革についておたずねします

(今後のまちづくりのあり方について)

問10. 市では、多くの分野（教育、環境、道路、消防、産業、福祉など）について行政サービスを展開していますが、今後、税金など歳入が減少する前提で考えた場合、限られた財源の中であっても、市民の皆さんの満足度につながる望ましい行政サービスのあり方として、次の①～④の項目ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ1つだけ〇）

① 行政サービス全般の水準と市民の負担について

1.	今の世代の負担が増えても、支出は減らさずに、行政サービスの水準を向上していくべき
2.	将来世代に負担を残しても、支出は減らさずに、行政サービスの水準を向上していくべき
3.	将来世代に負担を残さないように、収入環境の悪化に合わせて支出を減らすよう、行政サービスの水準を見直すべき
4.	その他（ <input type="text"/> ）
5.	分からない

② 福祉などソフト事業に関するサービス水準について

1.	経費が増えても、サービス水準を維持していくべき
2.	経費を抑制するため、サービス水準を下げてもやむを得ない
3.	その他（ <input type="text"/> ）
4.	分からない

③ 道路、公共施設などハード事業の整備水準について

1.	経費が増えても、現状の規模や水準を維持していくべき
2.	経費を抑制するため、現状の規模や水準を下げてもやむを得ない
3.	その他（ <input type="text"/> ）
4.	分からない

④ 公共施設の使用料とサービス水準について

1.	公共施設のサービス水準を維持するためには、利用者の負担を上げる（使用料が増える）こともやむを得ない
2.	公共施設のサービス水準が下がったとしても、利用者の負担は上げない（使用料は変えない）方がよい
3.	その他（ <input type="text"/> ）
4.	分からない

### 3 資料編

問11. 行政サービスを実施するうえでは、業務の民間委託や、地域コミュニティやNPOとの協働など、民間の活力を活用する手法がありますが、次のうち、あなたの考えに近いものはどれですか。(1つだけ○)

1. 民間でできることは、すべて民間を活用すべきである
2. 経費やサービスの質が維持されるのであれば、民間活用すべきである
3. 経費節減やサービス向上に繋がるのであれば、民間活用すべきである
4. 公的サービスは行政が行うべきであり、民間活用すべきでない
5. その他 ( )
6. 分からない

問12. 国ではデジタル庁の設置が予定されるなど、社会全体のデジタル化が強く進められようとしています。あなたは、今後行政手続や行政サービスのデジタル化が一層進むことで、サービスがどのように良くなることを期待しますか。(○はいくつでも)

1. 市役所での複数の手続きが1か所の窓口で済む
2. 窓口で名前や住所の印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かなくて済む
3. 窓口に出向かなくても、インターネットを通じて行政手続(届け出や申請)が可能となる
4. 窓口に出向かなくても、インターネット上で情報交換や相談(オンライン・チャット相談)ができる
5. チャットボット(※)の導入により、ホームページを通じて24時間手続きが調べられたり、市役所内の自分の行きたい場所が調べられる
6. 子育て情報など、自分の必要な情報が市からの自動配信で受けられる
7. マイナンバーカードの活用により、行政手続の添付書類(各種証明書)が減ったり、保険証や免許証利用などが進む
8. 税金や施設の使用料などの公共料金がキャッシュレスで支払うことができる
9. 加工・利用できる行政データ(オープンデータ)の範囲が広がる
10. デジタルサービスの操作方法の支援や、講習会が受けられる
11. その他 ( )
12. 特になし
13. 分からない

※パソコン等を通じた自動対話機能による対応



### 3 資料編

問13. あなたは、社会全体のデジタル化が進むことについて、どのようなことに不安を感じますか。(〇はいくつでも)

1. 情報通信機器を利用できる人とできない人の間に格差が生じる
2. 個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある
3. 情報が氾濫し、取捨選択が困難になる
4. 機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する
5. ネットワーク切断の事故などにより、社会的混乱が生じる
6. その他 ( )
7. 特にない
8. 分からない

問14. 行政改革に対するご意見・ご要望がありましたら、下の欄にご自由にお書きください。


## 自治基本条例についておたずねします

### ■丸亀市自治基本条例(平成18年10月施行)とは

地方分権が進むなかで、地方自治体の環境が大きく変わり、特色のある自治体運営が求められています。そこで丸亀市では、市民のみなさんとともに個性豊かで自立した地域社会をつくるために「丸亀市自治基本条例」を制定しました。この条例は、丸亀市の“憲法”ともいうべき条例で、丸亀市の自治の基本となる理念・原則を明らかにするとともに、市民の権利や責務、市議会の権能と責務、市長や市職員の責務、市民参画と協働(※)、市政運営の原則などについて明確にし、「まちづくり」に関する基本的な考え方について定めています。

(※) 市民参画…市の政策の立案や実施、評価に至る過程に、責任を持って主体的にかかわること。

協働(きょうどう)…市民と市が、それぞれの責任と役割分担にもとづき、おたがいの特性を尊重しながら、対等な立場で協力し合うこと。

問15. 「丸亀市自治基本条例」を知っていますか。(1つだけ○)

1. 内容をよく知っている
2. 読んだことがある
3. 読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある
4. まったく聞いたことがない

問16. 問15で1～3と回答した方におたずねします。  
「丸亀市自治基本条例」を何で知りましたか。(○はいくつでも)

1. 広報「まるがめ」	2. 丸亀市のホームページ
3. 丸亀市の研修会・出前講座	4. 丸亀市のチラシなど
5. ケーブルテレビ放送	6. 市議会テレビ中継
7. 友人・知人や家族	8. その他( )

～自治基本条例（抄）～

（コミュニティ活動）

第12条 市民は、安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会を実現するため、自主的な意思によってまちづくりに取り組み、お互いに助け合い、地域の課題を共有し、解決に向けて自ら行動するものとする。

2 市長等は、前項に規定する市民の自主的な地区におけるコミュニティ活動の役割を尊重しながら適切な施策を講じなければならない。

（市民公益活動）

第13条 市長等は、自発的かつ自主的に行われる非営利の活動で、様々な分野で社会的な課題を解決し、よりよい社会づくりに寄与することを目的とする市民公益活動を尊重するとともに、その活動を促進するための適切な施策を講じなければならない。

（協働）

第20条 市民及び市は、お互いに対等な立場で、相互理解を深めるとともに信頼関係の下に、協働してまちづくりを進めるように努めなければならない。

2 市長等は、前項に規定する協働を推進するに当たり、市民の自発的な活動を支援するよう努めるものとする。

問17. コミュニティ活動や市民活動団体、ボランティアなどで、まちづくり活動に参加したことがありますか。 （1つだけ〇）

1. 現在も積極的に参加している	2. 現在もときどき参加している
3. 過去に参加したことがある	4. 参加したことはないが、今後参加してみたい
5. 参加したいと思わない	

問18. まちづくり活動に参加するにあたって何が必要だと思いますか。 （3つまで〇）

1. 時間	2. 活動する場所
3. 健康や体力	4. 参加するための知識・技術
5. 参加するきっかけ	6. 一緒に活動する仲間
7. 活動団体や活動内容に関する情報	8. その他（ ）

問19. 上記の自治基本条例第20条には、「市民及び市は、（中略）協働してまちづくりを進めるように努めなければならない。」と規定されていますが、丸亀市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思いますか。 （1つだけ〇）

1. 非常に進んでいる	2. 進んでいる
3. あまり進んでいない	4. 進んでいない
5. 分からない	

### 3 資料編

問20. 丸亀市では、これからの協働のまちづくりの拠点施設として、令和3年3月22日に市民交流活動センター（愛称：マルタス）をオープンしました。このマルタスにどのようなことを期待しますか。（〇はいくつでも）

1. 様々なワークショップなどの開催	2. 新しい人との出会いやつながり
3. まちの情報（観光やイベント）の提供	4. 市民活動に関する相談窓口の存在
5. 大学や企業などと連携した企画の実施	6. その他（ ）
7. 特にない	

～自治基本条例（抄）～

（情報の公開及び共有）

第14条 市は、市政運営の公正の確保と透明性の向上を図り、参画と協働による開かれた市政を実現するため、市が保有する情報を積極的に公開するとともに、市民との情報の共有に努めなければならない。

2 前項の規定による情報の公開に関し必要な事項は、別に条例で定める。

問21. 日ごろ、どのような方法で市政に関する情報を得ていますか。（〇はいくつでも）

1. 広報「まるがめ」	2. ホームページ
3. 市公式フェイスブック	4. 市公式インスタグラム（マルカメラ）
5. ポスター、パンフレット、チラシ	6. 情報公開コーナー
7. 出前講座	8. 市の窓口（電話での質問を含む）
9. 議会の傍聴（テレビ中継を含む）	10. 自治会、コミュニティ、回覧板
11. 新聞、テレビ	12. 友人、知人、家族
13. その他（ ）	

問22. あなたは、丸亀市からの情報発信について、どのようにお感じになっていますか。（1つだけ〇）

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. 普通である	4. どちらかといえば不満である
5. 不満である	6. 分からない

問23. 問22で4または5と答えた方におたずねします。  
不満と感ずるのはなぜですか。(〇はいくつでも)

1. 必要な情報が発信されていない	2. 情報量が少ない
3. 情報発信が遅い	4. 内容が分かりにくい
5. 情報発信する手段が少ない	6. その他 ( )

～自治基本条例(抄)～

(参画)

第16条 市は、市民参画を促進させるため、様々な制度や施策を講じて、広く市民が参画する機会を保障しなければならない。

2 市長等は、市民が参画しないことによって不利益を受けることのないよう配慮しなければならない。

(政策形成及び実施過程への参画)

第17条 市長等は、市民の政策形成及び実施過程への参画を保障するため、市民生活に重要な影響を及ぼす計画の策定、条例の制定改廃又は施策を実施しようとするときは、市民に意見を求めなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りでない。

2 市長等は、市民に意見を求めるときは、パブリック・コメント(※)、アンケート調査、公聴会の開催等適当な方法で実施するものとする。この場合において、市民に対して十分な情報を提供するとともに、適当な検討期間を設けなければならない。

3 前2項に規定する意見を求める場合に関して必要な事項は、別に定める。

(※) パブリック・コメント…

市が、計画の策定や条例の制定などの過程において、案を公表し広く市民意見を求め、寄せられた意見を取り入れながら政策を決定していく方法。

問24. これまでにどのような方法で、市政に参画(市政を考える場に参加したり、計画策定・条例制定などに参画したり)したことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 市政への提言・意見提出	2. パブリック・コメントの提出
3. 審議会の公募委員への応募	4. 市民説明会への参加
5. ワークショップへの参加	6. アンケート調査(本アンケートを除く)への回答
7. その他 ( )	8. 参加・参画したことがない

### 3 資料編

問25. あなたがこれから市政に参画する場合、どのような方法で参画したいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 市政への提言・意見提出	2. パブリック・コメントの提出
3. 審議会の公募委員への応募	4. 市民説明会への参加
5. ワークショップへの参加	6. アンケート調査への回答
7. その他( )	8. 参加・参画したいと思わない

問26. 自治基本条例の内容や運用に関するご意見・ご要望がありましたら、下の欄にご自由にお書きください。


質問は以上です。ご協力ありがとうございました。